

全国高等学校ゴルフ選手権大会

個人の部

第1回大会 日時・昭和32年8月14日(予選・東雲13日) コース・鷹之台CC(7070ヤード・パー72)

日本ゴルフ史上画期的な第1回目の優勝者には柿本亮司選手が輝いた。当時慶応大学一年だった柿本選手は安定したプレーを見せ、特にフェアウェイからのセカンドショットが見事だった。参加者は18校100名。うち予選は30名が通過。柿本選手は慶大卒業後ライト電子製版研究所を設立。

●男子の部●			
①	柿本 亮司	(慶大)	87 87 174
②	保声 栄次郎	(慶大)	92 83 175
③	島崎 義彦	(武蔵高)	86 90 176
④	佐藤 俊記	(立教高)	92 86 178
⑤	小菅 康正	(慶大)	90 88 178
⑥	千秋 博信	(中大)	87 93 180
⑦	松本 光弘	(早大)	90 91 181
⑧	川田 勝哉	(慶大)	92 89 181
⑨	吉田 祐啓	(慶大)	95 86 181
⑩	金久 保凱	(慶大)	94 88 182

第2回大会 日時・昭和33年8月5日(予選・東雲4日) コース・鷹之台CC(7070ヤード・パー72)

73選手が参加した第2回だったが、安定したショットの吉川隆之選手が優勝した。吉川選手は甲南大学を卒業後ヤンマーディーゼルに入社、現在はゴルフの公式競技から引退している。

●男子の部●			
①	吉川 隆之	(甲南高)	83 83 166
②	佐藤 俊紀	(立教高)	81 86 167
③	広瀬 義晋	(明大中野高)	80 87 167
④	竹田 睦	(慶大)	87 75 172
⑤	森永 為隆	(慶大)	89 84 173
⑥	福田 秀夫	(慶大)	83 91 174
⑦	内田 伸之	(青山学院高)	90 85 175
⑧	森永 正隆	(慶大)	92 89 181
⑨	佐藤 国彦	(立教高)	89 92 181
⑩	野村 定彦	(慶大)	89 93 182
⑪	関口 裕志	(慶大)	93 89 182
⑫	峰 英高	(慶大)	90 92 182

第3回大会 日時・昭和34年8月17、18日 コース・東雲GC(6570ヤード・パー72)

53名が参加。初めてテレビ放映された大会だったが、2日目の追い上げて吉川選手が連勝。史上初の連覇を記録した。又、学習院中2年の藤原保之選手が10位にくい込む健闘をした。

●男子の部●			
①	吉川 隆之	(甲南高)	81 77 158
②	前田 福三郎	(森村学園高)	84 79 163
③	広瀬 義晋	(明大中野高)	82 82 164
④	永田 真一	(慶大)	84 80 164
⑤	森永 正隆	(慶大)	82 84 166
⑥	諸戸 精孝	(慶大)	85 81 166
⑦	水野 紀文	(瑞陵高)	80 87 167
⑧	寺田 昭彦	(慶大)	85 82 167
⑨	岡崎 晴彦	(甲南高)	88 79 167
⑩	藤原 保之	(慶大)	88 81 169
⑪	藤原 保之	(学習院中)	86 83 169

第4回大会 日時・昭和35年8月5日 コース・千葉CC・川間コース(6860ヤード・パー72)

79選手が参加。後半抜け出した諸戸選手が通算162ストロークで森永選手と並び、プレーオフとなった。4番で1パットを決めた諸戸選手にガイ歌が上がった。この大会には後に日本女子2回、関西女子4回、世界女子アマ代表となった松波敏子選手(服部道子プロの母親)が9位に入っている。

●男子の部●			
①	諸戸 精孝	(慶大)	82 80 162
②	森永 正隆	(慶大)	80 82 162
③	久野 勝彦	(同志社高)	80 85 165
④	安西 直昭	(慶大)	80 86 166
⑤	市川 旭史	(慶大)	84 82 166
⑥	藤原 保之	(学習院中)	80 87 167
⑦	佐方 毅之	(慶大)	81 88 169
⑧	三上 正彦	(広島商業高)	84 85 169
⑨	松波 敏子	(金城高)	84 88 172
⑩	藤木 隆夫	(慶大)	89 83 172

第5回大会 日時・昭和36年8月2日 コース・千葉CC・野田コース(6820ヤード・パー72)

103名が参加した第5回大会は学習院高1年生となった藤原選手が優勝した。またこの日は藤原選手の亡き母の百か日で藤原選手の優勝を願っていた母へのよき贈り物となったというエピソードがある。藤原選手はその後('60、'61、'62年)全米ジュニアに出場、'62年には国際の部で1位となりアイゼンハワートロフィーを獲得した。

●男子の部●			
①	藤原 保之	(学習院高)	78 78 156
②	久野 勝彦	(同志社高)	80 76 156
③	三上 正彦	(広島商高)	76 82 158
④	高尾 克彦	(甲南高)	80 82 162
⑤	八木 正孝	(中央高)	84 81 165
⑥	外山 公一	(日大藤沢高)	84 85 169
⑦	野村 龍夫	(慶大)	87 83 170
⑧	猿渡 恵一郎	(学習院高)	85 88 173
⑨	松沢 宏	(慶大)	87 87 174
⑩	池谷 正成	(慶大)	91 84 175

第6回大会 日時・昭和37年7月31日 コース・千葉CC・野田コース(6820ヤード・パー72)

111名が参加。2連勝をねらう藤原選手は負いすぎて脱落。かわって初出場の沼沢聖一選手(現プロ)が東北人のねばり強さを発揮、猛暑にもかかわらず初優勝。又、女子では堀越百子さんが樋口久子(現プロ)、井福羽留子さんを押えて、ベストグロスを獲得した。

●男子の部●			
①	沼沢 聖一	(東北学院高)	80 76 156
②	三上 正彦	(広島商高)	78 80 158
③	高橋 達宗	(成城学園高)	81 78 159
④	田中 八郎	(PL学園高)	88 81 161
⑤	三上 法夫	(崇徳高)	79 84 163
⑥	猿渡 恵一郎	(学習院高)	82 82 164
⑦	佐藤 勝彦	(行田市立沼中)	79 86 165
⑧	藤原 保之	(森村学園中)	84 81 165
⑨	池谷 正成	(慶大)	83 82 165
⑩	狐崎 亮二	(東北学院高)	81 85 166
⑪	藤原 保之	(学習院高)	85 81 166

第7回大会 日時・昭和38年8月5日 コース・千葉CC・野田コース(6820ヤード・パー72)

116名が参加。沼沢選手が通算152ストロークの大会新のスコアで2連覇。第2回、3回の吉川選手について2人目。又、今回より設けられた女子の部で井福羽留子選手、中学の部で入江勉選手が優勝。沼沢選手は午前のラウンドを78にまとめたあと午後のインでは1アンダーの35、アウトも1番から7番まで連続バーで140台が期待されたが8番のショートホールでバンカーショットをミスしてダブルボギー、9番でもボギーを叩いて152ストロークとなったもの。

●男子の部●			
①	沼沢 聖一	(東北学院高)	78 74 152
②	佐藤 勝彦	(熊谷高)	71 83 154
③	戸張 捷	(慶大)	78 80 158
④	猿渡 恵一郎	(学習院高)	81 78 159
⑤	生田 憲一	(学習院高)	78 82 160
⑥	白井 保彦	(日大一高)	78 82 160
⑦	山田 健一	(和光学園高)	81 79 160
⑧	島崎 正彦	(中大杉並高)	84 77 161
⑨	入江 勉	(荒井中)	78 82 161
⑩	藤原 保之	(学習院高)	76 86 162
⑪	松本 憲二	(立教高)	81 81 162
⑫	狐崎 亮三	(東北学院高)	79 83 162

第8回大会 日時・昭和39年8月6日 コース・千葉CC・川間コース(6670ヤード・パー72)

83名が参加。第3回アジアアマ代表の森道彦選手と山田健一選手に注目が集まったが、無名の新人、吉見啓司選手が午後に入って37、38、通算151ストロークの大会新で優勝をさらった。又、女子では初出場の花田好子選手(177ストローク)が2位の井福羽留子選手(180ストローク)を3ストロークはなして優勝した。

●男子の部●			
①	吉見 啓司	(防府高)	76 75 151
②	森 道彦	(東邦高)	74 79 153
③	入江 勉	(加古川東高)	75 78 153
④	山田 健一	(和光学園高)	81 75 156
⑤	佐藤 勝彦	(立教高)	79 78 157
⑥	福田 浩一	(慶大)	80 80 160
⑦	遠藤 誠	(明星高)	79 81 160
⑧	関 一章	(日大高)	80 80 160
⑨	中上 竜	(学習院高)	79 81 160
⑩	野々上 健夫	(法政高)	80 80 160

第9回大会 日時・昭和40年8月13日 コース・嵐山CC(6949ヤード・パー72)

83名(うち女子5名)が参加。前半から快調にスコアをのばした加藤選手が大勢のギャラリーを集めて最終の9番(522ヤードパー5)では劇的なイーグルを決め史上初140台の通算149ストロークで優勝を飾った。

●男子の部●			
①	加藤 剣	(成城学園)	73 76 149
②	奥村 善治	(愛知学院高)	75 76 151
③	佐藤 勝彦	(立教高)	76 75 151
④	長谷川 一弘	(慶大)	78 76 154
⑤	佐藤 正之	(東北学院高)	77 79 156
⑥	和田 泰典	(大阪学院高)	79 77 156
⑦	三上 宣夫	(広島商高)	78 80 158
⑧	北井 啓文	(日大一高)	78 81 159
⑨	下倉 敏男	(成城学園)	79 81 160
⑩	入江 勉	(加古川東高)	79 81 160

第10回大会 日時・昭和41年8月10日 コース・嵐山CC(6949ヤード・パー72)

10回記念大会で98名が参加(うち中学生7名)午前中75ストロークの入江選手が午後に入り脱落。一方、長谷川選手が1アンダーの71で通算148ストロークの大会新で優勝。

●男子の部●			
①	長谷川 一弘	(慶大)	77 71 148
②	高野 善次郎	(慶大)	79 72 151
③	入江 勉	(加古川東高)	75 77 152
④	奥村 善治	(愛知学院高)	80 74 154
⑤	土山 録志	(伊東商高)	79 75 154
⑥	郡 達哉	(成城高)	77 78 155
⑦	森永 秀夫	(慶大)	77 78 155
⑧	片山 康	(日大一高)	78 77 155
⑨	加賀 章	(日大一高)	78 78 156
⑩	加藤 剣	(成城学園)	81 75 156

第11回大会 日時・昭和42年8月10日 コース・嵐山CC(6870ヤード・パー72)

参加選手82名。この年に主催の週刊ゴルフ社廃刊となる。

●男子の部●			
①	森永 秀夫	(慶大)	82 71 151
②	高野 善次郎	(慶大)	79 72 152
③	盛谷 安春	(慶大)	152
④	立木 直美	(崇徳高)	153
⑤	飯田 康太郎	(成城学園)	155
⑥	三上 忠明	(明大中野高)	155

第12回大会 日時・昭和43年8月29日 コース・嵐山CC(6870ヤード・パー72)

今大会よりスポーツニッポン新聞社が全日本学生ゴルフ連盟の協力を得て週刊ゴルフより正式に引きつぎを受け開催。台風10号の影響で最悪のコンディションだったが山崎選手と荒井選手が156ストロークでタイ。3ホールのプレーオフでは荒井選手が2番でOBを出し結局それがたたり山崎選手が初優勝。

●男子の部●			
①	山崎 哲	(奈良帝塚山学園)	77 79 156
②	荒井 卓二	(日大桜丘高)	79 77 156
③	小倉 章敬	(成城学園)	78 79 157
④	鈴木 和彦	(慶大)	80 78 158
⑤	清水 剛一	(明大中野)	79 80 159
⑥	内田 洋一郎	(海星高)	79 81 160
⑦	田畑 義和	(伊東商高)	79 81 160
⑧	扇本 直人	(慶大)	79 82 161
⑨	高橋 一成	(北海高)	81 80 161
⑩	上原 正忠	(伊東商高)	80 82 162
⑪	萩原 照久	(慶大)	82 80 162

第13回大会

日時・昭和44年8月20日
コース・嵐山CC(6870ヤード・パー72)

前半71ストロークの久富選手に対して雷雨にもかかわらず後半72ストロークと追上げた清水選手が150ストロークで並び、勝負は3ホールのプレーオフに持ちこまれた。久富が連続ボギーで振わず、清水が初優勝。又、中学生ながら中島常幸選手(現プロ)が“怪童”出現とさわがれた大会でもあった。

●男子の部●

①	清水 剛一	(明大中野高)	78	72	150
②	久富 章嗣	(日大桜丘高)	71	79	150
③	水野 和徳	(足利学園高)	75	77	152
④	宮本 勲	(中京高)	76	78	154
④	窪田 茂	(習志野高)	74	80	154
⑥	浅川 辰彦	(慶応日吉高)	75	81	156
⑦	中島 常幸	(桐生西中)	79	78	157
⑧	藤木 三郎	(海星高)	79	79	158
⑧	中島 久夫	(立教高)	78	80	158
⑩	扇本 直人	(慶応日吉高)	78	81	159
⑩	野村 明良	(鎌倉高)	77	82	159

第14回大会

日時・昭和45年8月24日
コース・嵐山CC(6870ヤード・パー72)

この年より文部大臣杯を冠とし、ジュニア競技に権威づけがされた。下馬評で、西の藪本選手が東の石井選手かと注目されたが、後半の追上げが物をいい、石井選手が149ストロークで優勝、文部大臣杯を獲得した。又、女子の部が新設され今村敏子選手が優勝した。

●男子の部●

①	石井 隆文	(伊東商高)	78	71	149
②	島田 憲人	(明学東村山高)	76	75	151
②	船渡川育宏	(浦和岸中)	78	74	152
③	中島 常幸	(明照高)	78	74	152
⑤	野村 明良	(鎌倉高)	79	75	154
⑥	D・ナガタ	(大和高)	79	76	155
⑦	鈴木 公典	(東北学院高)	81	75	156
⑧	島田 幸治	(尼崎南高)	79	78	157
⑧	藪本 利治	(大阪学院高)	75	82	157
⑩	藤木 三郎	(名電工高)	78	82	160
⑩	渡辺賢一郎	(青山学院高)	82	78	160
⑩	中川 泰一	(日大一高)	80	80	160

●女子の部●

①	今村 敏子	(日大桜丘高)	45	46	44	135
②	竹岡 広子	(白百合高)	44	49	46	139
③	田中 瑞江	(金蘭会高)	47	49	46	142

第15回大会

日時・昭和46年8月20日
コース・霞ヶ関CC・西コース(6659ヤード・パー72)

夏期には珍しく涼しい気候で、午前中73ストロークの木村選手が、36ホール目会心のバーディーを決めハワイからの招待選手ステイーブ・ティンキをふり切った。又、女子の部で吉持選手(現プロ)が会場し、8ストローク差をつけ、楽に優勝した。又、今大会よりハワイと日本との隔年毎の交流が始まった。

●男子の部●

①	木村 憲明	(甲南高)	73	76	149
②	ステイーブ・ティンキ	(大和高)	73	77	150
③	瀬戸 信朗	(慶応日吉高)	74	78	152
③	藪本 利治	(大阪学院高)	72	80	152
③	デュエンナガタ	(大和高)	78	74	152
⑥	ダレル・レゴ	(ハワイ)	75	79	154
⑥	パートツカモト	(ハワイ)	79	75	154
⑥	ジャン・パワーズ	(ハワイ)	76	79	155
⑧	藤木 三郎	(名電工高)	78	77	155
⑧	早川 博巳	(サレジオ高)	77	78	155
⑧	船渡川育宏	(武南高)	79	76	155
⑧	脇田 喜人	(川西緑台高)	79	76	155
⑧	長友 謙	(明大中野高)	74	81	155

●女子の部●

①	吉持 姿子	(西中原中)	39	41	80	160
②	吉川 静江	(慶応女子高)	45	43	88	176
③	今村 敏子	(日大桜丘高)	43	47	90	180

第16回大会

日時・昭和47年8月3日
コース・霞ヶ関CC・西コース(6659ヤード・パー72)

男子上位5名がハワイへ派遣されるとあり、迫熱した勝負が展開された。午後に雷雨に見舞われたが、優勝候補の筆頭倉本選手をふり切り、内藤選手が初優勝。又、女子の部では吉持選手が2連覇をとげた。男子の上位5選手がハワイへ派遣されたが中学生から湯原選手が選ばれ注目された。

●男子の部●

①	内藤 正幸	(玉川学園高)	74	78	152
②	湯原 信光	(西宮中)	74	79	153
②	倉本 昌弘	(崇徳高)	78	75	153
②	内田 淳二	(海星高)	75	78	153
⑤	藤木 三郎	(名電工高)	78	76	154
⑥	牧野 裕	(豊田川高)	74	81	155
⑥	金谷多一郎	(城南中)	76	79	155
⑥	田口 信	(早実高)	80	75	155
⑥	岸 勝彦	(京都西高)	79	76	155
⑨	萩原 世一	(伊東商高)	77	81	158
⑨	白浜 郁夫	(富岡中)	79	79	158

●女子の部●

①	吉持 姿子	(京浜女大付属高)	40	42	82
②	吉川 静江	(慶応女子高)	42	42	84
③	安部美月子	(玉川学園高)	52	59	111

第17回大会

日時・昭和48年8月22日
コース・霞ヶ関CC・東コース(6934ヤード・パー72)

第15回大会に次いで2回目のハワイからの招待選手を加えての大会だったが、実力No1の倉本選手(現プロ)が、ハワイNo1のR・バラナバを破り優勝、念願の文部大臣杯を手にした。当時から“ダイナマイト・クラ”とその豪快なドライブショットは関係者を驚かせた。

●男子の部●

①	倉本 昌弘	(崇徳高)	75	73	148
②	R・バラナバ	(ハワイ)	75	75	150
②	W・トム	(ハワイ)	75	75	150
②	内藤 正幸	(玉川学園高)	77	73	150
⑤	白浜 郁夫	(富岡中)	76	75	151
⑤	T・ランドルフ	(大和高)	72	79	151
⑦	野村 典孝	(茅ヶ崎高)	78	75	153
⑧	金谷多一郎	(城南中)	74	80	154
⑨	中村 勇	(千葉日大一高)	78	77	155
⑨	高橋 成司	(北海高)	77	78	155

●女子の部●

①	石井 千枝	(伊東商高)	47	46	93
②	宮本佳代子	(青山学院高)	50	50	100
③	小田 美岐	(八条中)	52	50	102
③	東 智子	(青山学院高)	50	52	102

第18回大会

日時・昭和49年8月2日
コース・霞ヶ関CC・東コース(6934ヤード・パー72)

大会史上初のアンダーパーで優勝が決まった。湯原信光選手(現プロ)が36ホール1アンダーしかも後半18ホールが67ストロークのアマ・コース・レコードと、ジュニアの大会としては特筆すべき技術の向上が見られた。長打が魅力の好選手だ。

●男子の部●

①	湯原 信光	(日大桜丘高)	76	67	143
②	玉田 貢三	(京都商工高)	74	76	150
③	坪和 哲	(岡山工高)	74	79	153
④	土山 一	(海星高)	73	81	154
④	秋山 義文	(暁星高)	78	76	154
⑥	白浜 郁夫	(日大桜丘高)	75	80	155
⑥	金谷多一郎	(城南中)	76	79	155
⑧	室野 歩	(伊東商高)	79	78	157
⑨	田辺アイク	(クバサキ高)	82	76	158
⑩	ラッセル・スミス	(調布高)	81	79	160
⑩	福岡 秀康	(日大三)	80	80	160

●女子の部●

①	村瀬摩利子	(金城学院高)	43	48	91
②	山田 美佐	(左近山中)	48	45	93
③	小田 美岐	(八条中)	47	47	94

第19回大会

日時・昭和50年8月13日
コース・霞ヶ関CC・東コース(6934ヤード・パー72)

湯原選手が2年連続優勝を飾った。ハワイからの招待選手も加えて開催されたが、36ホール・オープン・パーで取め絶対的な強さを見せた。又、女子では豪快なショットの加納選手(現プロ)が優勝した。この年より米国サンディエゴ市で開催されている「世界ジュニア選手権」へ2名派遣することになった。

●男子の部●

①	湯原 信光	(日大桜丘高)	76	68	144
②	白浜 郁夫	(日大桜丘高)	72	76	148
※③	金谷多一郎	(川越高)	74	75	149
④	羽川 豊	(足利大付属高)	77	76	153
④	中村 好広	(南山高)	79	74	153
⑥	西川 達彦	(日大桜丘高)	77	77	154
⑥	福居 清信	(明星高)	76	78	154
⑧	寺元 明男	(箕面学園高)	79	76	155
⑨	J・イシイ	(ハワイ)	78	78	156
※⑩	植山鉄次郎	(慶応高)	79	78	157

●女子の部●

①	加納由美子	(蕭英高)	41	39	80
②	小田 美岐	(平安女学院高)	42	39	81
③	小川 洋子	(伊東商高)	46	43	89

※印は世界ジュニア日本代表選手

第20回大会

日時・昭和51年8月6日
コース・霞ヶ関CC・東コース
(6934ヤード・パー72)

予想通り実力No1の金谷選手が実力を発揮、通算2アンダーの142ストロークの大会新記録で優勝。1m63cm61kgと体は小さいがバネのきいたショットが関係者の目を見張った。女子の部では1m62cm63kgのジャンボな山田選手が優勝した。

●男子の部●

※①	金谷多一郎	(川越)	71	71	142
②	野沢 敏伸	(勝田工)	73	75	148
②	尾家 清孝	(福岡築上中部)	75	73	148
④	西川 達彦	(日大桜丘)	74	75	149
⑤	山本 恒久	(熊本南関)	76	74	150
⑥	二宮 英二	(今治工)	78	73	151
⑥	横岡 充浩	(呉工)	75	76	151
⑧	木本 利美	(奈良工)	74	78	152
⑧	栗原 雅樹	(熊谷商)	76	76	152
⑧	寺元 明男	(箕面学園)	78	74	152
⑧	白浜 郁夫	(日大桜丘)	76	76	152
⑧	池内 信治	(本郷)	74	78	152

●女子の部●

①	山田 美佐	(明倫高)	39	39	78
②	小田 美岐	(平安女学院高)	39	41	80
②	生駒佳与子	(熊谷市立女高)	41	39	80
④	井上 裕子	(城南高)	39	42	81
⑤	富田恵利子	(成徳学園高)	44	43	87

※印は世界ジュニア日本代表選手

第29回大会

日時・昭和60年8月7日、8日
コース・霞ヶ関カントリー倶楽部・東コース
(男子6346m・パー72 女子5872m・パー74)

●男子の部●				
※①	深堀圭一郎	(明大中野)	37-35(72)	37-36(73) 218
②	北島泰介	(PL学園)	35-36(71)	38-37(75) 220
※③	手嶋多一	(田川)	41-34(75)	38-35(73) 222
④	杉沢瓦一郎	(波崎)	37-40(77)	35-35(70) 223
⑤	谷口徹	(PL学園)	40-35(75)	37-36(73) 227
⑥	杉山直也	(成蹊)	38-38(76)	37-40(77) 228
⑦	野上浩一	(埼玉栄)	38-37(75)	37-38(75) 228
⑧	石川淳一	(目黒)	37-36(73)	39-38(77) 230
⑨	西川哲	(日体荏原)	39-40(79)	37-37(74) 231
⑩	小達敏昭	(関東学院)	37-39(76)	38-35(73) 231
⑪	伊沢利光	(日体荏原)	38-37(75)	39-38(77) 231

※印は世界ジュニア日本代表選手

●女子の部●				
※①	平瀬真由美	(熊本市立高)	37-39(76)	36-35(71) 147
②	木村敏美	(堀越高)	39-39(78)	37-37(74) 152
③	橋本愛子	(鳴門高)	36-43(79)	37-36(73) 152
④	文平友恵	(鶴沼高)	39-38(77)	40-39(79) 156
⑤	入江由香	(福岡女子高)	38-40(78)	41-39(80) 158

女子プロとして賞金女王を初め数々のタイトルを獲得した平瀬選手が高校1年生ながら自己ベストの71をマークするなど1アンダーで優勝した。男子の部は1メートル70、52キロと細身の深堀選手が2年生王者に輝いた。

第33回大会

日時・平成元年8月9日、10日、11日
コース・霞ヶ関カントリー倶楽部・西コース
(男子6682Y・パー72 女子6316Y・パー72)

●男子の部●				
①	米倉和良	(八幡西)	35-36(71)	34-37(71) 207
②	浅野慶一	(PL学園)	36-36(72)	35-39(74) 215
※③	片山晋呉	(水城)	35-36(71)	38-36(74) 216
※④	森忍	(広陵)	36-40(76)	33-36(69) 219
※⑤	三橋達也	(平安)	36-39(75)	38-37(75) 222
⑥	松垣繁正	(箕面自由)	35-39(74)	37-42(79) 223
※⑦	堀信義	(愛知)	36-39(75)	40-36(76) 223
⑧	野村保文	(平安)	38-35(73)	37-38(75) 223
⑨	渡部光洋	(平安)	36-38(74)	37-39(76) 224
⑩	河井博大	(瀬戸内)	35-40(75)	36-39(75) 224

※印は世界ジュニア日本代表選手

●女子の部●				
※①	福嶋晃子	(白鷺女子高)	36-37(73)	39-37(76) 149
※②	久保樹乃	(天羽高)	38-40(78)	39-38(77) 155
③	芳賀ゆきよ	(藤ノ花女子高)	39-41(80)	39-38(77) 157
④	高村亜紀	(熊本中央女子高)	38-39(77)	41-40(81) 158
⑤	能登亜紀	(埼玉栄高)	38-37(75)	40-44(84) 159

世界ジュニア制覇の“怪童”米倉選手が前半アウトで31の驚異的なスコアを含む7アンダー65で周り、通算9アンダーの大会最少スコアで2連覇を達成した。女子は元大洋・福嶋氏の長女晃子選手が高校1年生で女王の座についた。

第30回大会

日時・昭和61年8月6日、7日
コース・霞ヶ関カントリー倶楽部・西コース(男子6108m・パー72 女子5803m・パー72)

●男子の部●				
①	西川哲	(日体荏原)	32-38(70)	38-36(74) 217
②	手嶋多一	(田川)	34-38(72)	39-38(77) 220
※③	丸山茂樹	(日体荏原)	38-38(76)	35-36(71) 220
④	菅生英男	(平安)	39-36(75)	40-34(74) 221
⑤	江連忠	(日大桜丘)	41-40(81)	37-35(72) 226
⑥	深堀圭一郎	(明大中野)	38-38(76)	38-36(74) 226
⑦	加藤雅成	(学館浦安)	37-35(72)	38-37(75) 228
⑧	伊藤精康	(愛知)	41-38(79)	36-39(75) 228
⑨	石川淳一	(目黒)	38-38(76)	36-37(73) 229
※⑩	佐藤信人	(薬園台)	35-40(75)	39-38(77) 229
⑪	中川利一	(明大中野)	37-38(75)	41-39(80) 229

※印は世界ジュニア日本代表選手

●女子の部●				
①	平瀬真由美	(熊本市立高)	37-38(75)	40-37(77) 152
②	木村敏美	(堀越高)	37-40(77)	38-39(77) 154
③	文平京恵	(鶴沼高)	41-37(78)	41-38(79) 157
④	丸谷京子	(大宮武蔵野高)	40-44(84)	42-38(80) 164
⑤	久松由里子	(埼玉栄高)	42-39(81)	44-45(89) 170
⑥	山田裕子	(宮崎女子高)	41-45(86)	42-42(84) 170
⑦	須賀みお	(日体桜華女子高)	43-42(85)	44-41(85) 170
⑧	板垣真由美	(西合志南中)	40-45(85)	44-41(85) 170

歌手の山田太郎の弟・西川選手が前年優勝の深堀選手、同じ高校のライバル・丸山選手らを抑えて初優勝。女子は木村選手とデッドヒートを展開した平瀬選手が最後は底力で突き放して史上3人目の2連覇を果たした。

第34回大会

日時・平成2年8月8日、9日、10日
コース・霞ヶ関カントリー倶楽部・西コース
(男子6682Y・パー72 女子6316Y・パー72)

●男子の部●				
①	白浜浩高	(啓明学園)	35-37(72)	36-33(69) 141
②	小島礼志	(瀬戸内)	34-35(69)	36-39(75) 144
③	片山晋呉	(水城)	38-34(72)	33-40(73) 145
④	津田猛	(大阪桐蔭)	37-37(74)	35-38(73) 147
⑤	久尾謙	(日体荏原)	36-37(73)	39-35(74) 147
⑥	長尾卓	(水城)	35-34(69)	37-41(78) 147
⑦	石川康徳	(日光)	36-38(74)	38-36(74) 148
⑧	南太教	(PL学園)	39-34(73)	39-36(75) 148
⑨	長曾由実	(広陵)	37-36(73)	38-37(75) 148
⑩	山口知之	(川内)	36-41(77)	35-38(73) 150
⑪	菊地貴之	(学館浦安)	38-37(75)	39-36(75) 150
⑫	田辺元	(香里丘)	36-37(73)	39-38(77) 150
⑬	遠間武彦	(日体荏原)	37-36(73)	37-40(77) 150

●女子の部●				
①	福嶋晃子	(白鷺女子高)		37-37(74)
②	高村亜紀	(熊本中央女子高)		41-34(75)
③	今井ゆかり	(津島女子高)		40-36(76)
④	久保樹乃	(天羽高)		38-41(79)
⑤	大久保由嘉	(一関商工高)		40-39(79)
⑥	芳賀ゆきよ	(藤ノ花女子高)		40-39(79)

台風11号による悪天候のため最終日は中止され、女子は福島選手が高村選手を1打抑えてV2を達成した。男子はプロゴルファー白浜育氏の長男・浩高選手がただ一人アンダーパーをマークし栄冠をさらった。

第31回大会

日時・昭和62年8月5日、6日、7日
コース・霞ヶ関カントリー倶楽部・西コース
(男子6682Y・パー72 女子6316Y・パー72)

●男子の部●				
①	丸山茂樹	(日体荏原)	36-37(73)	36-38(74) 219
②	喜多正一	(PL学園)	40-38(78)	39-33(72) 222
※③	米倉和良	(八幡西)	38-37(75)	39-37(76) 222
④	藤田寛之	(香椎)	40-38(78)	40-35(75) 224
⑤	石川淳一	(目黒)	38-34(72)	36-38(74) 224
⑥	桑原克典	(愛知)	39-38(77)	39-38(77) 226
⑦	信之	(明大中野)	39-36(75)	38-40(78) 226
※⑧	横田真一	(水城)	39-41(80)	35-37(72) 226
⑨	佐藤信人	(薬園台)	39-40(79)	33-35(68) 227
⑩	武田辰也	(平安)	36-37(73)	40-39(79) 228
⑪	尾崎智春	(千葉日大一)	38-38(76)	37-35(72) 228

※印は世界ジュニア日本代表選手

●女子の部●				
①	平瀬真由美	(熊本市立高)	40-39(79)	39-38(77) 156
②	高村亜紀	(京陵中)	39-42(81)	39-42(81) 162
③	芳賀ゆきよ	(南陽中)	37-44(81)	41-41(82) 163
④	四本章恵	(城星高)	38-43(81)	47-37(84) 165
⑤	戸田陽子	(竜華中)	43-40(83)	43-42(85) 168

平瀬選手が史上初の3連覇! 初日首位に立った平瀬選手は最終日もただ一人70台をマークし危なげなく快挙を達成した。男子は丸山選手が今シーズン負けなしの関東、全国とも春夏連覇を果たした。福嶋晃子選手が中学2年生ながら6位入賞。

第35回大会

日時・平成3年8月7日、8日、9日
コース・霞ヶ関カントリー倶楽部・西コース
(男子6682Y・パー72 女子6173Y・パー72)

●男子の部●				
※①	原口鉄也	(学館浦安)	36-35(71)	38-33(71) 214
※②	原田周治	(瀬戸内)	37-36(73)	35-37(72) 216
③	C・ウメツ	(ハワイ)	37-34(71)	36-38(74) 216
④	今野康晴	(学館浦安)	34-38(72)	36-36(72) 216
※⑤	馬場聖二	(明中八王子)	36-39(75)	35-36(71) 219
⑥	杉本周作	(平安)	40-36(76)	39-37(76) 221
⑦	宮嶋直	(土浦日大)	36-37(73)	36-36(72) 222
⑧	高橋竜彦	(沖学園)	40-35(75)	36-37(73) 223
⑨	山本元成	(平安)	37-36(73)	40-37(77) 223
⑩	南太教	(PL学園)	36-37(73)	35-36(71) 223

※印は世界ジュニア日本代表選手

●女子の部●				
①	福嶋晃子	(白鷺女子高)	36-36(72)	37-36(73) 145
※②	菊地あつ子	(堀越高)	37-37(74)	37-36(73) 147
③	坂上晴美	(名大附高)	39-38(77)	35-38(73) 150
※④	高村茶恵	(熊本中央女子高)	38-42(80)	36-36(72) 152
⑤	中野陽子	(堀越高)	36-39(75)	38-41(79) 154

女子の部で福嶋選手が平瀬真由美(現プロ)以来、史上2人目の3連覇をなし遂げた。260ヤードの女子高校生離れした豪快なドライバーを武器にV3の重圧をハネ返した。男子は原口選手がハワイのウメツ選手らの追い上げをかわして初優勝。

第32回大会

日時・昭和63年8月9日、10日、11日
コース・霞ヶ関カントリー倶楽部・西コース
(男子6682Y・パー72 女子6316Y・パー72)

●男子の部●				
※①	米倉和良	(八幡西)	37-38(75)	35-37(72) 183
②	久保谷健一	(秦野曾屋)	36-39(75)	34-35(69) 184
③	野村保文	(平安)	37-38(75)	32-38(70) 186
※④	横田真一	(水城)	39-33(72)	37-36(73) 187
⑤	平井公義	(青山学院)	37-37(74)	38-37(75) 188
⑥	松葉英樹	(恵那)	38-39(77)	35-35(70) 188
⑦	三橋達也	(平安)	36-37(73)	40-38(78) 188
⑧	田中勝也	(久居)	37-39(76)	37-38(75) 189
⑨	佐藤貴士	(水城)	37-33(70)	39-40(79) 190
⑩	浅野慶一	(PL学園)	36-35(71)	41-38(79) 191
⑪	牧坂考作	(大牟田南)	36-35(71)	36-41(77) 191
⑫	小島礼志	(瀬戸内)	36-38(74)	39-39(78) 191

※印は世界ジュニア日本代表選手

●女子の部●				
①	芳賀ゆきよ	(藤ノ花女子高)	41-37(78)	45 123
②	高村亜紀	(熊本中央女子高)	38-43(81)	44 125
③	四本章恵	(城星高)	39-41(80)	46 126
④	板垣真由美	(鎮西高)	46-43(89)	40 129
⑤	戸田陽子	(竜華中)	44-44(88)	41 129

降りしきる雨のため最終ラウンドは9日に短縮され、男子では4位でスタートした米倉選手が最終9番で執念のパーディーを奪い、1打差で前日までトップの久保谷選手を振り切って初優勝。女子は初日からトップの芳賀選手が逃げきりV。

第36回大会

日時・平成4年8月5日、6日、7日
コース・霞ヶ関カントリー倶楽部・東コース
(男子6954Y・パー72 女子6064Y・パー71)

●男子の部●				
※①	国吉博一	(日体荏原)	36-34(70)	39-35(74) 214
②	高橋竜彦	(沖学園)	38-36(74)	37-36(73) 218
③	大桑暢之	(大阪桐蔭)	38-39(77)	34-39(73) 219
④	澤村英樹	(埼玉栄)	39-36(75)	33-40(73) 219
⑤	古庄紀彦	(日大一)	37-36(73)	35-44(79) 220
※⑥	米倉憲太郎	(長崎日大)	37-34(71)	34-38(72) 220
⑦	根本昌英	(水城)	36-40(76)	35-37(72) 222
⑧	上田成人	(行橋)	39-35(74)	34-39(73) 224
⑨	植村一	(れいめい)	34-35(69)	40-35(75) 224
⑩	石井靖信	(PL学園)	36-34(70)	38-39(77) 224

※印は世界ジュニア日本代表選手

●女子の部●				
①	西麻里	(中京商高)	38-39(77)	37-35(72) 149
※②	中島真弓	(山梨英和)	39-36(75)	38-37(75) 150
③	萩尾美穂	(柳川高)	38-39(77)	37-37(74) 151
④	大竹康子	(佐野日大)	38-40(78)	38-36(74) 152
⑤	菊地あつ子	(堀越高)	37-37(74)	40-39(79) 153

九州出身者が揃った男子の最終組。前日までトップを走る米倉選手を持ち前の勝負強さで逆転したのは沖純・石垣島出身の国吉選手だった。昨年の覇者・原口選手は腰痛のため途中棄権。女子は西選手が2度のチップインを決め強豪を逆転した。

第43回大会

日 時・平成11年8月7日、8日
コース・那須野ヶ原カントリークラブ(男子6933ヤード、女子6222ヤード、男女各パー-72)

栄える文部大臣杯を手にしたのは、石川裕貴(広島・瀬戸内1年)と高松聖(香川・香川西3年)...

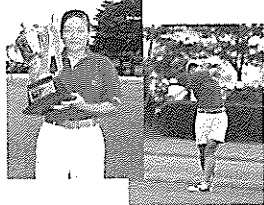
男子の部

- 1 石川 裕貴 (広島 瀬戸内①) 142 (74・68)
2 甲斐慎太郎 (福岡 沖学園③) 142 (71・71)
3 長谷 輝男 (高知 明德義塾③) 143 (70・73)
4 下向 裕也(和歌山 串本③) 144(72-72)
5 山田真一郎(静岡 岡崎 取③) 144(72-72)
6 市原 弘大(埼玉 玉②) 145(74-71)
7 小野林洋友(大阪 P.L.学園③) 145(75-70)
8 斎藤 大将(茨城 水城③) 145(70-75)
9 武藤 和貴(北海道 恵庭南③) 145(72-73)
10 加島 健(愛知 愛工大名電③) 146(74-72)
11 高村 賢治(福岡 柳川③) 146(75-71)
12 深草 元彦(北海道 東海大④) 146(68-78)
13 平井 俊光(大阪 阪大③) 146(72-74)
14 鈴木 健児(茨城 水城③) 146(73-73)
15 秋本 晃一(大阪 大阪桐蔭②) 146(73-73)
16 小林 寛裕(東京 安田学園③) 147(77-70)
17 中武 力(高知 明德義塾③) 147(73-74)
18 松村 道央(栃木 佐野日大①) 148(73-75)
19 谷田 亮(大阪 大阪桐蔭③) 148(75-73)
20 池田 浩二(香川 香川西②) 148(73-75)
21 渡辺 征伸(宮城 仙台育英③) 148(76-72)

藤大将(茨城・水城3年)と長谷輝男(高知・明德義塾3年)が2打差の2位、甲斐が3打差の4位、市原弘大(埼玉・埼玉2年)、石川らが5打差の24位で追う展開となった...



き、13番パー5では約40ヤードの第3打を直接カップに放り込む見事なイーグルで一気に逆転...



女子の部

- 1 高松 聖 (香川 香川西③) 142 (72・70)
2 田中 亜依 (愛知 春日丘③) 144 (71・73)
3 松村 瞳 (熊本 東海大③) 145 (75・70)
4 大川 久乃 (北海道 駒大岩見沢②) 147 (74・73)
5 古屋 京子(福岡 沖学園③) 147(74-73)
6 桜井 裕華(埼玉 埼玉栄③) 147(72-75)
7 下村 真由美(埼玉 埼玉栄②) 149(77-72)
8 持田 恵理(福岡 沖学園③) 149(76-73)
9 紫垣 綾花(熊本 東海大②) 151(72-79)
10 恒川 智会(愛知 栄徳②) 152(75-77)
11 山本 真美(東京 堀越③) 152(75-77)
12 佐藤 丹美(愛知 春日丘②) 152(74-78)

第45回大会

日 時 平成13年8月10日・11日
コース 富士カントリー明智ゴルフ倶楽部明智ゴルフ場(男子・東コース6944ヤード、女子・西コース6372ヤード、男女各パー-72)

女子は、宮里藍(東北)が2位に8打の大差をつけて優勝した。初日65で猛ダッシュし、最終日も3バーディー、1ボギーの70で回り後続を寄せ付けなかった...

男子の部

- 1 武山皓太郎 (岐阜 京③) 137 (67・70)
2 原田 大介 (大阪 大阪桐蔭③) 139 (73・66)
3 高山 準平 (愛知 春日丘③) 139 (70・69)
4 藤島 晴雄 (長崎 長崎日大③) 139 (69・70)
5 山本 隆允 (高知 明德義塾③) 139 (68・71)
6 正岡 竜二(沖 西原③) 140(70-70)
7 石川 裕貴(広島 瀬戸内③) 141(71-70)
8 草津 大志(広島 瀬戸内①) 141(70-71)
9 中島 大志(山梨 駿台甲府②) 142(74-68)
10 橋爪 光彦(栃木 佐野日大②) 142(72-70)
11 松村 道央(栃木 佐野日大①) 142(72-70)
12 森本 雄也(大阪 大阪桐蔭③) 143(71-72)
13 三品 貴泰(岐阜 美濃加茂②) 143(70-73)
14 谷口 郁弥(兵庫 神戸学院②) 143(70-73)
15 友次 啓晴(広島 廣島③) 144(73-71)
16 小山 真志郎(福岡 柳川①) 144(72-72)
17 諸藤 将次(福岡 沖学園①) 144(72-72)
18 香山 隼人(兵庫 同朋②) 145(71-74)
19 山内 雅人(沖 西原③) 145(70-75)
20 池田 勇太(千葉 千葉学芸①) 146(73-73)
21 佐藤 達也(千葉 千葉学芸②) 146(70-76)

だれにも止めることは出来なかった宮里の快進撃。初日にいきなり昨年の覇者古閑らが持つ大会記録69を大幅に更新する65をマークした...

なった」と精神的な成長もあげた。心身ともに成長をし続ける宮里3兄弟の末妹だ。

男子は武山が全国大会初勝利にも複雑な表情を見せた。17番まで同組の山本隆允(明德義塾)に1打差をつけられていた...



女子の部

- 1 宮里 藍 (宮城 藍北①) 135 (65・70)
2 横峯さくら (高知 明德義塾①) 143 (71・72)
3 香山 麻央 (兵庫 滝川二③) 144 (76・68)
4 山本 知佳 (富山 新川②) 144 (73・71)
5 佐伯 三貴 (広島 佐伯③) 144 (71・73)
6 田中美弥子(熊本 東海大①) 146(72-74)
7 池田 亜規(高知 明德義塾②) 148(75-73)
8 西岡あゆ美(愛知 清林館③) 148(75-73)
9 荒崎 桂子(埼玉 埼玉栄③) 149(76-73)
10 上原 彩子(岡山 岡山山陽③) 149(75-74)
11 中村 美樹(岡山 清心女子①) 149(72-77)
12 馬場由美子(福岡 久留米信愛②) 149(72-77)



第44回大会

日 時 平成12年8月10日・11日
コース 男子=那須野ヶ原カントリークラブ(パー-72、6955ヤード)
女子=スポーツ振興東那須カントリークラブ(パー-73、6412ヤード)

男子は驚異の追い上げで石川裕貴(瀬戸内)が2連覇。女子は古閑美保(東海大)が6アンダー140の大会最少ストロークで初優勝を飾った...

男子の部

- 1 石川 裕貴 (広島 瀬戸内②) 138 (72・66)
2 正岡 竜二 (沖 西原②) 139 (70・69)
3 福永 光伸 (宮崎 宮崎一③) 140 (70・70)
4 中島 徹 (山梨 駿台甲府①) 140 (71・69)
5 市原 弘大(埼玉 埼玉栄③) 141(72-69)
6 谷口 郁弥(兵庫 神戸学院①) 141(72-69)
7 山本 隆允(高知 明德義塾②) 142(71-71)
8 秋本 晃一(大阪 大阪桐蔭③) 143(72-71)
9 武山皓太郎(岐阜 京③) 143(74-69)
10 鮮井 伸和(石川 金沢東③) 144(68-76)
11 平塚 智幸(茨城 小瀬③) 144(71-73)
12 中西 雅樹(兵庫 茨城②) 145(69-76)
13 古川 敦基(宮城 仙台育英③) 145(71-74)
14 川崎 巨樹(茨城 水城③) 145(71-74)
15 藤島 晴雄(長崎 長崎日大②) 145(72-73)
16 米澤 友一(宮城 仙台育英③) 145(73-72)
17 佐藤 達也(千葉 千葉学芸①) 145(74-71)
18 高橋 勇人(北海道 札幌光星③) 145(74-71)

メートルのバーディーパットは微妙なスライズライン。「緊張したけど打った瞬間入ると思った」という自信の一打。スコアカードの「29」の文字に「むちゃむちゃうれい」と白い歯がこぼれた。

この日はスタート10番でボギー、11番でダブルボギー。「あれがあったから29が出たと思う」。負けん気の強さが出たのは、13番ロングホール。残り230ヤードから3番ウッドでの第2打が、カップをかすめる30センチ先で止まる...

瀬戸内高の杵築監督は、石川を「練習大嫌い、ゴルフは大好き」と表現した。本人も「練習は楽しむだけです。試合では真剣」とさらりとこたえる。杵築監督は同行OBの田中秀道を引き合いにだし「彼は努力家のコッコツ型。石川の方が才能は上ですよ」と言いきる...



は、初日からトップに立ち、最終日前半3バーディー、後半は5番で唯一のボギーを叩くも2バーディーを加えた。2打差5位でスタートした上原彩子(岡山山陽)は前半古閑と同じ33をマークしたが、後半7番ショートでダブルボギーで万事休す...



女子の部

- 1 古閑 美保 (熊本 東海大③) 140 (71・69)
2 上原 彩子 (岡山 岡山山陽②) 145 (73・72)
3 成田いづみ (熊本 東海大③) 146 (73・73)
4 紫垣 綾花 (熊本 東海大③) 147 (72・75)
5 佐伯 三貴(広島 武田①) 150(73-77)
6 宮里 弘子(熊本 熊本中央女子③) 150(74-76)
7 香山 麻央(兵庫 滝川二②) 150(77-73)
8 恒川 智会(愛知 栄徳③) 151(72-79)
9 佐藤 丹美(愛知 春日丘②) 151(72-79)
10 山本 知佳(富山 新川①) 151(73-78)

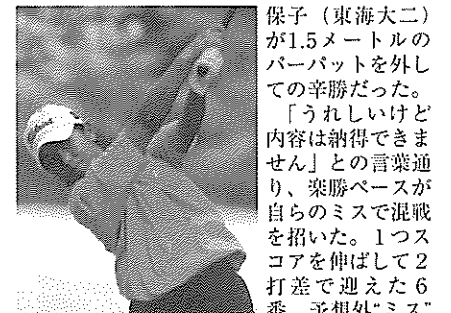
第46回大会

日 時 平成14年8月10日・11日
コース 男子=那須野ヶ原カントリークラブ(6933ヤード、パー-72)
女子=東那須カントリークラブ(6390ヤード、パー-72)

女子は、宮里藍(東北)が中学時代から史上初の4連覇を達成。男子は齊藤麗(駿台甲府)が通算6アンダーの138で初優勝を成し遂げた...

男子の部

- 1 齊藤 麗 (山梨 駿台甲府②) 138 (68・70)
2 中島 徹 (山梨 駿台甲府③) 139 (71・68)
3 佐藤 達也 (千葉 千葉学芸③) 141 (73・68)
4 澤田 健一 (北海道 尚志学園②) 141 (72・69)
5 池田 勇太 (千葉 千葉学芸②) 141 (71・70)
6 真田 雅彦(埼玉 埼玉栄①) 143(76-67)
7 藤島 郁弥(福岡 柳川③) 143(69-74)
8 谷口 郁弥(兵庫 神戸学院①) 144(71-73)
9 橋爪 光彦(栃木 佐野日大②) 144(70-74)
10 草津 大志(山梨 瀬戸内②) 144(69-75)
11 笠原 広規(岡山 おかや山陽②) 145(75-70)
12 丸山 聖(千葉 東京学館津安③) 145(73-72)
13 恩田 脩平(高知 明德義塾②) 145(70-75)
14 吉田 佑基(岡山 興譲館③) 145(70-75)
15 後藤 拓磨(茨城 水城③) 146(74-72)
16 中西 雅樹(兵庫 茨城②) 146(73-73)
17 高城 秀斗(埼玉 埼玉栄③) 146(72-74)
18 赤坂 一樹(北海道 滝川二③) 146(68-78)
19 河合 俊輔(兵庫 滝川二②) 147(76-71)
20 篠原 貴史(神奈川 横浜商大②) 147(75-72)
21 内田 知宏(東京 日大荏原③) 147(74-73)
22 香山 隼人(兵庫 久留米信愛③) 147(73-74)
23 一宮 健(高知 明德義塾③) 147(72-75)



保子(東海大)が1.5メートルのバーパットを外しての辛勝だった。「うれしいけど内容は納得できません」と言葉通り、楽勝ペースが自らのミスで混戦を招いた。1つスコアを伸ばして2打差で迎えた6番、予想外「ミス」が出た...

バーディーがいる」そう自分に言い聞かせた18番パー5。2オンに成功したものの、20メートルのバットが2メートルも左にそれてしまう...

初日は68で首位タイ進出。前年と同じ状況だった。しかし、前年は最終日に80を叩き自滅。その苦い経験を生かし、鮮やかにリベンジを成し遂げた。

女子の部

- 1 宮里 藍 (宮城 藍北②) 143 (70・73)
2 宮島 美香 (岐阜 美濃加茂①) 144 (72・72)
3 井芹美保子 (熊本 東海大②) 144 (71・73)
4 山本 知佳(富山 新川③) 145(74-71)
5 佐藤 里菜(東京 立正②) 146(74-72)
6 諸見里しのぶ(岡山 おかや山陽①) 146(71-75)
7 馬場由美子(福岡 久留米信愛③) 147(77-70)
8 中村 香織(京都 平安女学院①) 148(76-72)
9 田中美弥子(熊本 東海大②) 148(76-72)
10 和田委世子(宮城 東大②) 148(74-74)
11 中村美沙子(高知 明德義塾②) 148(74-74)
12 佐伯 三貴(広島 武田③) 148(74-74)
13 横峯さくら(高知 明德義塾②) 148(73-75)
14 土肥功留美(愛知 中京女大付②) 148(73-75)

第47回大会

日 時 平成15年8月8日・9日

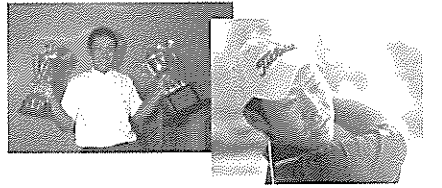
コース 男子=那須野ヶ原カントリークラブ(6990ヤード、パー72)
女子=25メンバーズクラブ琵琶池コース(6321ヤード、パー72)

女子は横峯さくら(高知・明德義塾3年)がライバルの宮里藍(宮城・東北3年)の3連覇を阻止し、初優勝を飾った。通算2アンダーで初日の首位を守りきり、2位宮里に2打差をつけた。男子は日本アマベスト4の津曲泰弦(つまがり・たいげん、福岡・柳川2年)が通算2



アンダーで初優勝した。最終日の前半9番ミドル。打倒宮里に燃える横峯の執念が、ミラクルバーディーを生んだ。3段グリーンとの奥のピンに向け、5mの上りのスライスを読みきり、カップへ沈めた。1組前の宮里に首位に並ばれた直後の会心打で、流れを決めた。続く10.11番もバーディーを決め、一気に突き放した。台風10号の影響で断続的に激しい風雨に見舞われる悪条件の中、低い弾道で攻めきり、3バーディー、2ボギーの71でラウンド。文句のない内容でライバルに完勝した。「うれしい。藍ちゃんの3連覇を阻止できたんだから」と声を弾ませた。02年の日本ジュニアは1打差で勝ち、03年の日本女子アマは準々決勝で敗れた。競い合って成長し、ツアー4試合連続予選突破と、宮里と並ぶアマのトップになった。大会前には、4つ違いの姉留衣が3度目の挑戦でプロテストに合格。「励みになる。姉と最終組でラウンドするのが夢」とプロ入りを見据えていた。男子は津曲の初優勝で幕を閉じた。4打差11位からの逆転劇だった。「まさか逆転できるなんて。うれいしとか言いようがない」。津曲は興奮気味に話した。最終日前半の3番ロングの第2打を3番ウッドでピン横1mにつけ、イーグル。これで決った。アンダーパーは2人だけで、70はこの日のベストスコア。「パーを拾っていくことだけ考えてプ

レーした」と話した。7月の日本アマで脚光を浴びた。千葉学芸の池田勇太とともにベスト4入り。準決勝で2位の23歳長谷川に敗れたが「自信がかった」と振り返る。183cm、80kgと大柄で、ドライバーの飛距離は280mを超える。だが得意はバナーで「あきらめないゴルフが身上」と言い放つ。まさに身上の粘りのゴルフで手にした優勝だった。



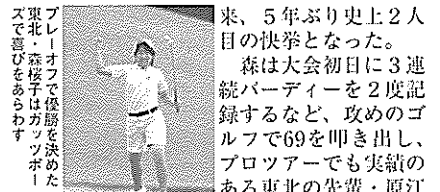
- 男子の部
- 津曲 泰弦 (福岡 柳川②) 142 (72・70)
 - 塩部 健太 (広島 島瀬戸内②) 143 (69・74)
 - 森 正尚 (福岡 岡沖学園②) 145 (74・71)
 - 伊藤 勇気 (茨城 鹿島学園①) 145 (68・77)
 - 和田健太郎 (高知 明德義塾②) 146 (70・76)
 - 斎藤 麗 (山梨 駿台甲府③) 147 (74・73)
 - 照屋 貴之 (福岡 沖学園③) 147 (71・76)
 - 笠原 広規 (岡山 おかやま山陽③) 147 (70・77)
 - 後藤 大志 (兵庫 滝川二②) 148 (74・74)
 - 芳賀 洋平 (埼玉 埼玉栄③) 148 (73・75)
 - 池田 勇太 (千葉 千葉学芸③) 148 (71・77)
 - 岡部 大輔 (茨城 鹿島学園①) 148 (71・77)
 - 草津 大志 (広島 島瀬戸内③) 149 (75・74)
 - 石川 元樹 (大阪 大坂桐蔭③) 149 (73・76)
 - 渡邊 優登 (千葉 千葉学芸②) 149 (72・77)
 - 澤田 健一 (北海道 尚志学園③) 149 (70・79)
 - 福田 健人 (高知 明德義塾②) 149 (70・79)
 - 岩橋 徹 (福岡 柳川③) 150 (73・77)
 - 篠塚 直彦 (茨城 鹿島学園②) 150 (73・77)
 - 小林伸太郎 (栃木 佐野日大②) 150 (72・78)
 - 星 健太 (栃木 佐野日大②) 151 (73・78)
 - 篠原 貴史 (神奈川 横浜商大③) 151 (73・78)
 - 小山真志郎 (福岡 柳川③) 151 (73・78)
 - 安本 大祐 (北海道 尚志学園②) 151 (73・78)
- 女子の部
- 横峯さくら (高知 明德義塾③) 142 (71・71)
 - 宮里 藍 (宮城 東北③) 144 (73・71)
 - 和田優世子 (宮城 東北③) 147 (72・75)
 - 井芹美保子 (熊本 東海大二③) 148 (74・74)
 - 青山 加織 (熊本 東海大二③) 149 (71・78)
 - 中国 美香 (宮崎 宮崎日大③) 149 (73・76)
 - 本部 智美 (東京 堀越②) 150 (75・75)
 - 藤田 幸希 (栃木 科学技術③) 150 (76・74)
 - 有村 智恵 (宮城 東北①) 150 (76・74)
 - 宅島 美香 (岐阜 美濃加茂②) 151 (73・78)
 - 吉田弓美子 (神奈川 厚木北①) 152 (75・77)
 - 秋山紗恵子 (岡山 おかやま山陽①) 152 (75・77)
 - 綾田 紘子 (東京 共立女子二①) 152 (75・77)
 - 竹村 千里 (京都 京都学園①) 152 (76・76)
 - 上田 桃子 (熊本 東海大二②) 152 (76・76)
 - 宮本 唯 (愛知 栄徳①) 152 (76・76)

第49回大会

日 時 平成17年8月9日・10日

コース 男子=那須野ヶ原カントリークラブ(6879ヤード、パー72)
女子=25メンバーズクラブ琵琶池コース(6321ヤード、パー72)

女子は宮城・東北の森桜子が記録づくめの初優勝を飾った。過去に平瀬真由美(熊本・熊本市立) 福嶋見子(神奈川・白鷺女子)らビッグネームも達成している1年生での個人戦制覇は、東北の先輩・宮里藍が01年大会(第45回)でなしに逃げて以来、4年ぶり。団体戦との2冠は00年大会(第44回)の古閑美保(熊本・東海大二)以来



男子は宮城・東北の1年生・藤本佳則が初優勝を果たした。初日65の快スコアで2位に3打差をつける会心のスタートを切ると、最終日も68の好スコアをマークし、

- 男子の部
- 藤本 佳則 (宮城 東北①) 133 (65・68)
 - 永野竜太郎 (茨城 水城②) 137 (68・69)
 - 服部 大輔 (千葉 千葉日大②) 137 (68・69)
 - 伊藤 勇気 (茨城 鹿島学園③) 138 (69・69)
 - 園田 峻輔 (東京 杉並学院①) 138 (70・68)
 - 山元 貴大 (鹿児島 尚志館③) 138 (68・70)
 - 宇佐美祐樹 (東京 杉並学院②) 139 (70・69)
 - 中西 直人 (兵庫 駒ヶ丘②) 139 (69・70)
 - 宮里 藍 (宮城 東北③) 140 (71・69)
 - 渡辺 権人 (栃木 佐野日大③) 140 (70・70)
 - 松岡 勇作 (福岡 沖学園②) 140 (69・71)
 - 岸野 謙二 (茨城 鹿島学園③) 141 (73・68)
 - 小平 智 (東京 駒場学園①) 141 (68・73)
 - 鳴海 翼 (北海道 尚志学園③) 143 (75・68)
 - 大溝 崇真 (千葉 拓大紅陵②) 143 (72・71)
 - 青山 慎達 (大阪 大阪桐蔭③) 143 (73・70)
 - 江口 幸輝 (福岡 沖学園③) 143 (70・73)
 - 柴田健太郎 (宮城 東北②) 144 (74・70)
 - 高柳 直人 (千葉 拓大紅陵②) 144 (75・69)
 - 並木 啓枝 (千葉 多古②) 144 (71・73)
 - 坂上 陸郎 (埼玉 埼玉栄③) 144 (72・72)
 - 前田 和宏 (高知 明德義塾②) 144 (73・71)
- 女子の部
- 森 桜子 (宮城 東北①) 142 (69・73)
 - 向山 唯 (京都 聖母学院③) 142 (70・72)
 - 原 江里菜 (宮城 東北③) 142 (70・72)
 - 木戸 愛 (宮城 東北①) 144 (73・71)
 - 有村 智恵 (宮城 東北③) 144 (71・73)
 - 服部 真夕 (岐阜 美濃加茂③) 144 (75・69)
 - 若林舞衣子 (新潟 開志学園②) 145 (75・70)
 - 笠原 りつ子 (熊本 東海大二③) 146 (72・74)
 - 福岡あず沙 (愛知 星城①) 147 (74・73)
 - 佐藤のぞみ (宮城 東北③) 148 (74・74)
 - 桜井 有希 (京都 京都学園②) 148 (74・74)
 - 菊地絵理香 (宮城 東北②) 149 (72・77)
 - 大和田笑莉奈 (宮城 東北①) 149 (75・74)
 - 綾田 紘子 (東京 共立女子二③) 149 (76・73)
 - 新井 麻衣 (福岡 福岡工業②) 149 (71・78)
 - 森田理香子 (京都 京都学園①) 149 (71・78)
 - 秋山紗恵子 (岡山 おかやま山陽③) 149 (75・74)
 - 小橋絵利子 (香川 香川②) 149 (73・76)
 - 下村 樹美 (熊本 本玉) 149 (74・75)
 - 西村 友希 (熊本 埼玉栄②) 150 (74・76)
 - 小川奈美 (千葉 千葉学芸③) 150 (76・74)
 - 原 里奈 (東京 成城学園①) 150 (74・76)
 - 牧 里奈 (愛知 栄徳①) 150 (73・77)
 - 上原 美希 (沖縄 沖繩尚学②) 150 (76・74)

第48回大会

日 時 平成16年8月6日・7日

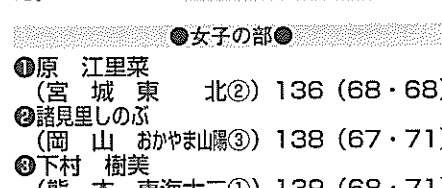
コース かつしま空港36カントリークラブ(男子:空港コース 6950ヤード、女子:横川コース6512ヤード、男女各パー72)

女子は初日2位につけていた原江里菜(宮城・東北2年)が通算8アンダーで諸見里しのぶ(岡山・おかやま山陽3年)を逆転して初優勝。男子は井上紳也(埼玉・埼玉栄3年)が2位を1打差で抑え初優勝した。原は春夏連覇を狙う優勝候補の諸見里を逆転した。「うれしい一言です」と最高の笑顔を見せる。最終日は4バーディー、ノーボギーの68。通算8アンダー、136は01年に東北の先



輩・宮里藍がマークした135に次ぐ歴代2位の好スコアだった。連覇を狙った団体戦では2日間2オーバーと振るわなかった。ホールアウト後はチームに貢献できなかったふがいなさに悔し涙がはをおを伝った。それを歓喜の涙に変えたのは宮里の一言だった。個人戦開幕前日、宮里に「パットが入らないんです」と電話で相談した。返ってきた言葉は「なるようにしかならないんだから、あまり考えないで」。もやもやしていた気持ちがスッと晴れた。結果を気にしない素直な心でボールに向かった。「個人戦ではパットが入りました。藍先輩が優勝した大会で勝って光栄です」。宮里の父・優さんを師匠と仰ぎ、長期の休みに宮里と一緒に沖繩で練習する。宮里はいわば姉弟子。その先輩の言葉を胸に刻んでの優勝だった。男子は劇的な勝利で井上が初優勝を飾った。最終ホールにドラマが待っていた。18番パー5、1打リードしていた小林伸太郎(栃木・佐野日大3年)がボギーを叩いたあと、井上が1.5メートルのバーディーパットをねじ込み優勝を決めた。これまで全国大会で目立った実績はなく、目標は「2日間パープレー」。優勝は頭の片

隅にもなかった。それが個人戦前日に後輩から借りた1Wでティーショットの不調から脱出。初日67で首位に立つと、初めての優勝争いでも焦ることなく着実にスコアを伸ばした。「うれしくて涙が出そう」と言う目は真っ赤だった。高校最後の夏の大会、謙虚な気持で挑んだ井上が初の王座を獲得し幕を閉じた。



- 男子の部
- 井上 紳也 (埼玉 埼玉栄③) 137 (67・70)
 - 小林伸太郎 (栃木 佐野日大③) 138 (68・70)
 - 渡邊 優登 (千葉 千葉学芸③) 139 (68・71)
 - 渡邊 権人 (栃木 佐野日大②) 140 (69・71)
 - 荒木 龍人 (愛知 星城②) 140 (69・71)
 - 大和田桂介 (茨城 鹿島学園①) 141 (69・72)
 - 森 正尚 (福岡 沖学園③) 141 (72・69)
 - 永野竜太郎 (茨城 水城②) 142 (71・71)
 - 中西 直人 (兵庫 駒ヶ丘②) 142 (68・74)
 - 安本 大祐 (北海道 尚志学園②) 142 (68・74)
 - 伊藤 勇気 (茨城 鹿島学園②) 142 (71・71)
 - 岡部 大輔 (茨城 鹿島学園②) 142 (71・71)
 - 和田健太郎 (高知 明德義塾③) 142 (71・71)
 - 宇佐美祐樹 (東京 杉並学院①) 143 (71・72)
 - 服部 大輔 (千葉 千葉日大①) 143 (73・70)
 - 楠 敬吾 (神奈川 横浜商大③) 143 (69・74)
 - 篠塚 直彦 (茨城 鹿島学園③) 143 (74・69)
 - 全村 龍大 (愛知 ヒルズ学園③) 143 (69・74)
 - 日高 裕貴 (大阪 大坂桐蔭③) 143 (71・72)
- 女子の部
- 原 江里菜 (宮城 東北②) 136 (68・68)
 - 諸見里しのぶ (岡山 おかやま山陽③) 138 (67・71)
 - 下村 樹美 (熊本 東海大二①) 139 (68・71)
 - 宅島 美香 (岐阜 美濃加茂③) 140 (70・70)
 - 有村 智恵 (宮城 東北②) 142 (72・70)
 - 綾田 紘子 (東京 共立女子二②) 142 (70・72)
 - 園 舞 (宮城 東北③) 143 (70・73)
 - 服部 真夕 (岐阜 美濃加茂②) 143 (70・73)
 - 金宮 美司 (埼玉 埼玉栄①) 143 (71・72)
 - 佐藤のぞみ (宮城 東北②) 144 (75・69)
 - 中村 香織 (京都 平安女学院③) 144 (73・71)
 - 向山 唯 (京都 聖母学院②) 144 (72・72)
 - 小山恵利子 (東京 武蔵野③) 144 (70・74)
 - 高林 由美 (北海道 尚志学園③) 145 (73・72)

第50回大会

日 時 平成18年8月10日・11日

コース 男子=プレスカントリークラブ(7036ヤード、パー72)
女子=ローズベイクントリークラブ(6477ヤード、パー72)

女子は宮城・東北3年の菊地絵理香が最終日に68を出し、通算6アンダーで逆転の初優勝を果たした。1打差で初日首位だった森田理香子(京都学園2年)と並んで迎えた最終18番でバーディーを奪い、勝負を決めた。団体戦との2冠は、第49回大会の森桜子に続き史上3人目



奪った菊地は、自信満々に沈めた。逆に森田が外し、初の全国タイトルとなった。「6年間で宮里藍も含めて何十人も指導してきた子です」。川崎菊地監督が感無量の表情で褒めた。菊地は「昨年まではボギーをたたくと、すぐに落ち込んだり投げ出したりしていた。そんな弱気な自分が解消できたのが勝因」1番でいきなりボギーとつまづいたが中盤で我身のプレーのしぎ、15、16番の連続バーディーで追いついた。団体戦のラストパット

- 男子の部
- 永野竜太郎 (茨城 水城③) 135 (65・70)
 - 柴田健太郎 (宮城 東北③) 138 (73・65)
 - 高柳 直人 (千葉 拓大紅陵③) 140 (71・69)
 - 前田 和宏 (高知 明德義塾③) 141 (71・70)
 - 尾方 友彦 (福岡 柳川②) 141 (69・72)
 - 宇佐美祐樹 (東京 杉並学院③) 142 (73・69)
 - 徳永 智也 (兵庫 駒ヶ丘②) 142 (70・72)
 - 小嶋 竜也 (兵庫 駒ヶ丘②) 142 (71・71)
 - 藤本 佳則 (宮城 東北②) 143 (73・70)
 - 川口 明宏 (宮城 東北①) 143 (75・68)
 - 大塚 智之 (埼玉 埼玉栄①) 143 (74・69)
 - 近藤 幸宣 (茨城 水城②) 143 (74・69)
 - 片岡 大育 (香川 香川西③) 143 (72・71)
 - 久保太郎 (栃木 佐野日大②) 144 (73・71)
 - 高橋 良輔 (茨城 鹿島学園③) 144 (73・71)
 - 西田 弘樹 (京都 京都学園③) 144 (70・74)
 - 新田 瑞成 (香川 香川西②) 144 (71・73)
 - 大槻 智春 (茨城 鹿島学園②) 145 (74・71)
 - 大溝 崇真 (千葉 拓大紅陵③) 145 (73・72)
 - 大田和桂介 (茨城 鹿島学園③) 145 (70・70)
 - 小平 智 (東京 駒場学園②) 145 (71・74)
 - 加門 大典 (兵庫 滝川二②) 145 (72・73)
 - 柳原 光瑠 (兵庫 滝川二②) 145 (73・72)
 - 横山 昌弘 (鹿児島 尚志館③) 145 (74・71)
- 女子の部
- 菊地絵理香 (宮城 東北③) 138 (70・68)
 - 森田理香子 (京都 京都学園②) 139 (69・70)
 - 若林舞衣子 (新潟 開志学園③) 141 (70・71)
 - 藤本 麻子 (岡山 作陽①) 145 (72・73)
 - 山 香織 (宮城 東北①) 146 (74・72)
 - 中山 三奈 (兵庫 滝川二①) 146 (71・75)
 - 志賀 友香 (埼玉 埼玉栄①) 147 (72・75)
 - 大和田笑莉奈 (宮城 東北②) 147 (73・74)
 - 森 桜子 (宮城 東北②) 149 (74・75)
 - 森原えりか (東京 成城学園②) 149 (72・77)
 - 剣持江里加 (栃木 佐野日大③) 149 (74・75)
 - 横谷 香 (広島 武島 田③) 149 (75・74)
 - 下村 樹美 (熊本 東海大二③) 149 (77・72)
 - 斎藤 愛瑠 (神奈川 厚木北③) 150 (72・78)
 - 森岡 紘加 (高知 明德義塾①) 150 (75・75)
 - 井上 希莉 (福岡 沖学園③) 150 (75・75)
 - 大野 友希 (福岡 沖学園③) 150 (75・75)
 - 坂下莉穂子 (兵庫 滝川二①) 151 (73・76)
 - 堀 悠美子 (兵庫 滝川二②) 151 (73・78)
 - 丑田 恵美 (高知 明德義塾③) 151 (77・74)

第51回大会 ■日時

平成19年8月9日・10日

■コース 土佐カントリークラブ
(男子・6628ヤード、女子・6165ヤード、男女各パー72)

女子は、滝川二2年の中山三奈が、女王に輝いた。初日を70とし首位タイでターン、最終日は71で通算3アンダーで優勝した。17、18番でOBをたたき、連続でダブルボギーとするなどピンチもあったが、2位に付けた2005年度個人の部優勝者、森桜子(東北3年)を1打差で逃げ切った。シーソーゲームを制した中山は「最後まで何が起きるか分からないと思ってあきら

高校女王に輝いた中山三奈



逆転での優勝を決めた東北・森本雄と接戦を制した滝川二・中山三奈は笑顔を見せる

めなかった」。張り出されたボードで優勝を確認すると、号泣して喜んだ。滝川二として、初となる高校選手権のタイトルを喜んだ。「この優勝で、プレッシャーに強いゴルファーになれたかもしれません」と笑顔で話した。

男子は東北2年の森本雄が、プレーオフの末に日本一に輝いた。初日首位の矢代直仁(千葉学芸1年)との2打差を4連続を含む6バーディー。猛チャージを見せ、通算10アンダーとし、プレーオフに持ち込んだ。2ホール目でバーを逃した矢代に対し、約1.5メートルのバーパットを落ち着いて沈めて、逆転での初優勝につなげた。「途中でダメかなと思っていたけど、あきらめなかったからバーディーがきた。(プレーオフ)2ホール目だったので、ここで決めてやろうと思っていた。中学でも惜しいところで勝てなかったの、全国で勝ててうれしいです」と話した。

5月のマンスリングウェアオーブンK S B

カップで日本のプロゴルフ界で史上最年少で優勝を達成した東京・杉並学院1年の石川遼は、注目を集めたが、10位タイに終わった。初日は首位と10打差の74、58位と出遅れたものの、最終日には5バーディー、ボギーなしの67をマーク。本来の調子を取り戻したが、通算3アンダーの141で大会を終えた。

●女子の部●

- 1 中山 三奈 (兵庫 滝川二②) 141 (70・71)
- 2 森 桜子 (宮城 東北③) 142 (72・70)
- 3 酒井 美樹 (福島 磐城東洋①) 143 (74・69)
- 4 与那嶺真代 (沖縄 本部②) 143 (74・69)
- 5 斎藤 愛璃 (神奈川 厚木北③) 143 (72・71)
- 6 藤本 麻子(岡山 作陽②) 145 (73・72)
- 7 大野 和樹(東京 立正②) 145 (70・75)
- 8 法崎佳成子(広島 広島国際学院③) 146 (75・71)
- 9 大江 香織(宮城 東北②) 146 (73・73)
- 10 牧 里奈(愛知 栄徳③) 147 (76・71)
- 11 森長 真理子(沖縄 沖縄尚学③) 147 (75・72)
- 12 嶋田 江莉(東京 杉並学院①) 147 (73・74)
- 13 大和笑莉奈(宮城 東北③) 148 (77・71)
- 14 下置 麻琴(愛知 明和②) 148 (76・72)
- 15 大塚 薫(兵庫 滝川二③) 149 (76・73)
- 16 遠藤 冴子(福島 富岡②) 149 (75・74)
- 17 濱本 風紗(高知 明德義塾①) 149 (74・75)
- 18 加賀其 真美(福岡 沖学園①) 150 (79・71)
- 19 山本 有里(兵庫 滝川二③) 150 (78・72)
- 20 中村 美枝(神奈川 横浜商大③) 150 (76・74)
- 21 世古 麻由(高知 明德義塾①) 150 (76・74)
- 22 野村 美優(宮城 東北③) 150 (74・76)

第52回大会 ■日時

平成20年8月8日・9日

■コース 男子=那須野ヶ原カントリークラブ(6800ヤード、パー72)
女子=琵琶池ゴルフ倶楽部(6321ヤード、パー72)

男子は松山英樹(明德義塾2年)が、初日の10位タイから猛チャージをみせ、一気に高校王者まで上り詰めた。最終日の前半を3アンダーとし、2位タイに浮上すると後半は「すべてがかみ合った」と言うように13番でチップインイーグルを奪い、17番のチップインバーディーなどもあり31で回り、5アンダー。2日間合計

男子個人の部優勝の松山英樹(明德義塾)



女子個人の部優勝の青木瀬奈(前橋商)

で2位に3打差をつける10アンダーで優勝した。周囲からは「高知の練習の虫」と呼ばれるほどの努力家だが、四国地区でのタイトルのみで全国の舞台での優勝経験はなかった。「優勝できると思わなかった。前半を終えてショットに自信が持てるようになったのが原因ですね。出来過ぎです」と喜んだ。

女子は青木瀬奈(前橋商1年)が安定したプレーで1年生ながら高校女王に輝いた。1年生での優勝は過去に平瀬真由美(熊本・熊本市立)や福岡島見子(神奈川・白鷗女子)、宮里藍(宮城・東北)などビッグネームが達成している。

青木は2日間の前、後半ともすべてスコアは

35。ショット、アプローチとも完璧で精密機械のように連日2アンダーを刻み、2位に1打差をつけ接戦を制した。「マイペースで安定したゴルフを心がけたのが良かったです」と喜びを爆発させた。初日首位の森美穂(福井工大福井1年)は最終日1オーバーとスコアを伸ばせず2位タイに終わった。

●女子の部●

- 1 青木瀬奈 (群馬 前橋商①) 140 (70・70)
- 2 大江 香織 (宮城 東北③) 141 (73・68)
- 3 豊永 志帆 (熊本 東海大二③) 141 (72・69)
- 4 夫馬 菜月 (岐阜 美濃加茂①) 141 (69・72)
- 5 森 美穂 (福井 福井工大福井①) 141 (68・73)
- 6 宮田 綾音(福井 福井工大福井②) 142 (71・71)
- 7 仲宗根 澄香(千葉 松戸六美②) 142 (70・72)
- 8 山口 莉穂(埼玉 埼玉栄②) 143 (73・70)
- 9 中山 三奈(兵庫 滝川二③) 143 (70・73)
- 10 沖 せいら(宮城 東北①) 144 (75・69)
- 11 荒木 美友(愛知 星城③) 144 (73・71)
- 12 岩間 里紗(宮城 東北③) 145 (75・70)
- 13 澤井 瞳(兵庫 滝川二③) 145 (75・70)
- 14 酒井 美紀(福島 東日本大昌平②) 145 (72・73)
- 15 藤本 麻子(岡山 作陽③) 145 (72・73)
- 16 山里 愛(沖縄 沖縄尚学②) 145 (70・75)
- 17 坂口 真由希(京都 京都学園②) 146 (74・72)
- 18 小楠 梨紗(福井 福井工大福井②) 146 (73・73)
- 19 青木 元美(宮城 東北②) 147 (77・70)
- 20 石川 陽子(神奈川 日大高①) 147 (77・70)
- 21 中山 采美(静岡 藤枝順心①) 147 (74・73)
- 22 青木 菜里奈(群馬 前橋商③) 147 (73・74)
- 23 岡村 咲(高知 高知中央①) 147 (70・77)

●男子の部●

- 1 松山 英樹 (高知 明德義塾②) 134 (70・64)
- 2 今平 周吾 (埼玉 埼玉栄①) 137 (68・69)
- 3 梅山 知宏 (栃木 作新学院②) 138 (70・68)
- 4 矢代 直仁 (千葉 千葉学芸②) 139 (71・68)
- 5 斎藤 翔太(香川 香川西②) 140 (73・67)
- 6 寺嶋 優介(北海道 北海学園札幌③) 140 (72・68)
- 7 森 博貴(福井 福井工大福井②) 140 (70・70)
- 8 小野田 享也(静岡 クラーク浜松②) 141 (73・68)
- 9 伊沢 秀憲(神奈川 日大②) 141 (73・68)
- 10 大塚 智之(埼玉 埼玉栄③) 141 (70・71)
- 11 木下 稜介(香川 香川西②) 141 (69・72)
- 12 石井 魁人(埼玉 埼玉栄②) 141 (68・73)
- 13 徳永 智也(兵庫 クラーク芦屋③) 141 (67・74)
- 14 竹安 俊也(茨城 鹿島学園①) 142 (72・70)
- 15 狩俣 昇平(福岡 柳川①) 142 (71・71)
- 16 須藤 裕太(栃木 作新学院①) 142 (70・72)
- 17 青山 剛(大阪 大阪学院②) 142 (70・72)
- 18 北川 祐生(千葉 千葉学芸③) 143 (73・70)
- 19 儀保 和(沖縄 首里③) 143 (73・70)
- 20 伊藤 慎吾(三重 いなべ総合②) 143 (72・71)
- 21 林 照大(大阪 興国③) 143 (70・73)
- 22 古田 幸希(青森 青森山田①) 143 (70・73)
- 23 森本 雄(宮城 東北③) 143 (68・75)
- 24 高田 聖斗(茨城 水城②) 143 (67・76)

団体の部

第1回大会

昭和55年8月20~21日
かずさCC / 男子34校出場



PL学園が初代王者に

「緑の甲子園」の愛称で開催される第1回大会は、関東・関西の2地区から34校170人が参加し、開催された。優勝候補の前評判通りの実力を発揮したPL学園（大阪）が、栄えある初の文部大臣旗を手にした。千葉日大（千葉）は、新井が、2日間54ホールで合計1オーバーのベストスコアをマークするも4打及ばず2位に終わった。

男子成績

① PL学園 937 (458・479)	金田 秀龍② 225 (111・114=37・39・38)	原田 照久③ 234 (114・120=42・42・36)	森中 康夫④ 237 (116・121=39・40・42)	古村 浩⑤ 241 (117・124=40・41・43)	中谷 剛士⑥ 242 (118・交代)	宮田 修誠⑦ 118 (124=39・42・43)		
② 千葉日大 941 (466・475)	③ 平 安 963 (476・487)	④ 日 大 高 967	⑤ 明 大 中 野 997	⑥ 慶 大 応 1002	⑦ 埼 玉 栄 1004	⑧ 近 大 付 1013	⑨ 伊 東 商 1017	⑩ 日 大 桜 丘 1021

※選手名の丸数字は学年

第4回大会

昭和58年8月18~19日
かずさCC / 男子32校出場



逆転で、日大高V2

台風一過で、気温37度と猛暑の中での大熱戦となった。2連覇を狙う日大高（神奈川）が3年生を中心としたチーム構成で安定感を見せ、初日首位に立った。が、3年連続2位で悲願の初優勝を狙う平安（京都）が最終日に激しく追い上げ、一時は逆転するも、上がり3ホールで日大高が、素晴らしい逆転劇を見せ、V2を達成した。

男子成績

① 日 大 高 946 (476・470)	増田 健③ 232 (115・117=37・39・41)	小松 徹④ 235 (117・118=38・38・42)	大西 克彦⑤ 236 (120・116=41・35・40)	泉 哲哉⑥ 243 (124・119=40・40・39)	飯塚信太郎⑦ 118 (120=43・47・40)			
② 平 安 952 (480・472)	③ PL学園 975 (498・477)	④ 明 大 中 野 983	⑤ 日 体 荏 原 990	⑥ 埼 玉 栄 993	⑦ 愛 知 1001	⑧ 向 上 1035	⑨ 立 教 1036	⑩ 近 大 付 1036

※選手名の丸数字は学年

第2回大会

昭和56年8月18~19日
かずさCC / 男子38校出場



逆転でPL学園が2連覇

2連覇を目指すPL学園（大阪）に平安（京都）が立ちはだかった。初日を終えて3打差を付けての首位。これに発憤したPLは、最終日前半で一気にスパート。最終的には、2位の平安に17打差を付ける圧勝で2連覇を決めた。また、今大会から札幌商が、北海道代表として参加。高校ゴルフの広がりを見せた。

男子成績

① PL学園 913 (454・459)	田中 将憲② 224 (113・111=37・36・38)	金田 秀龍③ 225 (111・114=39・36・39)	河野 竜也④ 231 (116・115=38・42・35)	新野 充⑤ 238 (119・119=37・37・45)	古村 誠⑥ 239 (119・125=38・41・46)			
② 平 安 930 (451・479)	③ 日 大 高 931 (465・466)	④ 千葉日大 943	⑤ 埼 玉 栄 963	⑥ 伊 東 商 984	⑦ 土 浦 日 大 987	⑧ 慶 大 応 998	⑨ 明 大 中 野 1003	⑩ 近 大 付 1023

※選手名の丸数字は学年

第5回大会

昭和59年8月21~22日
かずさCC / 男子34校出場



平安悲願の全国初優勝

第1回3位、2回から3年連続2位とあと一歩のところまで、文部大臣旗を逃してきた平安（京都）が、ついに栄光を手にした。全員が3年生の平安は、北川を中心に初日2位に9打差を付け首位に立ち、最終日も他チームがスコアを崩す中、安定感を見せ、1・2年生主体で追い上げる日体荏原（東京）を振り切った。

男子成績

① 平 安 949 (468・481)	北川 裕規② 225 (111・114=35・40・39)	若吉 勉③ 230 (111・119=38・41・40)	吉田 誠④ 238 (120・118=40・38・40)	岡部 正巳⑤ 259 (129・130=41・50・39)	藤木 尊茂⑥ 264 (126・138=41・48・49)			
② 日 体 荏 原 958 (481・487)	③ PL学園 967 (477・490)	④ 日 大 高 988	⑤ 瀬 戸 内 991	⑥ 埼 玉 栄 1001	⑦ 日 大 桜 丘 1012	⑧ 明 大 中 野 1029	⑨ 堀 越 1037	⑩ 札幌商 1039

※選手名の丸数字は学年

第3回大会

昭和57年8月18~19日
かずさCC / 男子32校出場



ぶっちぎり日大高初V

日大高（神奈川）が、3回大会にして、初めて文部大臣旗を関東にもたらした。初日から主将の芹沢大介を中心に安定した力を見せ、2位の平安に15打差を付け逃げ切った。また、中部地区から初出場の名電工（愛知）が、3位に入賞する大健闘を見せた。今大会から中部・中国地区からも代表校が出場した。

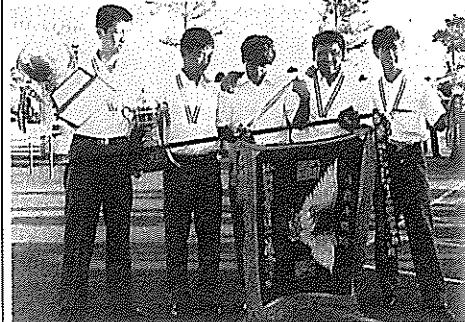
男子成績

① 日 大 高 912 (458・454)	大西 克彦② 240 (118・122=42・41・39)	小松 徹③ 234 (113・121=41・39・41)	増田 健④ 241 (128・113=35・38・40)	和田 浩司⑤ 224 (112・112=36・39・37)	芹沢 大介⑥ 223 (115・108=36・36・36)			
② 平 安 927 (463・464)	③ 名古屋電気 931 (478・453)	④ PL学園 946	⑤ 千葉日大 965	⑥ 近 大 付 967	⑦ 愛 知 982	⑧ 明 大 中 野 985	⑨ 埼 玉 栄 994	⑩ 土 浦 日 大 998

※選手名の丸数字は学年

第6回大会

昭和60年8月20~21日
かずさCC / 男子34校出場



主将の伊沢利光を筆頭に、西川哲、丸山茂樹らトップジュニアを揃えた日体荏原（東京）が、従来の記録（54ホール）を15打も更新する驚異的なスコアで文句なしの初優勝を飾った。参考記録となる個人成績でも、ベスト10に3人が入るなど、圧倒的な強さを発揮し、前年2位の雪辱を果たしての初優勝となった。

男子成績

① 日 体 荏 原 897 (455・442)	伊沢 利光② 219 (112・107=36・36・35)	丸山 茂樹③ 220 (113・107=34・35・38)	西川 哲④ 225 (112・113=39・36・38)	佐藤 英明⑤ 226 (118・118=39・38・41)	三田村 弘⑥ 119 (119=---・---・---)	三代 健次⑦ 交代 (115=40・37・38)		
② PL学園 912 (461・451)	③ 埼 玉 栄 930 (465・465)	④ 愛 知 932	⑤ 日 大 高 935	⑥ 明 大 中 野 936	⑦ 瀬 戸 内 943	⑧ 横 浜 951	⑨ 平 安 958	⑩ 専 大 付 976

※選手名の丸数字は学年

第7回大会

昭和61年8月19~20日
かずさCC
男子32校出場 / 女子4校出場



前年の優勝メンバー4人を残す日体荏原（東京）が、前評判通りの力強さを見せ、2年連続優勝を決めた。特に、丸山茂樹（2年）は、大会史上初となる5連続バーディーを記録、2日目のスコア（27ホール）は、7アンダーの101と驚異的なスコアをマークし、2連覇に大きく貢献した。これに刺激された他のメンバーも好スコアを連発、昨年の最高スコアを3打更新する圧勝だった。

また、本大会から女子の部がオープン競技としてスタート。木村敏美率いる堀越（東京）が、初代チャンピオンの座についた。

男子成績

① 日 体 荏 原 894 (441・453)	丸山 茂樹② 209 (108・101=34・33・34)	立山 光広③ 222 (111・111=37・35・39)	戸田 歩④ 229 (114・115=36・38・41)	西川 哲⑤ 108 (108=---・---・---)	佐藤 英明⑥ 119 (119=---・---・---)	三代 健次⑦ 交代 (126=41・43・42)		
⑧ 横 浜 913	⑨ 明 大 中 野 922	⑩ 平 安 931	⑪ 日 大 高 934	⑫ 埼 玉 栄 936	⑬ 愛 知 950	⑭ PL学園 958	⑮ 瀬 戸 内 960	⑯ 東学館浦安 965

女子成績

① 堀 越 (東京) 505 (261・244)	木村 敏美③ 150 (74・76=39・36)	泰道都也④ 160 (80・80=40・40)	北川 道子⑤ 177 (88・89)	渋谷かおり⑥ 206 (107・99=59・42)
--------------------------	--------------------------	-------------------------	--------------------	---------------------------

第8回大会

昭和62年8月19~20日
愛知・森林公園ゴルフ場
男子35校出場 / 女子4校出場



大会史上初の3連覇を目指す日体荏原（東京）を破り、平安（京都）が3年ぶり2度目の優勝を飾った。現在もトッププロとして活躍中の丸山茂樹（3年）を中心に快挙に挑んだ日体荏原だが、地味ながら総合力に上回る平安が、野村保文ら1年生の活躍もあり、逃げ切った。今大会から出場校の増加もあり1H18ホール、2日間合計36ホール競技に短縮された。また、女子は、昨年2位の津島女子（愛知）が、平松由香里（3年）の活躍で、昨年2位の雪辱を果たした。

男子成績

① 平 安 (京都) 611 (299・312)	野村 保文① 150 (75・75)	箕浦 守一② 153 (75・78)	平塚 哲二③ 156 (74・82)	小林 幸夫④ 156 (75・81)	熊谷 則宏⑤ 157 (79・78)																												
⑥ 日 体 荏 原 (東京) 614	⑦ 横 浜 (神奈川) 667	⑧ 瀬 戸 内 (広島) 630	⑨ 堀 越 (東京) 669	⑩ 水 城 (茨城) 632	⑪ 泉 (千葉) 669	⑫ 埼 玉 栄 (埼玉) 637	⑬ 広 陵 (広島) 671	⑭ 目 黒 (東京) 642	⑮ 愛工大名電 (愛知) 689	⑯ PL学園 (大阪) 643	⑰ 千葉日大 (千葉) 695	⑱ 大産大高 (大阪) 645	⑲ 青山学院 (東京) 696	⑳ 日 大 高 (神奈川) 646	㉑ 札幌商 (北海道) 699	㉒ 東学館浦安 (千葉) 646	㉓ 鳩 山 (埼玉) 701	㉔ 愛 知 (愛知) 648	㉕ 伊 東 商 (静岡) 707	㉖ 東海大四 (北海道) 649	㉗ 関西学院 (兵庫) 710	㉘ 東 北 (宮 城) 652	㉙ 冲 学 園 (福 岡) 714	㉚ 向 上 (神奈川) 661	㉛ 東 邦 (愛知) 718	㉜ 中部大春日丘 (愛知) 662	㉝ 玉川学園 (東京) 721	㉞ 明 大 中 野 (東京) 663	㉟ 盈 進 (広島) 727	㊱ 久 居 (三重) 663	㊲ 千歳北陽 (北海道) 729	㊳ 日 大 一 東 京 664	㊴ 拓 大 紅 陵 千 葉 731

女子成績

① 津島女子 (愛知) 517 (261・256)	平松由香里③ 167 (84・83)	井戸由葉子④ 173 (89・84)	白川しおり⑤ 177 (88・89)	宇佐美恭子⑥ 183 (90・93)
⑦ 埼 玉 栄 (埼玉) 529	⑧ 玉川学園 (東京) 551	⑨ 日体荏原 (東京) 577		

第9回大会

昭和63年8月18~19日
かずさCC
男子34校出場 / 女子4校出場



史上初のプレーオフを制した平安（京都）が2年連続、大会最多となる3回目の優勝を飾った。36ホールを終えた時点で平安と水城（茨城）が、599で並び、代表選手1名によるプレーオフに突入。野村（平安2年）が先輩の意地を見せ、1ホール目で片山（水城1年）を振り切り決着を付けた。

女子は、埼玉栄（埼玉）の追撃を振り切った津島女子（愛知）が、女子では初の2連覇を飾った。

男子成績

① 平 安 (京都) 599 (298・301)	三橋 達也① 146 (73・73)	野村 保文② 150 (76・74)	熊谷 則宏③ 151 (73・78)	山本 辰也④ 152 (76・76)	小林 幸夫⑤ 178 (78・78)	平塚 哲二⑥ 178 (78・78)																										
⑦ 水 城 (茨城) 599	⑧ 向 上 (神奈川) 668	⑨ 日 体 荏 原 (東京) 610	⑩ 目 黒 (東京) 670	⑪ 東学館浦安 (千葉) 614	⑫ 冲 学 園 (福 岡) 680	⑬ 瀬 戸 内 (広島) 615	⑭ 泉 (千葉) 684	⑮ 日 大 高 (神奈川) 627	⑯ 玉川学園 (東京) 683	⑰ PL学園 (大阪) 639	⑱ 青山学院 (東京) 692	⑲ 愛 知 (愛知) 641	⑳ 東海大四 (北海道) 694	㉑ 埼 玉 栄 (埼玉) 643	㉒ 名古屋学院 (愛知) 695	㉓ 広 陵 (広島) 643	㉔ 鳩 山 (埼玉) 696	㉕ 東 北 (宮 城) 650	㉖ 日 大 一 (東京) 697	㉗ 堀 越 (東京) 650	㉘ 横 浜 (神奈川) 700	㉙ 明德義塾 (高知) 657	㉚ 早 実 (東京) 705	㉛ 愛工大名電 (愛知) 658	㉜ 佐野日大 (栃木) 708	㉝ 久 居 (三重) 659	㉞ 札幌商 (北海道) 720	㉟ 大産大高 (大阪) 659	㊱ 大阪桐蔭 (大阪) 745	㊲ 土浦日大 (茨城) 663	㊳ 苫小牧工 (北海道) 768	㊴ 明 大 中 野 東 京 665

女子成績

① 津島女子 (愛知) 508 (256・252)	中島 恵子② 167 (84・83)	白川しおり③ 170 (87・83)	川藤 明子④ 178 (85・93)	井戸由葉子⑤ 178 (85・93)
⑥ 埼 玉 栄 (埼玉) 510	⑦ 成城学園 (東京) 552	⑧ 堀 越 (東京) 566		

第10回大会

平成元年8月18日～19日
かずさCC
男子34校出場／女子8校出場



前年、プレーオフで破れ惜しくも2位に終わった水城(茨城)が、平安の3連覇を阻止し、初の全国制覇を遂げた。優勝の原動力は、何と言っても主将の横田(3年)の活躍。2日間トータル5アンダーで、チームを引っ張った。また、2日間合計577も、36ホール競技となつてからの最小スコアであり、いかに水城のチーム力が充実していたかが伺える。

女子の部は、2年連続して2位に甘んじていた埼玉栄(埼玉)が、男子同様3連覇を目指す初日トップの津島女子(愛知)を逆転し、初の栄冠を獲得した。

男子成績

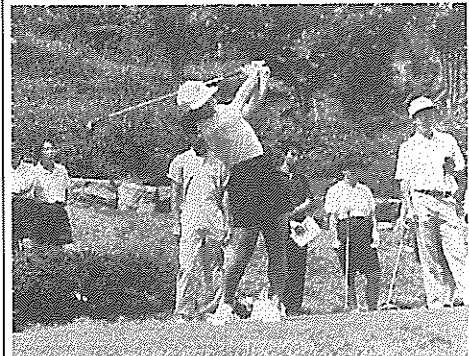
- ①水城(茨城) 577 (293・284)
横田 真一③ 139 (71・68)
宮本 勝昌② 143 (73・70)
片山 晋呉② 146 (72・74)
永沼 光② 149 (77・72)
重原 啓利① 158 (79・79)
- ②平安(京都) 585 ⑩大産大高(大阪) 644
- ③PL学園(大阪) 588 ⑪伊東商(静岡) 653
- ④東京学館浦安(千葉) 594 ⑫嶋山(埼玉) 656
- ⑤瀬戸内(広島) 611 ⑬目黒(東京) 658
- ⑥愛知(愛知) 615 ⑭青山学院(東京) 659
- ⑦埼玉栄(埼玉) 616 ⑮札幌商(北海道) 662
- ⑧土浦日大(茨城) 618 ⑯堀越(東京) 665
- ⑨東北(宮城) 620 ⑰沖学園(福岡) 669
- ⑩香川西(香川) 622 ⑱日大一(東京) 669
- ⑪大阪桐蔭(大阪) 623 ⑲日大高(神奈川) 672
- ⑫広陵(広島) 623 ⑳東海大四(北海道) 680
- ⑬西武台千葉(千葉) 631 ㉑札幌福北(北海道) 683
- ⑭愛工大名電(愛知) 631 ㉒駒大高(東京) 687
- ⑮明大中野(東京) 632 ㉓佐野日大(栃木) 692
- ⑯日体荏原(東京) 639 ㉔明中野八王子(東京) 693
- ⑰横濱(神奈川) 640 ㉕三重(三重) 693
- ⑱久居三重 641

女子成績

- ①埼玉栄(埼玉) 477 (241・236)
小久保由美③ 153 (76・77)
能登 亜紀③ 156 (78・78)
村上みち代③ 168 (87・81)
大熊 由紀③ 179 (93・86)
- ②津島女子(愛知) 481 ⑥日体桜華(東京) 540
- ③堀越(東京) 494 ⑦久居(三重) 585
- ④熊本中央女子(熊本) 520 ⑧明德義塾(高知) 594
- ⑤作新学院(栃木) 536

第11回大会

平成2年8月22日～23日
信楽CC田代コース
男子30校出場／女子8校出場



10回大会に引き続き、水城(茨城)と平安(京都)の争いとなったが、2連覇のプレッシャーを見事に克服した水城が、2位に9打差を付け、逃げ切った。大風の影響を受け、強風が吹き抜ける悪コンディションとなった2日目は、各チームがスコアを崩す中、水城はチーム5人中3人が70代をマークする安定力が、勝因となった。女子の部は、津島女子(愛知)が2年ぶり3度目の優勝。第7回大会からスタートした女子の部で、津島女子は優勝3回、2位2回と常に優勝争いに加わる力強さを見せている。

男子成績

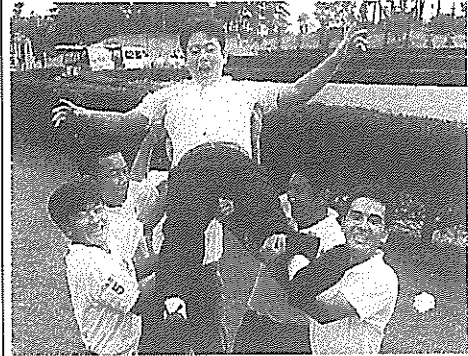
- ①水城(茨城) 612 (305・307)
長尾 卓① 148 (74・74)
片山 晋呉③ 150 (74・76)
重原 啓利② 153 (77・76)
宮本 勝昌③ 164 (83・81)
齋木 一臣③ - (-・81)
永沼 啓光③ - (80・-)
- ②平安(京都) 621 ⑦日大高(神奈川) 666
- ③愛知(愛知) 622 ⑧明大中野(東京) 666
- ④瀬戸内(広島) 624 ⑨大産大高(大阪) 670
- ⑤日体荏原(東京) 624 ⑩前橋育英(群馬) 672
- ⑥東京学館浦安(千葉) 630 ⑪明中野八王子(東京) 677
- ⑦広陵(広島) 632 ⑫東北(宮城) 679
- ⑧大阪桐蔭(大阪) 639 ⑬聖学院(東京) 689
- ⑨香川西(香川) 640 ⑭愛工大名電(愛知) 692
- ⑩PL学園(大阪) 642 ⑮札幌商(北海道) 695
- ⑪西武台千葉(千葉) 647 ⑯東海大四(北海道) 703
- ⑫名古屋学院(愛知) 652 ⑰日大一(東京) 715
- ⑬埼玉栄(埼玉) 659 ⑱札幌福北(北海道) 736
- ⑭佐野日大(栃木) 663 ⑲福取(静岡) 742
- ⑮沖学園(福岡) 665 ⑳専大付(東京) 760
- ⑯向(神奈川) 665

女子成績

- ①津島女子(愛知) 504 (248・256)
今井ゆかり② 163 (81・82)
坂東 貴代① 165 (81・84)
小谷 智世③ 176 (86・90)
松山 洋子① 176 (86・90)
- ②堀越(東京) 515 ⑥明德義塾(高知) 546
- ③熊本中央女子(熊本) 532 ⑦東金女子(千葉) 567
- ④久居(三重) 539 ⑧日体桜華(東京) 589
- ⑤作新学院(栃木) 541

第12回大会

平成3年8月22日～23日
那須野ヶ原CC
男子31校出場／女子9校出場



5年ぶりに日体荏原(東北)が、通算3度目の優勝を飾った。部員数104人を誇る全国有数の強豪校が、見事復活。初日こそ、東京学館浦安(千葉)の後塵を拝したものの、見事逆転し、2位に7打差の圧勝となった。

また、女子の部は、今大会から男子同様に公式戦に格上げされ、文部大臣旗を争うこととなり、主将の有藤(3年)がチームを引っ張り、堀越(東京)が初の栄冠を獲得した。

男子成績

- ①日体荏原(東京) 609 (310・299)
橋本 仁② 147 (75・72)
国吉 博一① 151 (81・70)
神保 操③ 156 (81・75)
松元 昌史② 156 (74・82)
久田 謙② 163 (89・83)
- ②瀬戸内(広島) 616 ⑦明大中野(東京) 670
- ③東京学館浦安(千葉) 618 ⑧日大一(東京) 676
- ④平安(京都) 620 ⑨愛工大名電(愛知) 677
- ⑤水城(茨城) 629 ⑩西武台千葉(千葉) 677
- ⑥東北(宮城) 636 ⑪中京商(岐阜) 680
- ⑦日大高(神奈川) 636 ⑫仙台育英(宮城) 684
- ⑧愛知(愛知) 637 ⑬都岡(神奈川) 685
- ⑨香川西(香川) 637 ⑭向上(神奈川) 686
- ⑩埼玉栄(埼玉) 640 ⑮明中野八王子(東京) 691
- ⑪沖学園(福岡) 641 ⑯目黒(東京) 692
- ⑫PL学園(大阪) 648 ⑰札幌商(北海道) 692
- ⑬佐野日大(栃木) 649 ⑱嶋山(埼玉) 695
- ⑭大阪桐蔭(大阪) 653 ⑲大分(大分) 696
- ⑮広陵(広島) 663 ⑳堀越(東京) 705
- ⑯東海大四(北海道) 670 ㉑札幌福北(北海道) 739

女子成績

- ①堀越(東京) 468 (233・235)
有藤 智香③ 151 (79・72)
菊地あつ子① 157 (74・83)
中野 陽子① 162 (80・82)
横尾 舞子③ 162 (81・81)
- ②津島女子(愛知) 471 ⑥東京学館浦安(千葉) 519
- ③作新学院(栃木) 478 ⑦明德義塾(高知) 535
- ④熊本中央女子(熊本) 499 ⑧仙台育英(宮城) 543
- ⑤土浦日大(茨城) 508 ⑨久居(三重) 561

第13回大会

平成4年8月20日～21日
賀茂CC
男子32校出場／女子9校出場



男女とも昨年度覇者が2連覇を達成した。日体荏原(東京)は、昨年の優勝メンバーを4人残し、2位に9打差をつけての完全V。大会前から、優勝を確実視されていたプレッシャーをもともしない圧勝となった。また、3位に瀬戸内(広島)、5位大阪桐蔭(大阪)、6位に沖学園(福岡)が入り、関東以外のチームの躍進が目立つ大会となった。

女子の部は、追いつがる作新学院(栃木)を振り切った堀越(東京)が、公式戦を2連覇。初日は、2位に甘んじるも、最終日の直接対決を見事に制してのV2だった。

男子成績

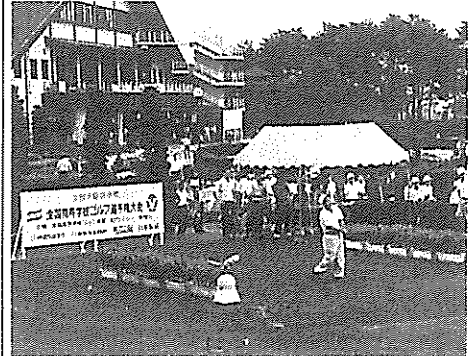
- ①日体荏原(東京) 602 (307・295)
国吉 博一② 146 (74・72)
橋本 仁③ 152 (74・78)
久田 謙③ 155 (78・77)
佐藤 禎治② 155 (81・74)
細川 和也② - (82・-)
松元 昌史③ - (-・72)
- ②水城(茨城) 611 ⑩広陵(広島) 666
- ③瀬戸内(広島) 613 ⑪長崎日大(長崎) 669
- ④東京学館浦安(千葉) 614 ⑫作新学院(栃木) 669
- ⑤大阪桐蔭(大阪) 626 ⑬堀越(東京) 672
- ⑥沖学園(福岡) 631 ⑭愛工大名電(愛知) 677
- ⑦埼玉栄(埼玉) 636 ⑮日大一(東京) 677
- ⑧明德義塾(高知) 637 ⑯東海大四(北海道) 677
- ⑨PL学園(大阪) 637 ⑰明中野八王子(東京) 682
- ⑩東北(宮城) 637 ⑱桐陽(静岡) 686
- ⑪日大高(神奈川) 645 ⑲日大東北(福島) 690
- ⑫愛知(愛知) 647 ⑳横浜(神奈川) 702
- ⑬大津大(大津) 652 ㉑明大中野(東京) 705
- ⑭西武台千葉(千葉) 652 ㉒札幌商(北海道) 706
- ⑮中京商(岐阜) 657 ㉓芝浦工大(東京) 745
- ⑯香川西(香川) 662 ㉔札幌日大(北海道) 802
- ⑰佐野日大(栃木) 663

女子成績

- ①堀越(東京) 464 (235・229)
中野 陽子② 149 (74・75)
菊地あつ子② 157 (77・80)
西門 美枝① 158 (84・74)
白浜香津奈③ 171 (85・86)
- ②作新学院(栃木) 467 ⑥熊本中央女子(熊本) 511
- ③津島女子(愛知) 471 ⑦明德義塾(高知) 519
- ④中京商(岐阜) 489 ⑧日体桜華(東京) 535
- ⑤土浦日大(茨城) 502 ⑨仙台育英(宮城) 539

第14回大会

平成5年8月18日～19日
那須野ヶ原CC
男子31校出場／女子11校出場



出場選手全員が、2日間とも70台でラウンドした日体荏原(東京)。プレッシャーのかかる最終日のラウンドも上位4人の平均が73と、実力を完全に発揮した同校が見事に3連覇を決めた。また、6位の明德義塾(高知)から9位の佐野日大(栃木)までは、すべてタイスコア。ルールで5人目のスコアで順位は確定したが、大会全体のレベルアップが顕著に見られた大会となった。

また、堀越も3年の菊池・中野がチームを引っ張り、2位に14打差の圧勝。2日間ともチーム4人中3人が70台をマークするなど、男子以上に女子のレベルアップが見られた。

男子成績

- ①日体荏原(東京) 590 (298・292)
国吉 博一③ 144 (72・72)
佐藤 禎治③ 147 (73・74)
和田 真彦③ 150 (78・72)
山田 嘉一③ 152 (75・77)
細川 和也③ 152 (78・74)
- ②水城(茨城) 597 ⑩興国(大阪) 652
- ③東京学館浦安(千葉) 609 ⑪作新学院(栃木) 657
- ④東北(宮城) 618 ⑫西武台千葉(千葉) 658
- ⑤瀬戸内(広島) 625 ⑬横浜(神奈川) 659
- ⑥明德義塾(高知) 627 ⑭星陵(静岡) 663
- ⑦仙台育英(宮城) 627 ⑮伊東商(静岡) 665
- ⑧中京商(岐阜) 627 ⑯目黒(東京) 673
- ⑨佐野日大(栃木) 627 ⑰札幌商(北海道) 676
- ⑩大阪桐蔭(大阪) 628 ⑱沖学園(福岡) 677
- ⑪広陵(広島) 631 ⑲聖学院(東京) 679
- ⑫愛知(愛知) 633 ⑳明大中野(東京) 684
- ⑬大津大(大津) 633 ㉑北海道工(北海道) 694
- ⑭埼玉栄(埼玉) 637 ㉒東海大四(北海道) 697
- ⑮長崎日大(長崎) 637 ㉓明中野八王子(東京) 722
- ⑯愛工大名電(愛知) 648 ㉔堀越(東京) 725

女子成績

- ①堀越(東京) 459 (226・233)
菊地あつ子③ 151 (73・78)
中野 陽子③ 152 (76・76)
西門 美枝② 156 (77・79)
五十嵐瑞江② 166 (81・85)
- ②作新学院(栃木) 473 ⑦熊本中央女子(熊本) 496
- ③中京商(岐阜) 477 ⑧津島女子(愛知) 499
- ④埼玉栄(埼玉) 477 ⑨東京学館浦安(千葉) 500
- ⑤仙台育英(宮城) 483 ⑩明德義塾(高知) 512
- ⑥土浦日大(茨城) 487 ⑪須磨女子(兵庫) 558

第15回大会

平成6年8月18日～19日
札幌国際CC
男子32校・女子10校出場



初の北海道開催となった第15回大会。明德義塾(高知)が、関東・関西以外から初の全国制覇を成し遂げた。ここ数年、地方校の躍進が目覚ましく、2位の香川西(香川)、4位・柳川、5位・沖学園(ともに福岡)と九州・四国勢の躍進が顕著に見られた。全寮制で鍛えられた明德義塾のチームワークは、抜群。プロのトーナメントを開催する難コースを見事に征服しての初優勝となった。また、女子は、堀越(東京)が意地の4連覇。関西から初出場の大津大(大阪)が3位に入賞するなど、こちらも地方の活躍が光った。

男子成績

- ①明德義塾(高知) 618 (303・315)
吉田 敬三① 151 (76・75)
石丸 昌史② 154 (75・79)
垣内 大祐③ 155 (76・79)
大石 真③ 158 (76・82)
佐伯 英則③ 169 (85・84)
- ②香川西(香川) 620 ⑩京都学園(京都) 673
- ③東京学館浦安(千葉) 623 ⑪横濱(神奈川) 673
- ④柳川(福岡) 625 ⑫西武台千葉(千葉) 674
- ⑤沖学園(福岡) 627 ⑬伊東商(静岡) 676
- ⑥日体荏原(東京) 628 ⑭目黒(東京) 676
- ⑦埼玉栄(埼玉) 628 ⑮土浦日大(茨城) 678
- ⑧愛知(愛知) 631 ⑯北海道工(北海道) 681
- ⑨大津大(大津) 631 ⑰埼玉栄(埼玉) 685
- ⑩大阪桐蔭(大阪) 633 ⑱桐陽(静岡) 686
- ⑪中京商(岐阜) 636 ⑲駒場学園(東京) 691
- ⑫仙台育英(宮城) 640 ⑳日大一(東京) 693
- ⑬広陵(広島) 643 ㉑堀越(東京) 696
- ⑭佐野日大(栃木) 655 ㉒愛工大名電(愛知) 707
- ⑮札幌商(北海道) 656 ㉓千歳北陽(北海道) 740
- ⑯東北(宮城) 658 ㉔恵庭南(北海道) 759
- ⑰明大中野(東京) 665

女子成績

- ①堀越(東京) 459 (226・233)
西門 美枝③ 155 (78・77)
石津 朋子② 157 (79・78)
小池 永子② 158 (77・81)
五十嵐瑞江② 158 (80・78)
- ②埼玉栄(埼玉) 476 ⑦仙台育英(宮城) 504
- ③大津大(大津) 489 ⑧福沢女子(愛知) 514
- ④宮崎女子(宮崎) 497 ⑨武蔵野(東京) 522
- ⑤中京商(岐阜) 500 ⑩明德義塾(高知) 526
- ⑥作新学院(栃木) 503

第16回大会

平成7年8月21~22日
那須野ヶ原C C
男子36校・女子13校出場

2年連続して3位。9年連続ベスト10入りとあと一步のところまで優勝を逃がしてきた東京学館浦安(千葉)が逆転で、初優勝を飾った。上位4校が6打差でひしめく混戦のラウンド。前日の猛暑から打って変わって、雨の中のラウンドは、選手を苦しめた。にもかかわらず、東京学館浦安はチーム5人中3人が前日のスコアを更新するなど、優勝を目指す心意気他チームを圧倒した結果といえよう。

また、紫紺の優勝旗は、初めて関門海峡を渡ることとなった。ともに初優勝を目指す熊本中央女子(熊本)と武蔵野(東京)の一致打ちとなったが、やはり悪コンディションの2日目制した熊本中央が、念願の初優勝を手にした。

男子成績

- ①東京学館浦安(千葉) 891 (448・443)
岩本 通③ 222 (113・109)
波当根弓彦③ 214 (106・108)
近藤 智弘③ 226 (112・114)
桜井 秀剛③ 229 (117・112)
小田 孔明② 236 (120・116)
- ②柳 川(福岡) 895 ⑩香川西(香川) 955
- ③水 城(茨城) 896 ⑪都 岡(神奈川) 957
- ④日体荏原(東京) 901 ⑫埼玉(埼玉) 965
- ⑤中京商(岐阜) 918 ⑬名古屋学院(愛知) 975
- ⑥佐野日大(栃木) 923 ⑭愛工大名電(愛知) 978
- ⑦明德義塾(高知) 931 ⑮横浜(神奈川) 978
- ⑧瀬戸内(広島) 936 ⑯P L学園(大阪) 982
- ⑨広 陵(広島) 937 ⑰長崎日大(長崎) 983
- ⑩札幌光星(北海道) 940 ⑱土浦日大(茨城) 1003
- ⑪埼玉栄(埼玉) 943 ⑲明大中野(東京) 1005
- ⑫大阪桐蔭(大阪) 946 ⑳日 大(東京) 1011
- ⑬大体大浪商(大阪) 946 ㉑札幌商(北海道) 1017
- ⑭愛 知(愛知) 949 ㉒桐 陽(静岡) 1029
- ⑮向 上(神奈川) 951 ㉓東海大四(北海道) 1030
- ⑯仙台育英(宮城) 951 ㉔西武台千葉(千葉) 1033
- ⑰東北(宮城) 952 ㉕嶋 山(埼玉) 1039
- ⑱冲学園(福岡) 955 ㉖水戸短大付(茨城) 1041

女子成績

- ①熊本中央女子(熊本) 455 (227・228)
勇 知江① 149 (72・77)
大山 志保③ 152 (80・72)
大久保麻衣② 154 (75・79)
岩本 みわ① 89 (89・一)
熊原 輝美① 88 (一・88)
- ②武蔵野(東京) 464 ⑩明德義塾(高知) 493
- ③中京商(岐阜) 468 ⑪津島女(愛知) 496
- ④堀 越(東京) 471 ⑫桜華女学院(東京) 525
- ⑤作新学院(栃木) 472 ⑬北海道工(北海道) 530
- ⑥大体大浪商(大阪) 479 ⑭高崎商短付(群馬) 535
- ⑦仙台育英(宮城) 489 ⑮三田尻女(山口) 812



第17回大会

平成8年8月20~21日
ニューワールドG C
男子36校 女子13校出場

社都・仙台での初開催となった大会は、下馬評では、ノーマークだった冲学園(福岡)が逃げ切り、初優勝を飾った。2日間を通じて、出場選手全員が70台で回る抜群の安定感で、2位との差を5打に広げての快勝となった。10年連続の出場ながら、過去の最高成績は、2年前の5位。九州の地区予選でも柳川(福岡)がトップで予選を通過しており、戦前の予想では、候補にすら名前が挙がっていなかった。この予想を大きく覆したのが、恵まれた練習環境。校内には10打席の打撃練習場に加え、屋内練習場も完備。プロのトーナメントには、キャディをして参加し、トップレベルの選手の技を盗むことも忘れない。こうした練習環境の整備が、初優勝につながったといえよう。全国屈指の練習施設を有し、1年生を主体としたチームは今後の活躍が期待される。また、2位にも柳川が入り、男女とも九州勢の大活躍した大会となった。

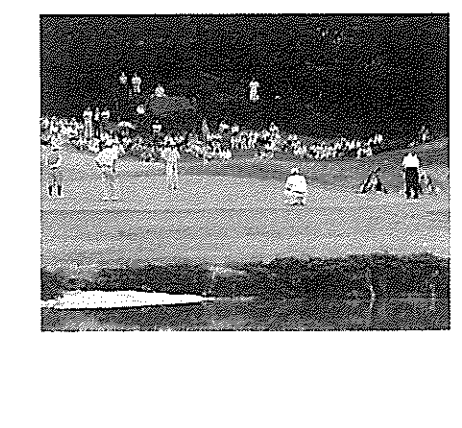
また、女子は、熊本中央女子(熊本)が、1・2年生主体のチームながら、初日2位の苦境を逆転し、2連覇を達成した。初日を終わって、上位4校が2打差にひしめく、大混戦。最終日は、上位4校が同組でラウンドする直接対決となった。この中で、力を見せたのが、初日を体調不良で欠場した熊本中央の勇(2年)。練習ラウンドも欠場する不利をものともせずエースの実力を見せ、見事な逆転勝利を決めた。

男子成績

- ①冲学園(福岡) 601 (304・297)
松方 美憲③ 145 (74・71)
清田太一郎① 147 (74・73)
横山 清人① 155 (77・78)
木村光一朗① 155 (79・76)
今村大志郎③ 156 (79・77)
- ②柳 川(福岡) 606 (305・301)
野田 賢蔵③ 147 (73・74)
木村 佳昭② 151 (73・78)
中原 鉄平③ 151 (78・73)
山田 章平③ 157 (81・76)
福井賢太郎③ 160 (81・79)
- ③佐野日大(栃木) 606 (309・297)
久保 超路③ 150 (77・73)
尚 朝則② 150 (79・71)
田中 大介② 153 (74・79)
壺谷 紀之③ 155 (79・76)
金子 朋弘③ 160 (83・77)
- ④水 城(茨城) 606 ⑩香川西(香川) 651
- ⑤明德義塾(高知) 607 ⑪向 上(神奈川) 656
- ⑥中京商(岐阜) 616 ⑫横浜(神奈川) 656
- ⑦東京学館浦安(千葉) 618 ⑬日体荏原(東京) 656
- ⑧瀬戸内(広島) 619 ⑭日 大(神奈川) 660
- ⑨大阪桐蔭(大阪) 627 ⑮札幌光星(北海道) 664
- ⑩埼玉栄(埼玉) 628 ⑯土浦日大(茨城) 665
- ⑪埼玉玉(埼玉) 628 ⑰名古屋学院(愛知) 666
- ⑫仙台育英(宮城) 636 ⑱恵庭南(北海道) 674
- ⑬長崎日大(長崎) 638 ⑲西武台(埼玉) 680
- ⑭広 陵(広島) 638 ⑳星 陵(静岡) 680
- ⑮堀 越(東京) 638 ㉑札幌商(北海道) 680
- ⑯P L学園(大阪) 643 ㉒西武台千葉(千葉) 687
- ⑰大体大浪商(大阪) 644 ㉓目 黒(東京) 701
- ⑱愛 知(愛知) 645 ㉔福 島(福岡) 749
- ⑲東北(宮城) 647 ㉕愛工大名電(愛知) 780
- ⑳綾 羽(滋賀) 647

女子成績

- ①熊本中央女子(熊本) 460 (236・224)
大久保麻衣③ 154 (75・79)
丸尾 由紀① 154 (81・73)
吉崎 千晃① 157 (80・77)
新崎 弥生① 一 (83・一)
勇 知江② 一 (一・74)
- ②堀 越(東京) 462 (234・228)
小林 英恵② 154 (78・76)
塩田亜飛美② 157 (78・79)
土肥 友子① 157 (78・79)
中島 佳乃③ 161 (88・73)
- ③大体大浪商(大阪) 465 (236・229)
石川 沙織① 153 (77・76)
田中 瑞代② 153 (78・75)
藤田 綾③ 159 (81・78)
里井明日香③ 169 (86・83)
- ④埼玉玉(埼玉) 465 ⑩明德義塾(高知) 498
- ⑤中京商(岐阜) 471 ⑪東京学館浦安(千葉) 514
- ⑥武蔵野(東京) 471 ⑫北海道工業(北海道) 522
- ⑦津島女子(愛知) 486 ⑬東北(宮城) 540
- ⑧仙台育英(宮城) 493 ⑭三田尻女子(山口) 656



第18回大会

平成9年8月10日~11日
那須野ヶ原C C
男子36校 女子11校

ジュニアゴルフのメッカ、那須野ヶ原C Cに戻っての第18回大会は男子は水城(茨城)が7年振り3回目の、女子は大体大浪商(大阪)が初優勝を飾った。

男子は、水城の圧勝だった。主将の太田(3年)を中心に、他校にはまねの出来ない選手層の厚さで悠々と逃げ切った。特に太田は、プレッシャーのかかる最終日のラウンドで4アンダーの68をマーク。3年生の意地を見せた。優勝メンバーは太田以外は、全て1・2年生。7年前の優勝の時は、現在トッププロとして活躍の横田真一・宮本勝昌・片山晋呉らを要し、2連覇を達成している。チーム内での競争が激しく、選手同士の切磋琢磨が続くようであれば水城の連覇も夢ではないようだ。

また、2位以下は、やはり各チームのエースがチームを引っ張り上位に進出してきている。2位には、個人戦を制した宮里優作(2年)率いる大阪桐蔭、3位はジュニアナショナルチームメンバーの弘井太郎(2年)の明德義塾。こうした選手の活躍も注目のひとつだった。また、4位に初入賞の名古屋学院(愛知)の健闘も賞賛に値する。平井伸泰(3年)に刺激され、チーム全体が波に乗った感があった。

また、女子は、大体大浪商(大阪)が2位に19打差の圧勝で初優勝を飾った。関西の個人戦では、石川・東妻・田中の3人でタイトル争いを繰り広げるなど、同じ学校で競い合いレベルアップを計ってきた。主将の田中は卒業するものの、個人の部でも石川が3位、東妻が5位に入賞しており、男子の水城同様、こちらも連覇の可能性が大きい。

第19回大会

平成10年8月8日~9日
那須野ヶ原C C
男子36校 女子15校



女子の部で春日丘(はるひがおか、愛知)が初出場初優勝の快挙を達成した。首位の東海大二(熊本)に1打差2位からスタート、田中亜依(2年)が70をマークするなどトータルで440とし、逆転勝ちした。男子の部は水城(すいじょう、茨城)がトータル439で2位の柳川(福岡)の追撃をかかわして逃げ切り勝ち。同校として8年ぶりの2連覇を果たした。

春日丘に逆転優勝を導いたのは、小柄な田中だった。自分でも「びっくりした」と話そうように、前半をパープレーの36でまとめると、後半さらに猛チャージをかけ、この日のベストスコア70をマークし、前日首位の東海大二を突き放した。

「亜依ちゃんのおかげです」。主将の桶田綾子(2年)もこう話した。しかしたった一人の奮闘で優勝はつかめない。桶田も悪いなりに踏ん張った。主将としての意地だった。古閑美保(1年)や紫垣綾花(1年)ら、プロツアーにも参加する超高校級をそろえた東海大二をライバルとして意識し、試合に臨んでいた。桶田は「このメンバーで、優勝できると思っていた。この立場だったので気分的には楽だったが、甘くはなかった」と、苦しい戦いを振り返った。また、男子は、水城が粘りと底力を見せつけ

男子成績

- ①水 城(茨城) 579 (285・294)
太田 直己③ 140 (68・72)
斎藤 大将① 144 (73・71)
村上 史晃① 146 (69・77)
小黒 貴志② 149 (75・74)
- ②大阪桐蔭(大阪) 602 (309・293)
宮里 優作② 137 (72・65)
只野 雅史③ 150 (77・73)
木下健太郎② 154 (78・76)
角谷 滋郎③ 一 (82・一)
角谷佐武郎③ 一 (一・79)
- ③明德義塾(高知) 608 (299・309)
弘井 太郎② 137 (67・70)
上本 義幸② 147 (73・74)
中武 力① 164 (81・73)
光本 教孝③ 一 (78・一)
広瀬 知寿③ 一 (一・82)
- ④名古屋学院(愛知) 608 ⑫埼玉玉(埼玉) 659
- ⑤柳 川(福岡) 610 ⑬東北(宮城) 666
- ⑥冲学園(福岡) 611 ⑭明大中野(東京) 667
- ⑦中京商(岐阜) 614 ⑮千葉日大(千葉) 672
- ⑧平安(京都) 618 ⑯恵庭南(北海道) 678
- ⑨佐野日大(栃木) 619 ⑰興 国(大阪) 678
- ⑩広 陵(広島) 620 ⑱土浦日大(茨城) 681
- ⑪仙台育英(宮城) 621 ⑲桐 陽(静岡) 685
- ⑫日体荏原(東京) 621 ⑳堀 越(東京) 686
- ⑬埼玉玉(埼玉) 622 ㉑愛工大名電(愛知) 691
- ⑭香川西(香川) 624 ㉒聖 学 院(東京) 694
- ⑮長崎日大(長崎) 628 ㉓日 大(神奈川) 696
- ⑯札幌光星(北海道) 634 ㉔作新学院(栃木) 699
- ⑰星 陵(静岡) 636 ㉕藤嶺藤沢(神奈川) 710
- ⑱東京学館浦安(千葉) 637 ㉖東海大四(北海道) 720
- ⑲愛 知(愛知) 641 一瀬戸内(広島) 失格
- ⑳滝 川(兵庫) 653

競り勝った。「連覇がかかってプレッシャーがあった」と小黒主将が振り返るように、楽には勝たせてもらえなかった。柳川の追撃に初日につくった8打差がみるみる縮まる。それでも終わってみれば、4差をつけての連覇となっていた。

「スコアには満足していないが、勝負どころで決められた」というのは村上。前半40と崩れたが、終盤に巻き返した。選手層が厚く、シ烈なレギュラー争いがこの粘りにつながっている。出場4選手の出身地は兵庫県、熊本県、静岡県、神奈川県

女子成績

- ①水 城(茨城) 439 (215・224)
小黒 貴志③ 144 (72・72)
長嶋 庄平③ 149 (72・77)
村上 史晃② 151 (76・75)
斎藤 大将② 152 (71・81)
- ②柳 川(福岡) 443 (224・219)
池田 力③ 144 (72・72)
田畑 信昭② 147 (73・74)
高村 宏① 163 (79・84)
高村 賢治② 一 (79・一)
村田 章悟① 一 (一・73)
- ③冲学園(福岡) 444 (224・220)
清田太一郎③ 143 (72・71)
甲斐慎太郎② 152 (75・77)
横山 清人③ 一 (77・一)
勇 賢吾② 一 (82・一)
小山 彰吾③ 一 (一・72)
中村 成規③ 一 (一・79)
- ④東海大二(熊本) 453 (226・227) ⑩福 島(福岡) 476 (235・241)
- ⑤P L学園(大阪) 456 (226・230) ⑪厚 木(神奈川) 476 (239・237)
- ⑥埼玉玉(埼玉) 456 (229・227) ⑫美濃加茂(岐阜) 479 (242・237)
- ⑦仙台育英(宮城) 460 (234・226) ⑬広 陵(広島) 480 (236・244)
- ⑧愛 知(愛知) 461 (233・228) ⑭千葉日大(千葉) 480 (241・239)
- ⑨明德義塾(高知) 462 (232・230) ⑮浦和学院(埼玉) 482 (238・244)
- ⑩埼玉玉(埼玉) 463 (241・222) ⑯日 大(神奈川) 483 (240・243)
- ⑪恵庭南(北海道) 463 (241・222) ⑰立 正(東京) 492 (244・248)
- ⑫瀬戸内(広島) 465 (233・232) ⑱札幌商(北海道) 503 (245・238)
- ⑬札幌光星(北海道) 467 (233・234) ⑲星 陵(静岡) 505 (232・253)
- ⑭興 国(大阪) 467 (233・234) ⑳駒場学園(東京) 510 (238・232)
- ⑮久 居(三重) 469 (229・240) ㉑西武台千葉(千葉) 510 (238・232)
- ⑯平 安(京都) 473 (234・233) ㉒修 徳(東京) 514 (262・252)
- ⑰佐野日大(栃木) 473 (234・233) ㉓愛工大名電(愛知) 516 (257・259)
- ⑱滝 川(兵庫) 475 (244・231)



女子成績

- ①大体大浪商(大阪) 441 (220・221)
石川 沙織② 145 (70・75)
東妻 茜② 145 (76・69)
田中 瑞代③ 151 (74・77)
- ②冲学園(福岡) 460 (231・229)
斎藤 美香③ 153 (74・79)
米村 洋子② 153 (80・73)
北田 瑠衣① 154 (77・77)
- ③堀 越(東京) 466 (234・232)
小林 英恵③ 149 (75・74)
塩田亜飛美③ 156 (79・77)
土肥 友子② 一 (80・一)
井上 景湖② 一 (一・81)



とバラバラ。全国から「レベルの高いところでゴルフがやりたい」(小黒)と名門水城に集まり、寮生活を送っている。昨年補欠だった長嶋は、2回OBを打ったが、出場できない部員たちを思い、その責任感で常に緊張を保ち続けた。

1989(平成元)、90年に連覇を果たした時は、現在プロで活躍している横田真一、片山晋呉、宮本勝昌らがいた。偉大な先輩たちに並び、「まるで自分たちもプロになった気分」と村上は顔をほころばせた。手にした自信は大きく、男子では、日体荏原に続く3連覇に挑戦する。



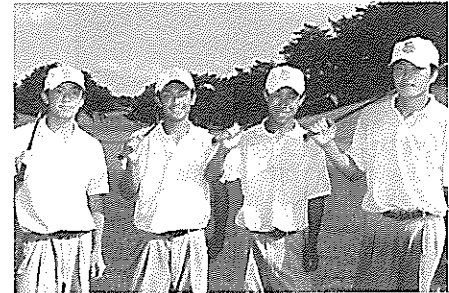
女子成績

- ①春日丘(愛知) 440 (220・220)
田中 亜依② 144 (74・70)
桶田 綾子② 147 (73・74)
佐藤 丹美① 149 (73・76)
朝隈 正美② 212 (113・99)
- ②東海大二(熊本) 442 (219・223)
紫垣 綾花① 148 (74・74)
成田いつみ① 148 (71・77)
古閑 美保① 148 (74・74)
松村 隼② 151 (76・75)
- ③大体大浪商(大阪) 458 (232・226)
石川 沙織③ 145 (74・71)
東妻 茜③ 151 (77・74)
松平真佐美② 162 (81・81)
- ④冲学園(福岡) 462 (227・235) ⑩作新学院(栃木) 513 (257・256)
- ⑤埼玉玉(埼玉) 465 (233・232) ⑪仙台育英(宮城) 515 (252・263)
- ⑥堀 越(東京) 471 (232・239) ⑫東 北(宮城) 523 (262・261)
- ⑦北海道工(北海道) 479 (247・232) ⑬佐野日大(栃木) 528 (267・261)
- ⑧香川西(香川) 481 (240・241) ⑭津島女子(愛知) 559 (265・274)
- ⑨武蔵野(東京) 512 (260・252) ⑮捕 鷹(兵庫) 583 (266・297)

※名前の後の丸数字は学年。各学校各日上位3人の合計スコア。タイスコアの場合は、同4人の合計スコアで順位を決定する。

第20回大会

平成11年8月4日、5日
那須野ヶ原CC
男子36校 女子15校



前年の悔しさをバネに男子は大阪桐蔭 (大阪) が通算7オーバー439で、女子は創部4年目の東海大二 (熊本) が通算1オーバー433とともに初の栄冠に輝いた。

をキープし、2位の埼玉栄 (埼玉) に13打差をつけたの初優勝。昨年、春日丘 (はるひがおか、愛知) に逆転され2打差の2位に泣いた雪塚を同じメンバーできっちりと果たして見せた。去年と同じメンバーだから、今度は初日からダントツで勝つことが目標」とキャプテン・松村睦 (3年) 以下、メンバー全員がリベンジに燃えていた。

男子成績

- 1 大阪桐蔭 (大阪) 439 (218-221)
谷田 亮3 146 (72-74)
好川 耕司3 147 (73-74)
...

王・紫垣綾花 (2年) とエース格の古閑美保 (2年) も下馬評通り強さを見せた。まさに全員でつつかんだ栄冠だった。10年振り2度目の優勝を狙った埼玉栄はキャプテン・桜井裕華 (3年) が最終日の前半、32の好スコアをマークしたものの後半崩れ、2位。2連覇を目指した春日丘は5位に甘んじた。



女子成績

- 1 東海大二 (熊本) 433 (218-215)
成田 いづみ2 140 (70-70)
紫垣 綾花2 146 (74-72)
...

第22回大会

平成13年8月7日、8日
富士カントリー明智GC明智ゴルフ場
男子38校、女子16校

男子は、瀬戸内 (広島) が16度目の出場で大優勝を飾った。女子は、東海大二 (熊本) が2位に11打差の大差をつけ3連覇を達成した。

男子成績

- 1 瀬戸内 (広島) 437 (221-216)
石川 裕貴3 142 (73-69)
草瀬 大志1 145 (72-73)
...

女子成績

- 1 東海大二 (熊本) 449 (226-223)
井芹美保子1 150 (76-74)
今田 夢美2 151 (79-72)
...

第21回大会

平成12年8月7日、8日
男子: 那須野ヶ原CC
女子: スポーツ振興東那須CC
男子38校・女子16校



水城 (茨城) が通算5アンダーの427で2年ぶり5度目の優勝を飾り、女子は東海大二 (熊本) が通算8アンダーの430、2位に32打差をつける圧勝で2連覇を達成した。

会の経験もない雑草集団が、本命・柳川 (福岡) などの強豪を退け快挙を達成した。女子は東海大二 (熊本) が実力を見せつけた。

男子成績

- 1 水城 (茨城) 427 (214-213)
高山 之賀3 138 (69-69)
糸井 中3 143 (71-72)
...

県内のコースで回るとメンバーフィー以上料金を取られることはない。2000円~3000円以下で回れる。古閑も強さの秘密を「環境ですな」と言った。

また、初の女子大会開催となったスポーツ振興東那須CCでは、コースのメンバーがボランティアとして大会運営に協力した。

女子成績

- 1 東海大二 (熊本) 430 (221-209)
古閑 美保3 142 (74-68)
紫垣 綾花3 142 (73-69)
...

第23回大会

平成14年8月7日~8日
男子: 那須野ヶ原CC
女子: 東那須CC
男子38校、女子16校

女子は東海大二 (熊本) が第12~15回大会の堀越 (東京) に並ぶ、史上2校目の4連覇の偉業を達成。男子は千葉学芸 (千葉) が史上最多6度目の優勝を狙った強豪・水城 (茨城) に5打差をつけ初優勝を飾った。

男子成績

- 1 千葉学芸 (千葉) 428 (218-213)
尾居 博英2 142 (70-72)
佐藤 達也3 142 (73-69)
...

女子成績

- 1 東海大二 (熊本) 429 (216-213)
田中美弥子2 141 (70-71)
井芹美保子2 145 (75-70)
...

※前名の後の丸数字は学年。各学校各日上位3人の合計スコア。タイスコアの場合は、同日の合計スコアが順位を決定する。さらに同数の場合は、初日のチームスコアで順位を決定

※前名の後の丸数字は学年。各学校各日上位3人の合計スコア。タイスコアの場合は、同日の合計スコアが順位を決定する。さらに同数の場合は、初日のチームスコアで順位を決定

第28回大会

平成19年8月6日～7日
土佐CC
男子38校、女子16校



男子は水城(茨城)が、7年ぶり6度目の優勝を果たした。初日に4打差3位に付けていたが、4年連続4度目の優勝を狙った初日首位の鹿島学園(茨城)を逆転し2打差を付けて日本一に輝いた。最終日は3位タイからスタートする苦しい展開となったが、岡田勝麻と近藤孝宣(ともに3年)がともに69をマーク。上位3人が安定したプレーを見せて212とし、トータル421ストロークで逆転優勝となった。近藤は「鹿島学園はライバル意識はありました。いつか勝ちたい、今年こそはと思っています」と笑顔を見せた。片山晋呉、横田真一、宮本勝昌、市原建彦らトッププロのOBを輩出してきた名門が、意地を見せつけた。

女子では東北(宮城)は5年連続5度目の女王に輝いた。初日2打差で首位に立ち通算435ストローク、2位の東日本国際大昌平(福島)との差を6打に広げ、圧勝。不動の地位を保った。4連覇は1991～94年の堀越(東京)と並ぶタイ記録だった。それを上回る史上初の5年連

続優勝で、通算優勝回数も5回とし、堀越に並んだ。川崎菊人監督は「自分にとっても、彼女たちにとっても今日は人生で1番か、2番目に記憶に残るいい日。ホッとしました」と笑顔を爆発させた。2アンダーの70をマークし、チームを主将としてけん引した森桜子(3年)は「5連覇できてうれしいです。自分たちのゴルフをすれば勝てるという自信はあったけど、これでひと安心です」と喜んだ。東日本国際大昌平は初出場ながら、2位と健闘。女子部員3人で臨み、441ストローク

男子成績

①水城(茨城) 421 (209-212)
黒宮 幹仁① 144 (70-74)
高田 聖斗① 146 (69-77)
岡田 勝麻③ 141 (72-69)
近藤 孝宣③ 139 (70-69)
②鹿島学園(茨城) 423 (205-218)
前栗 威俊太② 139 (67-72)
中村 貴至② 144 (72-72)
大槻 智春③ 146 (69-77)
内藤 慶① 143 (69-74)

③滝川第二(兵庫) 423 (217-206)
加門 大典③ 141 (74-67)
古賀 裕也③ 149 (73-76)
吉田 夏希② 140 (72-68)
古賀 拓実① 143 (72-71)

④柳川(福岡) 424 (219-205)
⑤芳之志学院(兵庫) 425 (209-216)
⑥真井学院(香川) 426 (213-213)
⑦杉並学院(東京) 427 (212-215)
⑧佐野日大(栃木) 428 (214-214)
⑨東北(宮城) 429 (218-211)
⑩明德義塾(高知) 430 (213-217)
⑪作新学院(栃木) 434 (221-213)
⑫福井工大附(福井) 434 (207-227)
⑬広陵(広島) 434 (215-219)
⑭千葉学芸(千葉) 435 (217-218)
⑮埼玉栄(埼玉) 436 (219-217)
⑯沖学園(福岡) 437 (215-222)
⑰大阪学院(大阪) 438 (220-218)
⑱樟南(鹿児島) 441 (217-224)
⑲興國(大阪) 443 (223-220)
⑳いなべ総合(三重) 445 (232-213)
㉑開志学園(新潟) 446 (222-224)
㉒関西学院(兵庫) 447 (218-229)
㉓芳之志学院(静岡) 447 (227-220)
㉔瀬戸内(広島) 450 (225-225)
㉕美濃加茂(岐阜) 451 (231-220)
㉖北海道学院(北海道) 453 (227-226)
㉗興南(沖縄) 456 (225-231)
㉘香川西(香川) 459 (226-233)
㉙日大(神奈川) 464 (231-233)
㉚埼玉栄(埼玉) 469 (227-242)
㉛多古(千葉) 469 (234-235)
㉜聖徳学院(福島) 470 (236-234)
㉝愛工大名電(愛知) 473 (235-238)
㉞駒場学園(東京) 479 (235-244)
㉟札幌光星(北海道) 479 (249-230)
㊱駿台甲府(山梨) 480 (245-235)
㊲立正(東京) 486 (246-240)
㊳聖学院(東京) 503 (251-252)
㊴拓大紅陵(千葉) 523 (260-263)
㊵福井工大附(福井) 464 (229-235)

で終えた。1年の酒井美紀が2日間トータルで141の好スコアを出したが、あと一歩及ばなかった。中田順子主将は「準優勝には満足です。いい思い出になりました」と満足した様子で話した。



女子成績

①東北(宮城) 435 (216-219)
大江 香織② 150 (73-77)
木戸 愛③ 148 (74-74)
森 桜子③ 141 (71-70)
大和笑莉奈③ 147 (72-75)

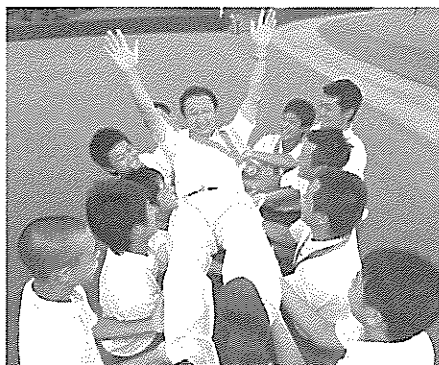
②東日本国際大昌平(福島) 441 (218-223)
酒井 美樹① 141 (71-70)
平山 歩② 151 (74-77)
中田 順子③ 149 (73-76)

③滝川第二(兵庫) 442 (225-217)
中井 美有① 148 (78-70)
山本 有里③ 149 (75-74)
坂下莉慧子② 147 (75-75)
中山 三奈② 145 (72-73)

④明德義塾(高知) 443 (220-223)
⑤東海大二(熊本) 444 (226-218)
⑥埼玉栄(埼玉) 448 (223-225)
⑦作陽(岡山) 449 (229-220)
⑧本部(沖縄) 451 (224-227)
⑨京都学園(京都) 455 (227-228)
⑩厚木北(神奈川) 469 (232-237)
⑪美濃加茂(岐阜) 472 (238-234)
⑫香川西(香川) 487 (250-237)
⑬千葉日大(千葉) 489 (246-243)
⑭立正(東京) 497 (252-245)
⑮拓大紅陵(千葉) 523 (260-263)

第29回大会

平成20年8月5日～6日
那須野ヶ原CC
男子38校、女子17校



男子は初日2位の埼玉栄(埼玉)が逆転で初優勝を飾った。大塚智之(3年)が9バーディー、ノーボギーの63と大爆発。通算16アンダー416で、2位の作新学院(栃木)に4打差をつけた。

埼玉栄の大家が猛チャージをかけた。前半那須野ヶ原コースの2、4、5、9番でバーディーを奪う、勢いは後半になっても止まらない。那珂川コースの1番から4連続バーディー、7番でもバーディーを決めて63でホールアウトした。「きょうは6アンダーをマークしていました。63はベストスコアです。ドライバーが曲がらず、ショット、パットともよかったです。団体優勝は本當にうれしい」と喜んだ。

埼玉栄は第1回から29回連続出場。橋本賢一監督も皆勤賞だが、85年の3位が最高だった。「いつもスタート前はドキドキするが、今年は安心して見ていられた。それが良かったのかな」と悲願の達成に笑顔を見せた。

女子は創部3年目、出場2回目の作陽が、混戦と見られていた女子の部を制した。エースで全国シードの藤本麻子(3年)が圧巻のプレー披露。前半4バーディー、ノーボギーの32で回り、後半も4バーディー、ノーボギーの32、8アンダー64でホールアウトし、初優勝に貢献した。

超高校級の藤本がいるが、チームのまとまりも抜群。「ゴルフ部の歴史は浅いが、家族的な雰囲気、11人の部員の団結力は最高にいい」と田淵潔

男子成績

①埼玉栄(埼玉) 416 (211-205)
大塚 智之③ 132 (69-63)
小林 克也② 147 (73-74)
今平 周吉① 139 (69-70)
塩見 好輝③ 145 (73-72)

②作新学院(栃木) 420 (209-211)
梅山 知宏② 141 (69-72)
濃辺 春希② 139 (70-69)
赤座 亮① 140 (70-70)
須藤 裕太① 149 (76-73)

③東北(宮城) 422 (213-209)
森本 雄③ 144 (75-69)
川口 明宏③ 143 (74-69)
張 雲基② 147 (71-76)
鈴木 勝文② 139 (68-71)

④千葉学芸(千葉) 424 (212-212)
⑤鹿島学園(茨城) 425 (212-213)
⑥樟南(鹿児島) 428 (210-210)
⑦水城(茨城) 429 (214-215)
⑧佐野日大(栃木) 434 (220-214)
⑨柳川(福岡) 434 (218-216)
⑩香川西(香川) 435 (219-216)
⑪明德義塾(高知) 435 (223-212)
⑫沖学園(福岡) 435 (218-217)
⑬クラーク学院(兵庫) 436 (218-218)
⑭日大(神奈川) 437 (216-221)
⑮東海大二(熊本) 439 (219-220)
⑯瀬戸内(広島) 441 (223-218)
⑰美濃加茂(岐阜) 442 (228-214)
⑱北海道学院(北海道) 444 (221-223)
⑳福井工大附(福井) 447 (219-228)
㉑いなべ総合(三重) 450 (224-226)
㉒多古(千葉) 450 (226-224)
㉓札幌光星(北海道) 450 (226-224)
㉔関西学院(兵庫) 451 (229-222)
㉕滝川第二(兵庫) 453 (224-229)
㉖大阪学院(大阪) 453 (234-219)
㉗大商大高(大阪) 455 (231-224)
㉘埼玉栄(埼玉) 463 (232-231)
㉙福取(静岡) 465 (230-235)
㉚崇徳(愛知) 465 (240-225)
㉛学芸石川(福島) 466 (233-233)
㉜厚木北(神奈川) 468 (238-230)
㉝駒場学園(東京) 475 (238-237)
㉞杉並学院(東京) 479 (240-239)
㉟広陵(広島) 480 (241-239)
㊱日大(東京) 481 (240-241)
㊲法政二高(神奈川) 485 (245-240)
㊳高輪(東京) 487 (253-224)
㊴東海大四(北海道) 513 (261-252)

コーチは話す。今年創立79年をむかえた作陽。全国大会に出場したサッカーを中心に野球、柔道などアスリート育成に力を入れており、女子ゴルフの初の全国制覇は大きな活力となった。



女子成績

①作陽(岡山) 425 (216-209)
江口 智子③ 153 (78-75)
藤本 麻子③ 133 (69-64)
西木裕紀子② 147 (73-74)
東 浩子① 145 (74-71)

②滝川二(兵庫) 429 (219-210)
沢井 瞳③ 148 (74-74)
中井 美有② 151 (76-75)
坂下莉慧子③ 141 (72-69)
中山 三奈③ 140 (73-67)

③福井工大福井(福井) 434 (218-216)
小楠 梨紗② 142 (72-70)
宮田 綾音② 148 (73-75)
森 美穂① 144 (73-71)
明珍あかね① 170 (86-84)

④東北(宮城) 439 (219-220)
⑤東海大二(熊本) 441 (219-222)
⑥富岡(福島) 443 (226-217)
⑦千葉日大(千葉) 446 (221-225)
⑧拓大紅陵(千葉) 448 (223-225)
⑨明德義塾(高知) 448 (219-229)
⑩美濃加茂(岐阜) 449 (228-221)
⑪京都学園(京都) 449 (224-225)
⑫沖繩尚学(沖縄) 452 (222-230)
⑬埼玉栄(埼玉) 453 (228-225)
⑭立正(東京) 468 (239-229)
⑮北海道学院(北海道) 486 (248-238)
⑯堀越(東京) 489 (249-246)
⑰日大(神奈川) 535 (268-267)

全国中学校ゴルフ選手権大会

個人の部

第20回大会 日 時・昭和51年8月6日
コース・霞ヶ関カントリー倶楽部
東コース(6,934 Y・パー 72)

①米井 幸喜(豊川) 39・36・35 110
②四本 隆司(上町) 34・40・37 111
③高木 信行(ルーテル学院) 38・35・39 112
④田中 清司(文の里) 39・38・37 114
⑤中島 篤志(桐生市立西) 40・39・36 115

第24回大会 日 時・昭和55年8月1日
コース・霞ヶ関カントリー倶楽部
西コース(6,098 m・パー 72)

①依田 祐輔(高知南海) 37・39 (76) 39・37 (76) 152
②倉本 泰信(広島中広) 37・39 (76) 38・40 (78) 154
③増田 健(川中島) 38・40 (78) 39・38 (77) 155
④瀬畑 宏治(下館) 40・39 (79) 38・41 (79) 158
⑤川岸 良兼(小松中海) 36・41 (77) 41・41 (82) 159

第21回大会 日 時・昭和52年8月11日
コース・霞ヶ関カントリー倶楽部
東コース(6,934 Y・パー 72)

①四本 隆司(上町) 38・40 (78) 38・38 (76) 154
②中島 篤志(桐生市立西) 38・39 (77) 39・38 (77) 154
※プレーオフの結果、四本選手の優勝
③関根 孝治(大洗町立第一) 41・40 (81) 38・39 (77) 158
④芦沢 和久(田柄) 42・39 (81) 40・38 (78) 159
⑤宮田 修誠(一宮) 42・41 (83) 40・38 (78) 161

第25回大会 日 時・昭和56年8月13日
コース・霞ヶ関カントリー倶楽部
西コース(6,098 m・パー 72)

①川岸 良兼(小松中海) 38・37 (75) 41・37 (78) 153
②高貝 良樹(川西緑台) 41・38 (79) 37・38 (75) 154
③安田 浩二(成城学園) 39・37 (76) 40・40 (80) 156
④山本 勝美(奈良二名) 37・41 (78) 40・39 (79) 157
⑤手嶋 多一(華春) 41・40 (81) 37・39 (76) 157

第22回大会 日 時・昭和53年8月3日
コース・霞ヶ関カントリー倶楽部
東コース(6,338 m・パー 72)

①山中 博史(浦和ルーテル) 40・40 (80) 40・38 (78) 158
②渡辺 篤人(愛工大附) 40・40 (80) 41・41 (82) 162
③田中 清司(文の里) 39・41 (80) 39・44 (83) 163
④中島 和也(桐生市立西) 41・43 (84) 41・40 (81) 165
⑤額賀 靖生(つくしの) 41・43 (84) 42・41 (83) 167

第26回大会 日 時・昭和57年8月6日
コース・霞ヶ関カントリー倶楽部
西コース(6,108 m・パー 72)

①小達 敏昭(関東学院) 37・38 (75) 38・37 (75) 150
②手嶋 多一(華春) 39・38 (77) 35・39 (74) 151
③野上 浩一(木崎) 37・38 (75) 39・37 (76) 151
④南川 拓也(貝塚三) 39・41 (80) 35・39 (74) 154
⑤佐藤 英明(伊藤) 41・36 (77) 40・37 (77) 154

第23回大会 日 時・昭和54年8月2日
コース・霞ヶ関カントリー倶楽部
西コース(6,098 m・パー 72)

①岩崎 憲一(梅田) 39・40 (79) 36・38 (74) 153
②多田 大木(千種台) 41・39 (80) 37・37 (74) 154
③渡辺 佳人(愛工大附) 40・39 (79) 36・40 (76) 155
④小沼 年則(土浦第四) 40・39 (79) 39・39 (78) 157
⑤田村 尚之(修道) 40・38 (78) 41・39 (80) 158

第27回大会 日 時・昭和58年8月9日、10日
コース・霞ヶ関カントリー倶楽部
東コース(6,346 m・パー 72)

①佐藤 英明(伊藤) 36・36 (72) 37・38 (75) 147
②丸山 茂樹(下貝塚) 40・42 (82) 36・38 (74) 156
③手嶋 多一(華春) 38・38 (76) 39・41 (80) 156
④深堀圭一郎(田端) 40・41 (81) 37・39 (76) 157
⑤清里 威夫(大阪平野) 40・39 (79) 39・47 (86) 165

※各日4人中上位3人の2日間の合計ストロークで順位を決定。同数の場合は、最終日の4人の合計ストロークによる。更に同数の場合は、第1日の4人の合計ストロークによる。

第28回大会 日時・昭和59年8月8日、9日
コース・霞ヶ関カントリー倶楽部
東コース(6,346m・パー72)

- ①丸山 茂樹(下 貝 塚) 39・37 (76) 38・43 (81) 157
- ②白石 昌巳(鎌ヶ谷第二) 39・44 (83) 41・37 (78) 161
- ③小西 仁(原 市) 39・40 (79) 42・44 (86) 165
- ④原口 秀樹(福岡春日西) 41・42 (83) 39・43 (82) 165
- ⑤桑原 克典(訓 原) 41・38 (79) 42・46 (88) 167
- ⑥染谷 修平(日 大) 41・41 (82) 41・44 (85) 167

第32回大会 日時・昭和63年8月10日、11日
コース・霞ヶ関カントリー倶楽部
西コース(6,682Y・パー72)

- ①山口 知之(川 内 北) 40・40 (80) 36 116
- ②今野 康晴(恵 那 西) 42・39 (81) 38 119
- ③松元 昌史(信 大 松 本) 42・37 (79) 41 120
- ④林 栄作(四 条) 40・41 (81) 40 121
- ⑤井野上正範(明 大 中 野) 40・41 (81) 40 121

※ 3日目は悪天候のため9H

第36回大会 日時・平成4年8月6日、7日
コース・霞ヶ関カントリー倶楽部
東コース(6,498Y・パー71)

- ①杉原 亘(高 野) 37・36 (73) 39・36 (75) 148
 - ②波当根弓彦(中 ノ 郷) 37・39 (76) 37・35 (72) 148
 - ③星野 英正(利 府) 38・36 (74) 38・36 (74) 148
- ※ プレーオフの結果、杉原選手の優勝
- ④鯨井 宏理(赤 塚) 37・38 (75) 37・40 (77) 152
 - ⑤山田 竜平(啓 成) 42・36 (78) 38・37 (75) 153

第40回大会 日時・平成8年8月17日、18日
コース・那須野ヶ原カントリークラブ
(6,260Y・パー72)

- 男子●
- ①渡辺 征伸(多 賀 城) 37・33 (70) 33・33 (66) 136
 - ②高山 之賀(近 衛) 34・32 (66) 35・36 (71) 137
 - ③津田 誠司(大 正) 34・37 (71) 34・37 (71) 142
 - ④市原 弘大(向 原) 37・36 (73) 35・36 (71) 144
 - ⑤米澤 友一(上 田) 37・37 (74) 37・35 (72) 146
 - ⑥坂本 聡(昭 和) 40・37 (77) 37・34 (71) 148
 - ⑦大濱 考洋(木 曾) 40・36 (76) 37・38 (75) 151
 - ⑧藤島 豊和(大 矢 野) 37・37 (74) 40・37 (77) 151
 - ⑨宮本 武(藤 岡) 35・38 (73) 40・39 (79) 152
 - ⑩西川 剛(上 野) 39・41 (80) 38・39 (77) 157

- 女子●
- ①高橋 智子(田 島) 39・39 (78) 39・36 (75) 153
 - ②田中 亜依(高 森 台) 39・42 (81) 36・39 (75) 156
 - ③古閑 美保(二 岡) 38・38 (76) 40・42 (82) 158
 - ④高橋友希子(砂 子) 42・37 (79) 39・40 (79) 158
 - ⑤高松 聖(東 山) 43・37 (80) 41・39 (80) 160
 - ⑥永井 奈都(山 科) 40・40 (80) 39・41 (80) 160
 - ⑦大川 久乃(岩 見 沢 豊) 41・44 (85) 37・39 (76) 161
 - ⑧恒川 智会(神 丘) 44・39 (83) 43・39 (82) 165
 - ⑨黒須摩衣子(北 信) 43・41 (84) 42・39 (81) 165
 - ⑩桜井 裕華(坂 井 輪) 44・41 (85) 40・41 (81) 166

第29回大会 日時・昭和60年8月7日、8日
コース・霞ヶ関カントリー倶楽部
東コース(6,346m・パー72)

- ①安東 博樹(久 居) 36・39 (75) 37・41 (78) 153
- ②加藤 雅成(蘇 我) 40・36 (76) 37・44 (81) 157
- ③松永公比呂(志 免 東) 43・37 (80) 41・39 (80) 160
- ④三橋 隆明(久 井) 41・41 (82) 40・41 (81) 163
- ⑤小林 幸夫(嵯 峨) 42・40 (82) 43・40 (83) 165
- ⑥米倉 和良(折 尾) 42・42 (84) 43・38 (81) 165

第33回大会 日時・平成元年8月10日、11日
コース・霞ヶ関カントリー倶楽部
西コース(6,682Y・パー72)

- ①原口 鉄也(那 智) 36・38 (74) 37・40 (77) 151
- ②津田 猛(生 駒 上) 37・40 (77) 39・38 (77) 154
- ③長尾 卓(五 十 嵐) 38・42 (80) 38・38 (76) 156
- ④久田 謙(啓 明 学 園) 37・38 (75) 42・39 (81) 156
- ⑤松元 昌史(信 大 松 本) 40・37 (77) 42・37 (79) 156

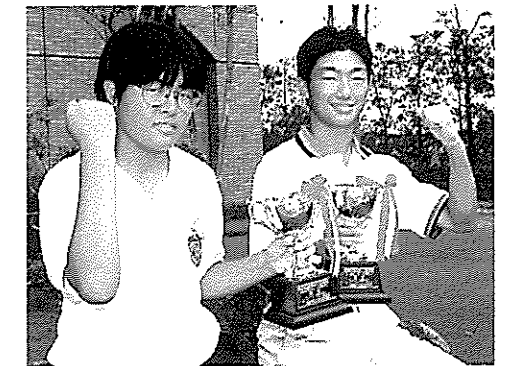
第37回大会 日時・平成5年8月12日、13日
コース・霞ヶ関カントリー倶楽部
東コース(6,498Y・パー72)

- ①清田太郎(五 霊) 38・39 (77) 40・36 (76) 153
- ②長谷 和宏(段 原) 38・40 (78) 38・41 (79) 157
- ③丸山 壘(阿 久 比) 42・40 (82) 40・36 (76) 158
- ④市原 建彦(丸 山 台) 42・38 (80) 40・38 (78) 158
- ⑤日比野育孝(梅 林) 39・40 (79) 42・39 (81) 160

第41回大会 日時・平成9年8月3日、4日
コース・那須野ヶ原カントリークラブ
(6,106Y・パー72)

- 男子●
- ①市原 弘大(東京・向原③) 34・34 (68) 36・37 (73) 141
 - ②高山 準平(愛知・志段味②) 37・36 (73) 35・34 (69) 142
 - ③藤島 晴雄(熊本・大矢野②) 33・39 (72) 40・38 (78) 150
 - ④西川 剛(東京・上野③) 39・35 (74) 36・40 (76) 150
 - ⑤土佐 達哉(大阪・八下②) 38・37 (75) 35・40 (75) 150
 - ⑥小川 純一(神奈川・引地台③) 40・38 (78) 35・37 (72) 150
 - ⑦石川 裕貴(鳥取・境港二②) 36・41 (77) 37・38 (75) 152
 - ⑧松本 晃一(大阪・大体大付③) 37・38 (75) 37・41 (78) 153
 - ⑨米澤 友一(岩手・上田③) 38・37 (75) 39・39 (78) 153
 - ⑩鈴木 英児(茨城・水戸二②) 35・41 (76) 39・39 (78) 154
 - ⑪淀 智哉(大阪・寝屋川六③) 38・39 (77) 38・39 (77) 154
 - ⑫大濱 考洋(東京・木曾③) 38・40 (78) 38・38 (76) 154

- 女子●
- ①佐藤 丹美(愛知・岩崎③) 33・39 (72) 34・38 (72) 144
 - ②古閑 美保(熊本・二岡③) 37・37 (74) 34・39 (73) 147
 - ③恒川 智会(愛知・神丘③) 36・37 (73) 41・37 (78) 151
 - ④大川 久乃(北海道・岩見沢③) 35・41 (76) 38・39 (77) 153
 - ⑤鈴木ゆり子(静岡・門池②) 37・39 (76) 41・37 (78) 154
 - ⑥吉田 藍子(徳島・上八万③) 43・39 (82) 36・44 (80) 162
 - ⑦杉原 良実(京都・高野③) 40・39 (79) 45・39 (84) 163
 - ⑧三田 華苗(栃木・佐野日大②) 44・43 (87) 41・38 (79) 166
 - ⑨大下 歩美(千葉・千城台南③) 40・40 (80) 47・47 (94) 174
 - ⑩篠原祐美子(高知・明徳義塾②) 40・42 (82) 46・46 (92) 174
 - ⑪真子 紗佳(山口・周東①) 41・45 (86) 42・46 (88) 174



男子優勝の市原弘大(右)と女子優勝の佐藤丹美はトロフィーを手にガッツポーズ [第41回大会]

第30回大会 日時・昭和61年8月6日、7日
コース・霞ヶ関カントリー倶楽部
西コース(6,108m・パー72)

- ①米倉 和良(折 尾) 38・37 (75) 38・40 (78) 153
- ②佐々木博文(天 羽) 44・38 (82) 37・38 (75) 157
- ③宮里 彰一(川 内 中 央) 40・38 (78) 43・37 (80) 158
- ④林 大作(石 切) 41・38 (79) 39・40 (79) 158
- ⑤久保谷健一(秦野市立北) 40・41 (81) 38・41 (79) 160
- ⑥長谷川芳行(上尾市立西) 37・39 (76) 41・43 (84) 160
- ⑦横田 真一(双 葉 台) 37・44 (81) 40・39 (79) 160

第34回大会 日時・平成2年8月9日、10日
コース・霞ヶ関カントリー倶楽部
西コース(6,682Y・パー72)

- ①木村 友栄(戸 山) 37・40 (77)
- ②中井 伸宏(平 群) 37・41 (78)
- ③松崎 俊一(大 矢 部) 37・42 (79)
- ④檜垣 豪(箕 面 四) 42・40 (80)
- ⑤米倉憲太郎(浅 川) 39・43 (82)
- ⑥国吉 博一(石 垣) 42・40 (82)
- ⑦辻村 明志(糸 田) 38・44 (82)
- ⑧今田 竜二(宮 浦) 36・46 (82)
- ⑨松岡 昌宏(大 成 館) 40・42 (82)

※ 3日目は悪天候のため中止

第38回大会 日時・平成6年8月11日、12日
コース・霞ヶ関カントリー倶楽部
東コース(6,527Y・パー72)

- ①宮里 優作(東) 39・37 (76) 36・35 (71) 147
- ②日坂 隆一(戸 田) 39・35 (74) 38・39 (77) 151
- ③清田太郎(五 霊) 42・36 (78) 36・38 (74) 152
- ④中島 雅生(中 台) 37・39 (76) 39・40 (79) 155
- ⑤上本 義幸(明 徳 義 塾) 37・38 (75) 40・41 (81) 156

第31回大会 日時・昭和62年8月6日、7日
コース・霞ヶ関カントリー倶楽部
西コース(6,682Y・パー72)

- ①デ・シャストネ・レミ
(セントメリーズ) 37・39 (76) 39・39 (78) 154
- ②池田 誠(松 山 城 西) 38・41 (79) 40・37 (77) 156
- ③日野 雄大(八 王 子 第 三) 40・39 (79) 39・39 (78) 157
- ④内藤 潔(成 蹊) 40・39 (79) 40・39 (79) 158
- ⑤宮本 勝昌(熱 海) 42・38 (80) 39・40 (79) 159
- ⑥今野 康晴(恵 那 西) 38・36 (74) 44・41 (85) 159

第35回大会 日時・平成3年8月8日、9日
コース・霞ヶ関カントリー倶楽部
西コース(6,356Y・パー72)

- ①米倉憲太郎(浅 川) 36・37 (73) 36・35 (71) 144
- ②根本 昌英(栃 木 西) 38・38 (76) 40・33 (73) 149
- ③檜垣 豪(箕 面 第 四) 35・39 (74) 39・38 (77) 151
- ④古谷 富広(秦 野 東) 37・38 (75) 38・38 (76) 151
- ⑤松岡 昌宏(大 成 館) 36・39 (75) 39・40 (79) 154

第39回大会 日時・平成7年8月18日、19日
コース・那須野ヶ原カントリークラブ
(6,260Y・パー72)

- 男子●
- ①宮里 優作(東) 33・38 (71) 32・34 (66) 137
 - ②上本 義幸(明 徳 義 塾) 38・34 (72) 33・38 (71) 143
 - ③渡辺 征伸(多 賀 城) 37・38 (75) 37・36 (73) 148
 - ④高山 友賀(近 衛) 37・38 (75) 36・38 (74) 149
 - ⑤桜木サミー(明 治) 37・34 (71) 41・39 (80) 151

- 女子●
- ①大川 久乃(岩 見 沢 豊) 38・39 (77) 37・41 (78) 155
 - ②頼所 由夏(松 戸 第 四) 41・39 (80) 39・40 (79) 159
 - ③北田 瑠衣(沖 学 園) 40・41 (81) 40・39 (79) 160
 - ④桶田 綾子(長 久 手) 39・44 (83) 37・41 (78) 161
 - ⑤田中 亜依(高 森 台) 40・38 (78) 41・42 (83) 161

第42回大会 日 時・平成10年8月3日、4日
 コース・那須野ヶ原カントリークラブ
 (6,106Y・パー72)

- 男子●
- ①高山 準平(愛知・志段味③) 35・34(69) 35・37(72) 141
 - ②渡嘉敷幸大(沖縄・大宮③) 34・35(69) 37・35(72) 141
 - ③中島 徹(山梨・甲府東③) 35・37(72) 35・36(71) 143
 - ④鈴木 英児(茨城・水戸③) 33・35(68) 38・38(76) 144
 - ⑤北田 隼士(長野・更北③) 37・38(75) 35・35(70) 145
 - ⑥中西 雅樹(大阪・岸城③) 39・36(75) 35・37(72) 147
 - ⑦池田 勇太(千葉・葛城①) 34・37(71) 39・38(77) 148
 - ⑧小原 淳(東京・成城学園③) 36・37(73) 36・39(75) 148
 - ⑨石川 元樹(大阪・上野芝①) 34・39(73) 39・36(75) 148
 - ⑩大宮 正幸(愛媛・湯山①) 37・38(75) 34・39(73) 148
- 女子●
- ①飯島 茜(群馬・安中一③) 37・36(73) 39・38(77) 150
 - ②上原 彩子(沖縄・小禄③) 36・38(74) 39・37(76) 150
 - ③山本 知佳(富山・鷹施②) 36・39(75) 39・39(78) 153
 - ④鈴木ゆり子(静岡・門池③) 39・37(76) 40・37(77) 153
 - ⑤真子 紗佳(山口・周東②) 39・40(79) 38・38(76) 155
 - ⑥清田 恭代(熊本・五雲③) 41・36(77) 42・37(79) 156
 - ⑦新津久美子(北海道・札幌西陵②) 39・42(81) 36・39(75) 156
 - ⑧妻木 亜弓(北海道・新琴似③) 37・40(77) 42・40(82) 159
 - ⑨三田 華苗(栃木・佐野日大③) 41・40(81) 42・37(79) 160
 - ⑩山岸 優子(石川・片山津③) 38・41(79) 41・41(82) 161



男子優勝の高山準平(志段味)と
 女子優勝の飯島 茜(安中一) 【第42回大会】

第43回大会 日 時・平成11年8月10日、11日
 コース・那須野ヶ原カントリークラブ
 (6,222Y・パー72)

- 男子●
- ①尾崎 隼人(兵庫・山崎西③) 35・38(73) 35・31(66) 139
 - ②小山貢志郎(熊本・天明②) 35・35(70) 36・35(71) 141
 - ③中島 徹(山梨・甲府東③) 35・35(70) 34・38(72) 142
 - ④藤島 征次(熊本・大矢野③) 36・37(73) 33・36(69) 142
 - ⑤斉藤 麗(山梨・石和②) 37・37(74) 36・33(69) 143
 - ⑥中西 雅樹(大阪・岸城③) 35・33(68) 39・37(76) 144
 - ⑦大宮 正幸(愛媛・湯山②) 38・35(73) 37・35(72) 145
 - ⑧池田 勇太(千葉・葛城②) 34・37(71) 42・33(75) 146
 - ⑨草瀬 大志(鳥取・湊山②) 35・37(72) 37・38(75) 147
 - ⑩仁木 海渡(高知・高知③) 36・37(73) 36・38(74) 147
 - ⑪角掛 史公(青森・弘前大付③) 38・36(74) 36・37(73) 147
 - ⑫諸藤 将次(福岡・良山②) 37・39(76) 35・36(71) 147
- 女子●
- ①宮里 藍(沖縄・東②) 33・34(67) 41・38(79) 146
 - ②佐伯 三貴(広島・武田③) 39・39(78) 38・32(70) 148
 - ③辻 恵美子(鹿児島・田崎③) 35・39(74) 40・36(76) 150
 - ④諸見里しのぶ(沖縄・屋部①) 36・39(75) 35・40(75) 150
 - ⑤山本 知佳(富山・鷹施③) 37・40(77) 36・38(74) 151
 - ⑥川原田梨紗(北海道・もみじ台③) 38・39(77) 38・38(76) 153
 - ⑦和田委世子(山形・山形大付②) 39・37(76) 38・40(78) 154
 - ⑧福嶋 美佳(愛知・高浜①) 38・38(76) 40・38(78) 154
 - ⑨上田 桃子(熊本・西原①) 39・41(80) 38・38(76) 156
 - ⑩佐藤 里菜(神奈川・六角橋②) 40・39(79) 38・42(80) 159



男子優勝の尾崎隼人(山崎西)と
 女子優勝の宮里 藍(東) 【第43回大会】

第45回大会 日 時・平成13年8月8日、9日
 コース・富士カントリー明智ゴルフ倶楽部
 明智ゴルフ場・中コース
 (男子6,374Y・女子6,053Y・いずれもパー72)

- 男子●
- ①和田健太郎(愛知・桜丘③) 33・35(68) 36・34(70) 138
 - ②津曲 泰弦(宮崎・福島③) 38・34(72) 34・36(70) 142
 - ③安本 大祐(北海道・厚別③) 33・33(66) 37・40(77) 143
 - ④松本 文夫(岐阜・長森南③) 36・35(71) 35・38(73) 144
 - ⑤吉長 拓哉(大阪・南高安③) 36・37(73) 38・35(73) 146
 - ⑥真田 雅彦(東京・立川四③) 38・34(72) 34・40(74) 146
 - ⑦日原 篤志(東京・馬込②) 38・35(73) 36・37(73) 146
 - ⑧日高 裕貴(兵庫・垂水東③) 39・37(76) 36・35(71) 147
 - ⑨鎌田 幸市(岐阜・北方③) 37・36(73) 36・38(74) 147
 - ⑩伊藤 勇気(千葉・小見川②) 37・36(73) 36・38(74) 147
- 女子●
- ①諸見里しのぶ(沖縄・屋部③) 36・38(74) 34・35(69) 143
 - ②笠 りつ子(熊本・武蔵ヶ丘②) 36・35(71) 37・37(74) 145
 - ③有村 智恵(熊本・九州学院②) 38・36(74) 36・37(73) 147
 - ④原 江里菜(愛知・若園②) 36・37(73) 40・35(75) 148
 - ⑤上田 桃子(熊本・西原③) 40・34(74) 35・40(75) 149
 - ⑥竹村 千里(大阪・深野②) 35・38(73) 39・37(76) 149
 - ⑦宅島 美香(岐阜・南ヶ丘③) 36・37(73) 37・39(76) 149
 - ⑧秋山紗恵子(高知・明徳義塾②) 39・37(76) 39・36(75) 151
 - ⑨小山恵利子(東京・足立十三③) 37・39(76) 39・37(76) 152
 - ⑩服部 真夕(愛知・千種台②) 38・40(78) 35・40(75) 153



男子優勝の和田健太郎(桜丘)と
 女子優勝の諸見里しのぶ(屋部) 【第45回大会】

第46回大会 日 時・平成14年8月10日、11日
 コース・東那須カントリークラブ
 (男子6,390Y・女子6,078Y・いずれもパー72)

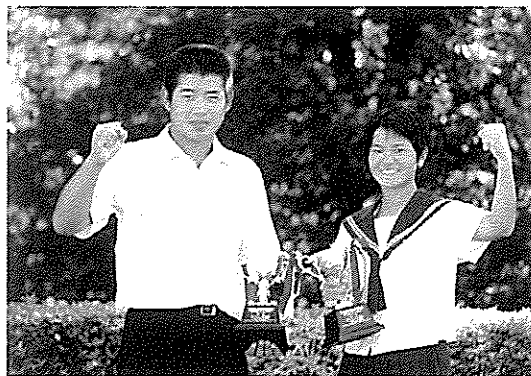
- 男子●
- ①伊藤 勇気(千葉・八日市場一③) 32・36(68) 35・33(68) 136
 - ②大溝 崇真(千葉・若松②) 35・35(70) 34・35(69) 139
 - ③松岡 勇作(福岡・沖学園②) 36・34(70) 34・36(70) 140
 - ④石田 翔(静岡・岡部③) 34・35(69) 37・35(72) 141
 - ⑤服部 大輔(千葉・千葉日大一②) 35・35(70) 38・34(72) 142
 - ⑥岡部 大輔(福岡・平野③) 36・37(73) 36・36(72) 145
 - ⑦吉沢慎太郎(東京・立正③) 37・34(71) 37・38(75) 146
 - ⑧永野竜太郎(熊本・木山②) 38・36(74) 35・37(72) 146
 - ⑨藤本 俊(熊本・菊陽③) 36・36(72) 38・37(75) 147
 - ⑩江口 幸輝(福岡・沖学園③) 36・38(74) 36・37(73) 147
 - ⑪坂上 陸郎(埼玉・埼玉栄③) 38・36(74) 36・37(73) 147
- 女子●
- ①有村 智恵(熊本・九州学院③) 35・36(71) 34・35(69) 140
 - ②竹村 千里(大阪・深野③) 35・36(71) 34・36(70) 141
 - ③原 江里菜(愛知・若園③) 34・38(72) 36・36(72) 144
 - ④金田久美子(愛知・名産女子大付①) 35・40(75) 33・36(69) 144
 - ⑤若林舞衣子(新潟・加茂②) 36・35(71) 35・39(74) 145
 - ⑥佐藤のぞみ(宮城・山田③) 37・36(73) 35・38(73) 146
 - ⑦笠 りつ子(熊本・武蔵ヶ丘③) 37・38(75) 34・38(72) 147
 - ⑧大津くるみ(熊本・西山②) 34・36(70) 37・41(78) 148
 - ⑨森 桜子(茨城・緑岡①) 36・39(75) 36・39(75) 150
 - ⑩梅田 如(北海道・東海大四②) 38・38(76) 41・34(75) 151



男子優勝の伊藤勇気(八日市場一)と
 女子優勝の有村智恵(九州学院) 【第46回大会】

第44回大会 日 時・平成12年8月13日、14日
 コース・那須野ヶ原カントリークラブ
 (男子6,356Y・女子6,270Y・いずれもパー72)

- 男子●
- ①池田 勇太(千葉・葛城③) 33・33(66) 35・37(72) 138
 - ②宮里 政志(沖縄・上山①) 32・36(68) 38・37(75) 143
 - ③草瀬 大志(鳥取・湊山③) 37・35(72) 36・35(71) 143
 - ④松本 文夫(岐阜・長森南②) 40・42(72) 37・35(72) 144
 - ⑤照屋 貴之(北海道・柏陽③) 38・37(75) 36・33(69) 144
 - ⑥岡田 卓麻(千葉・千葉日大②) 35・36(71) 37・37(74) 145
 - ⑦諸藤 将次(福岡・沖学園③) 40・33(73) 38・34(72) 145
 - ⑧梅本 裕師(大阪・宮原③) 36・35(71) 38・37(75) 146
 - ⑨岡田 壮広(栃木・佐野城東③) 38・36(74) 36・37(73) 147
 - ⑩石川 元樹(大阪・上野芝③) 38・36(74) 39・34(73) 147
- 女子●
- ①宮里 藍(沖縄・東③) 35・39(74) 35・34(69) 143
 - ②青山 加織(熊本・託麻③) 39・36(75) 39・34(73) 148
 - ③諸見里しのぶ(沖縄・屋部②) 39・36(75) 40・35(75) 150
 - ④竹村 千里(大阪・深野①) 37・38(75) 36・39(75) 150
 - ⑤井芹美保子(熊本・錦ヶ丘③) 40・37(77) 39・40(79) 156
 - ⑥有山 陽香(大阪・瑞光③) 40・39(79) 38・39(77) 156
 - ⑦和田委世子(山形・山形大付③) 42・38(80) 39・37(76) 156
 - ⑧有村 智恵(熊本・九州学院①) 39・40(79) 40・39(79) 158
 - ⑨宅島 美香(岐阜・南ヶ丘②) 41・40(81) 39・40(79) 160
 - ⑩高林 由実(北海道・藤女子②) 38・42(80) 39・42(81) 161



男子優勝の池田勇太(葛城)と
 女子2連覇の宮里 藍(東) 【第44回大会】

第47回大会 日 時・平成15年8月11日、12日
 コース・那須野ヶ原カントリークラブ
 (男子6,507Y・女子6,196Y・いずれもパー72)

- 男子●
- ①宇佐美祐樹(神奈川・大船③) 36・32(68) 35・35(70) 138
 - ②松岡 勇作(福岡・沖学園③) 32・34(66) 39・35(74) 140
 - ③吉田 研人(東京・足立十六③) 32・34(66) 38・38(76) 142
 - ④永野竜太郎(熊本・木山③) 35・34(69) 37・36(73) 142
 - ⑤藤本 佳則(奈良・郡山西②) 36・37(73) 35・36(71) 144
 - ⑥柴田健太郎(愛知・高浜③) 36・38(74) 35・35(70) 144
 - ⑦辻丸 侑樹(福岡・沖学園③) 40・36(76) 36・34(70) 146
 - ⑧中西 直人(大阪・岸城③) 37・37(74) 34・40(74) 148
 - ⑨武石 翔太(北海道・駒形②) 38・38(76) 35・37(72) 148
- 女子●
- ①森 桜子(茨城・緑岡②) 38・33(71) 40・34(74) 145
 - ②若林舞衣子(新潟・加茂④) 37・36(73) 36・38(74) 147
 - ③櫻井 有希(京都・京都学園③) 38・37(75) 37・37(74) 149
 - ④新井 麻衣(福井・福井工大附③) 36・37(73) 38・39(77) 150
 - ⑤竹村 真琴(京都・京都学園①) 37・40(77) 38・35(73) 150
 - ⑥菊地絵理香(北海道・向陽台③) 39・37(76) 39・37(76) 152
 - ⑦坂本 優里(愛媛・椿③) 36・36(72) 41・40(81) 153
 - ⑧金田久美子(愛知・名産女子大付②) 38・38(76) 40・38(78) 154
 - ⑨西村 友希(東京・寺島③) 39・39(78) 39・37(76) 154
 - ⑩中川 亜美(大阪・井高野③) 41・37(78) 39・39(78) 156
 - ⑪大津くるみ(熊本・西山③) 39・40(79) 37・40(77) 156



男子優勝の宇佐美祐樹(大船)と
 女子優勝の森 桜子(緑岡) 【第47回大会】

第48回大会 日 時・平成16年8月6日、7日
 コース・かごしま空港36カントリークラブ
 (男子6,775Y・女子6,512Y・いずれもパー72)

- 男子●
- ① 園田 峻輔(愛知・三好第一) 33・34 (67) 34・33 (67) 134
 - ② 狩俣 慶大(沖縄・コザ) 33・35 (68) 34・35 (69) 137
 - ③ 藤本 佳則(奈良・郡山西) 32・37 (69) 33・35 (68) 137
 - ④ 中野 大介(福岡・屏水) 38・37 (71) 35・35 (70) 141
 - ⑤ 山口 量(岐阜・蘇原) 36・35 (71) 35・35 (70) 141
 - ⑥ 高田 聖斗(新潟・城東) 35・33 (68) 35・38 (73) 141
 - ⑦ 小鯛 竜也(大阪・鳥取) 37・36 (73) 35・34 (69) 142
 - ⑧ 森 雄貴(三重・木曾岬) 35・34 (69) 36・37 (73) 142
 - ⑨ 根本 伊織(福島・安積二) 36・36 (72) 36・35 (71) 143
 - ⑩ 川口 明宏(愛知・大府北) 35・36 (71) 36・36 (72) 143
 - ⑪ 近藤 孝宣(新潟・西川) 35・36 (71) 34・38 (72) 143

- 女子●
- ① 竹村 真琴(京都・京都学園) 33・37 (70) 36・32 (68) 138
 - ② 金田久美子(愛知・名古屋女子大) 37・35 (72) 36・33 (69) 141
 - ③ 森田理香子(京都・京都学園) 35・38 (73) 33・37 (70) 143
 - ④ 宮里 美香(沖縄・松島) 36・35 (71) 36・36 (72) 143
 - ⑤ 森 桜子(茨城・緑岡) 34・37 (71) 36・37 (73) 144
 - ⑥ 豊永 志帆(熊本・松橋) 38・39 (77) 34・35 (69) 146
 - ⑦ 横山 恭子(鹿児島・細山田) 36・39 (75) 35・37 (72) 147
 - ⑧ 藤本 麻子(岡山・津山東) 36・39 (75) 35・38 (73) 148
 - ⑨ 岩周 里紗(愛知・瑞穂大付) 41・38 (79) 37・35 (72) 151
 - ⑩ 牧 里奈(愛知・高針台) 37・38 (75) 37・39 (76) 151
 - ⑪ 五十嵐くるみ(宮城・七北田) 33・40 (73) 40・38 (78) 151



中学の部で優勝を決めガッツポーズをする
 園田峻輔(左)と竹村真琴 (第48回大会)

第49回大会 日 時・平成17年8月12日、13日
 コース・那須野ヶ原カントリークラブ浮間
 ・那珂川コース
 (男子6,417Y・女子6,142Y・いずれもパー72)

- 男子●
- ① 石川 遼(埼玉・松伏二) 36・30 (66) 34・32 (66) 132
 - ② 森本 雄(愛知・竜南) 36・33 (69) 34・33 (67) 136
 - ③ 森 雄貴(三重・木曾岬) 36・34 (70) 34・34 (68) 138
 - ④ 黒宮 幹仁(愛知・南陽) 32・36 (68) 34・37 (71) 139
 - ⑤ 高柳 大(群馬・大泉南) 36・37 (73) 34・35 (69) 142
 - ⑥ 佐藤 和紀(福岡・沖学園) 36・32 (68) 36・38 (74) 142
 - ⑦ 高田 聖斗(新潟・城東) 34・36 (70) 37・36 (73) 143
 - ⑧ 川口 明宏(愛知・大府北) 39・35 (74) 36・33 (69) 143
 - ⑨ 秋吉 翔太(熊本・託麻) 34・35 (69) 39・36 (75) 144
 - ⑩ 佐藤 宇紘(埼玉・埼玉平成) 37・36 (73) 36・36 (72) 145
 - ⑪ 上田 翔太(大阪・意岐部) 38・33 (71) 37・37 (74) 145

- 女子●
- ① 藤本 麻子(岡山・津山東) 35・37 (72) 36・36 (72) 144
 - ② 竹村 春風(熊本・東野) 38・37 (75) 33・36 (69) 144
 - ③ 平山 歩(福島・中央台北) 36・35 (71) 37・38 (75) 146
 - ④ 中山 三奈(兵庫・塩屋) 38・39 (77) 36・36 (72) 149
 - ⑤ 宮沢 亜衣(京都・京都学園) 40・37 (77) 34・40 (74) 151
 - ⑥ 豊永 志帆(熊本・松橋) 37・38 (75) 40・36 (76) 151
 - ⑦ 森 美穂(三重・木曾岬) 37・39 (76) 39・38 (77) 153
 - ⑧ 青木瀬令奈(群馬・箱田) 40・39 (79) 38・38 (76) 155
 - ⑨ 坂下莉香子(兵庫・東落合) 37・39 (76) 39・40 (79) 155
 - ⑩ 浜本 風紗(熊本・大矢野) 41・41 (82) 37・38 (75) 157
 - ⑪ 宮田 東奈(熊本・帯山) 40・36 (76) 41・40 (81) 157

※女子はプレーオフにより藤本が優勝

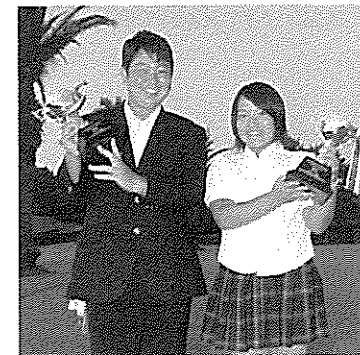


個人で優勝した男子・石川遼(左)と女子・藤本麻子は
 そろってVサイン (第49回大会)

第51回大会 日 時・平成19年8月9日、10日
 コース・土佐カントリークラブ
 (男子6,509Y・女子6,165Y・いずれもパー72)

- 男子●
- ① 古田 幸希(青森・三沢一) 38・34 (72) 34・31 (65) 137
 - ② 今平 周吾(埼玉・西武) 35・35 (70) 36・32 (68) 138
 - ③ 竹安 俊也(兵庫・宝梅) 37・35 (72) 35・34 (69) 141
 - ④ 桜井 大樹(山梨・白根巨摩) 35・34 (69) 37・35 (72) 141
 - ⑤ 稲葉 一馬(兵庫・垂水東) 36・37 (73) 34・36 (70) 143
 - ⑥ 山城 泰介(沖縄・真和志) 33・39 (72) 36・35 (71) 143
 - ⑦ 豊田健太郎(山口・高森みどり) 36・35 (71) 36・36 (72) 143
 - ⑧ 赤座 亮(山梨・韮崎西) 35・35 (70) 37・36 (73) 143
 - ⑨ 青野憲太郎(京都・京都学園) 35・37 (72) 37・35 (72) 144
 - ⑩ 加藤龍太郎(岡山・旭東) 38・39 (77) 34・34 (68) 145
 - ⑪ 狩俣 昇平(沖縄・コザ) 37・37 (74) 36・35 (71) 145
 - ⑫ 時松 源蔵(福岡・那珂川立北) 34・39 (73) 35・37 (72) 145

- 女子●
- ① 宮沢 亜衣(京都・京都学園) 37・37 (74) 35・35 (70) 144
 - ② 東 浩子(岡山・勝央) 35・35 (70) 37・37 (74) 144
 - ③ 夫馬 菜月(岐阜・平和) 37・38 (75) 37・35 (72) 147
 - ④ 福田 真未(福岡・沖学園) 38・39 (77) 32・39 (71) 148
 - ⑤ 森井 富(大阪・意岐部) 37・38 (75) 37・37 (74) 149
 - ⑥ 森 美穂(福井・福井) 36・37 (73) 36・41 (77) 150
 - ⑦ 堀 奈津佳(徳島・城西) 39・38 (77) 39・35 (74) 151
 - ⑧ 木戸 侑来(神奈川・横浜学院) 40・40 (80) 35・37 (72) 152
 - ⑨ 渡辺 彩香(静岡・子嵐) 39・38 (77) 39・36 (75) 152
 - ⑩ 藤田 光里(北海道・札幌西岡) 42・38 (80) 38・36 (74) 154



男子の部を制した古田幸希と
 女子の部覇者の宮沢亜衣 (第51回大会)

第52回大会 日 時・平成20年8月8日、9日
 コース・琵琶池ゴルフ倶楽部
 (男子6,566Y・女子6,321Y・いずれもパー72)

- 男子●
- ① 佐藤 大平(兵庫・中山五月台) 34・33 (67) 33・33 (66) 133
 - ② 森杉 大地(奈良・郡山南) 36・35 (71) 30・35 (65) 136
 - ③ 川村 昌弘(三重・四日市港) 32・34 (66) 35・35 (70) 136
 - ④ 山本 豪(兵庫・西落合) 33・34 (67) 33・38 (71) 138
 - ⑤ 須賀 京介(東京・杉並学院) 34・35 (69) 37・34 (71) 140
 - ⑥ 原 周平(香川・香南) 35・33 (68) 34・38 (72) 140
 - ⑦ 浅地 洋佑(東京・杉並学院) 40・35 (75) 33・33 (66) 141
 - ⑧ 時松 源蔵(福岡・那珂北) 34・36 (70) 36・35 (71) 141
 - ⑨ 稲葉 一馬(兵庫・垂水東) 40・33 (73) 33・36 (69) 142
 - ⑩ 渡辺 剛志(福岡・沖学園) 40・35 (75) 33・35 (68) 143
 - ⑪ 奥富 基喜(埼玉・三尻) 37・37 (74) 34・35 (69) 143
 - ⑫ 加藤龍太郎(岡山・旭東) 35・35 (70) 36・37 (73) 143

- 女子●
- ① 比嘉真美子(沖縄・本部) 33・34 (67) 36・36 (72) 139
 - ② 竹村 心映(熊本・東野) 36・37 (73) 35・35 (70) 143
 - ③ 木戸 侑来(神奈川・横浜学院) 34・38 (72) 37・34 (71) 143
 - ④ 飛田 愛理(茨城・双葉台) 38・32 (70) 34・39 (73) 143
 - ⑤ 藤田 光里(北海道・札幌西岡) 39・34 (73) 36・36 (72) 145
 - ⑥ 橋本 遥(愛知・楠) 38・40 (78) 36・34 (70) 148
 - ⑦ 城間 絵梨(福岡・沖学園) 38・36 (74) 34・40 (74) 148
 - ⑧ 鬼頭 桜(愛知・守山北) 34・39 (73) 37・39 (76) 149
 - ⑨ 安田真美子(岡山・岡輝) 37・37 (74) 37・39 (76) 150
 - ⑩ 境原 菜紀(広島・鈴峯女) 37・39 (76) 36・39 (75) 151
 - ⑪ 浜 美咲(徳島・立江) 36・38 (74) 38・39 (77) 151
 - ⑫ 西村 美希(東京・寺島) 36・37 (73) 38・40 (78) 151



男子の部を制した佐藤大平と
 女子の部覇者の比嘉真美子 (第52回大会)

第50回大会 日 時・平成18年8月10日、11日
 コース・ローズベイクントリークラブ
 (男子6,477Y・女子6,052Y・いずれもパー72)

- 男子●
- ① 伊藤 慎吾(三重・常磐) 33・35 (68) 33・35 (68) 136
 - ② 古田 幸希(青森・三沢第一) 36・33 (69) 34・34 (68) 137
 - ③ 森 博貴(三重・木曾岬) 34・38 (72) 34・32 (66) 138
 - ④ 松岡 聖道(福岡・沖学園) 35・35 (70) 35・33 (68) 138
 - ⑤ 石川 遼(埼玉・松伏二) 35・37 (72) 32・35 (67) 139
 - ⑥ 松山 英樹(高知・明徳義塾) 36・35 (71) 33・35 (68) 139
 - ⑦ 高田 聖斗(新潟・城東) 35・34 (69) 36・34 (70) 139
 - ⑧ 上田 翔太(大阪・小阪) 39・33 (72) 34・34 (68) 140
 - ⑨ 森杉 大地(福岡・沖学園) 36・34 (70) 38・33 (71) 141
 - ⑩ 竹内 法実(千葉・市川四) 32・35 (67) 33・41 (74) 141
 - ⑪ 保田 和貴(茨城・土浦三) 36・35 (71) 35・35 (70) 141

- 女子●
- ① 真尾 万里(埼玉・児玉) 34・36 (70) 37・36 (73) 143
 - ② 宮田 綾音(石川・紫錦台) 35・40 (75) 36・33 (69) 144
 - ③ 酒井 美紀(福島・東日大昌平) 37・37 (74) 36・35 (71) 145
 - ④ 小楠 梨紗(静岡・新津) 35・35 (70) 38・37 (75) 145
 - ⑤ 坂口真由希(大阪・高鷲) 38・35 (73) 37・37 (74) 147
 - ⑥ 宮澤 亜衣(京都・京都学園) 37・38 (75) 37・35 (72) 147
 - ⑦ 荒井 舞(福岡・鞍手南) 37・37 (74) 37・38 (75) 149
 - ⑧ 星野 麗香(茨城・茗溪学園) 38・38 (76) 37・37 (74) 150
 - ⑨ 濱本 風紗(高知・明徳義塾) 38・37 (75) 37・38 (75) 150
 - ⑩ 森 美穂(三重・木曾岬) 37・39 (76) 38・37 (75) 151
 - ⑪ 青木瀬令奈(群馬・箱田) 39・39 (78) 34・39 (73) 151
 - ⑫ 東 浩子(岡山・勝央) 38・37 (75) 38・38 (76) 151



個人で優勝した男子・伊藤慎吾と女子・真尾万里は
 そろってガッツポーズ (第50回大会)

団体の部(男子)

第1回大会

日 時・平成5年8月24日
コース・千葉夷隅ゴルフクラブ
(6, 203 Y・パー 72)

- ① 佐野日大(栃木) 242
田中 大介② 79 (41, 38)
金子 朋弘③ 80 (42, 38)
横山 徑③ 83 (45, 38)
※椎名 祐介③ 95 (44, 51)
※山田 亨② 114 (61, 53)
- ② 明大中野 A (東京) 249 ⑩ 日大一 A (東京) 307
③ 小見川 (千葉) 268 ⑪ 立 正 (東京) 307
④ 日 大 (神奈川) 275 ⑫ 明大中野 B (東京) 346
⑤ 千葉日大一 (千葉) 281 ⑬ 京 北 B (東京) 367
⑥ 聖学院 A (東京) 286 ⑭ 聖学院 B (東京) 373
⑦ 京 北 A (東京) 293 日大一 B (東京) 棄権
⑧ 芝浦工大 (東京) 298 松 田 (神奈川) 棄権
⑨ 早稲田実 (東京) 302

第2回大会

日 時・平成6年8月23日
コース・千葉夷隅ゴルフクラブ
(6, 262 Y・パー 72)

- ① 聖学院 A (東京) 267
田部井 篤③ 82 (44, 38)
磯 真弘③ 92 (46, 46)
始沢 達司③ 93 (49, 44)
※皆越 規仁③ 97 (49, 48)
※糸久 泰輔③ 98 (47, 51)
- ② 小見川 A (千葉) 285 ⑩ 聖学院 B (東京) 317
③ 千葉日大一 (千葉) 294 ⑪ 日大一 A (東京) 327
④ 佐野日大 (栃木) 296 ⑫ 立 正 (東京) 346
⑤ 東海大四 (北海道) 296 ⑬ 明大中野 A (東京) 356
⑥ 小見川 B (千葉) 300 ⑭ 日大一 B (東京) 365
⑦ 芝浦工大 (東京) 301 ⑮ 京 北 (東京) 396
⑧ 明大中野 B (東京) 310

第3回大会

日 時・平成7年8月16日
コース・那須野ヶ原カントリークラブ
(6, 260 Y・パー 72)

<男子の部>

- ① 明德義塾(高知) 226
上本 義幸③ 67 (35, 32)
弘井 太郎③ 73 (34, 39)
羽生 成允③ 86 (42, 44)
※吉岡 伸泰③ 102 (50, 52)
- ② 佐野日大 (栃木) 257 ⑩ 聖学院 (東京) 306
③ 小見川 (千葉) 265 ⑪ 日 大 (神奈川) 307
④ 大体大付 (大阪) 267 ⑫ 京 北 (東京) 309
⑤ 千葉日大一 (千葉) 268 ⑬ 芝浦工大 (東京) 311
⑥ 名古屋学院 (愛知) 270 ⑭ 東海大四 (北海道) 320
⑦ 日 大 一 (東京) 285 ⑮ 明大中野 (東京) 327
⑧ 平 安 (京都) 296

<女子の部>

- ① 明德義塾(高知) 276
諸原 弘子③ 86 (44, 42)
真鍋 早彩② 89 (43, 46)
高橋沙衣子③ 101 (49, 52)
※長谷部絵美③ 103 (52, 51)
武蔵野 (東京) 棄権

第4回大会

日 時・平成8年8月17日, 18日
コース・那須野ヶ原カントリークラブ
(6, 260 Y・パー 72)

- ① 明德義塾(高知) 482 (246, 236)
西村 匡史③ (78, 75)
川崎 政志② (82, 80)
渡辺 淳③ (86, 81)
傍士 基② (88, 83)
- ② 佐野日大 (栃木) 501 ⑩ 芝浦工大 (東京) 560
③ 立 正 (東京) 518 ⑪ 千葉日大一 (千葉) 561
④ 日 大 一 (東京) 535 ⑫ 小見川 (千葉) 566
⑤ 日 大 (神奈川) 537 ⑬ 愛知工大付 (愛知) 566
⑥ 名古屋学院 (愛知) 553 ⑭ 京 北 (東京) 593
⑦ 平 安 (京都) 555 ⑮ 暁星国際 (千葉) 615

第5回大会

日 時・平成9年8月3日, 4日
コース・那須野ヶ原カントリークラブ
(6, 106 Y・パー 72)

- ① 明德義塾(高知) 473 (236, 237)
川崎 政志③ (76, 73)
傍士 基③ (82, 80)
河平 英克② (78, 84)
下田 喜喬③ (86, 87)
- ② いわき平二(福島) 495 (240, 255)
古川 敦基③ (83, 80)
古川 智大② (84, 87)
奥山 昂太② (80, 88)
- ③ 千葉日大一(千葉) 520 (254, 266)
金本 貴範③ (83, 86)
池口 伸之③ (89, 88)
村松 孝彦② (85, 92)
椎川 洸② (86, 98)
- ④ 日大一(東京) 522 (258, 264)
吉住 彰康② (85, 84)
室田 佳大② (89, 87)
田口 善久③ (85, 93)
宇戸 充司② (88, 105)
- ⑤ 立 正(東京) 525 (257, 268)
藤城 経真③ (88, 88)
山崎 祐一② (83, 90)
藤川 玲央③ (86, 90)
久我 政毅③ (106, 102)
- ⑥ 平 安 (京都) 542 (277, 265)
⑦ 東海大四 (北海道) 550 (279, 271)
⑧ 冲 学 園 (福岡) 592 (303, 289)
⑨ 小 見 川 (千葉) 598 (306, 292)
⑩ 明大中野 (東京) 639 (317, 322)
⑪ 日 大 (神奈川) 棄権

第6回大会

日時・平成10年8月3日, 4日
コース・那須野ヶ原カントリークラブ
(6, 106 Y・パー72)

- ① 千葉日大一(千葉) 485(241, 244)
村松 孝彦③ (80, 72)
羽生 淳一② (83, 83)
首代 直樹③ (95, 89)
椎川 洸③ (78, 90)
- ② 東海大四(北海道) 489(240, 249)
梅内 寛喜② (78, 81)
深草 元彦③ (74, 82)
河本 光② (88, 86)
- ③ 日大一(東京) 490(243, 247)
吉住 彰康③ (88, 81)
宝田 佳人③ (79, 82)
宇戸 充司③ (83, 84)
大川 浩嗣③ (81, 90)
- ④ 冲学園(福岡) 522(258, 264)
山本 研示③ (86, 85)
田村 三成② (87, 89)
田仲 将也③ (85, 90)
安本 光③ (88, 94)
- ⑤ 小見川(千葉) 530(268, 262)
伊藤 瑞記③ (90, 86)
木村 友哉② (87, 87)
遠藤 寛貴③ (95, 89)
木村 勝俊③ (91, 90)
- ⑥ 立 正 (東京) 531(264, 267)
- ⑦ 明德義塾 (高知) 537(262, 275)
- ⑧ 日 大 (神奈川) 549(281, 268)
- ⑨ 愛工大付 (愛知) 549(270, 279)
- ⑩ 甲 南 (兵庫) 556(271, 285)
- ⑪ 明大中野 (東京) 561(275, 286)
- ⑫ 平 安 (京都) 623(301, 322)

(注) 上位3人の合計ストロークで順位決定



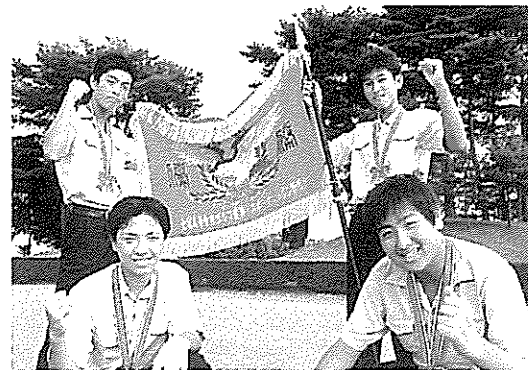
第6回団体の部優勝
千葉日大一(千葉)

第7回大会

日時・平成11年8月10日, 11日
コース・那須野ヶ原カントリークラブ
(6, 222 Y・パー72)

- ① 千葉日大一(千葉) 466(230, 236)
羽生 淳一③ (72, 75)
岡田 卓麻① (79, 76)
鈴木 豪② (79, 85)
岩淵 直亮③ (88, 85)
- ② 冲学園(福岡) 492(243, 249)
田村 三成③ (81, 76)
吉永 久矩② (80, 85)
安本 力② (84, 88)
吉永 大祐③ (82, 92)
- ③ 日大一(東京) 505(257, 248)
渡邊 優登① (80, 75)
井上 法紀③ (85, 82)
田中 雄大③ (106, 91)
原田優一郎③ (92, 105)
- ④ 名古屋学院(愛知) 507(256, 251)
田口正太郎③ (81, 75)
関 茂生③ (86, 83)
片山真之介③ (94, 93)
今井 豊大③ (89, 96)
- ⑤ 明德義塾(高知) 522(261, 261)
申 雄② (86, 80)
萩野 俵多② (84, 90)
井原 大賀③ (94, 91)
古味 重威② (91, 93)
- ⑥ 立 正 (東京) 522(264, 258)
- ⑦ 小見川 (千葉) 523(274, 249)
- ⑧ 東海大四 (北海道) 526(269, 257)
- ⑨ 明大中野 (東京) 528(268, 260)
- ⑩ 日 大 中 (神奈川) 529(255, 274)
- ⑪ 愛知工大付 (愛知) 534(266, 268)
- ⑫ 四天王寺曳丘 (大阪) 539(271, 268)
- ⑬ 高 輪 (東京) 600(307, 293)

(注) 上位3人の合計ストロークで順位決定



2連覇を達成した千葉日大一(千葉) [第7回大会]

注: ○印は学年

第8回大会

日時・平成12年8月13日, 14日
コース・那須野ヶ原カントリークラブ
(6, 356 Y・パー72)

- ① 冲学園(福岡) 461(237, 224)
諸藤 将次③ (73, 72)
工藤亜沙希③ (84, 74)
安本 力③ (82, 78)
吉永 久矩③ (82, 80)
- ② 千葉日大一(千葉) 462(232, 230)
岡田 卓麻② (71, 74)
鈴木 豪③ (79, 76)
狩野 拓也① (82, 80)
佐藤 勝晃③ (82, 89)
- ③ 明德義塾(高知) 491(243, 248)
申 雄③ (73, 77)
古味 重威③ (84, 82)
萩野 俵多③ (86, 89)
藤原 元② (93, 93)
- ④ 小見川(千葉) 511(256, 255)
伊藤 勇氣① (80, 81)
篠塚 直彦② (77, 82)
菅谷雄一郎③ (99, 92)
木村 優斗② (99, 99)
- ⑤ 立正(東京) 515(254, 261)
森澤 成光① (92, 85)
利 尚山③ (88, 87)
伊藤 禎朗③ (86, 89)
白戸 翔③ (80, 91)
- ⑥ 日 大 一 (東京) 524(271, 253)
- ⑦ 近 大 付 (大阪) 538(260, 278)
- ⑧ 聖 学 院 (東京) 557(283, 274)
- ⑨ 報徳学園 (兵庫) 558(278, 280)
- ⑩ 明大中野 (東京) 561(278, 283)
- ⑪ 京 北 (東京) 564(287, 277)
- ⑫ 甲 南 (兵庫) 568(284, 284)
- ⑬ 愛知工大付 (愛知) 643(318, 325)

※上位3人の合計(ストローク)で順位決定



初優勝を飾った冲学園(福岡) [第8回大会]

注: ○印は学年

第9回大会

日時・平成13年8月8日, 9日
コース・富士カントリー明智ゴルフ倶楽部
明智ゴルフ場・中コース
(6, 374 Y・パー72)

- ① 冲学園(福岡) 450(228, 222)
森 正尚③ (75, 73)
渡辺 陽平③ (76, 74)
満吉 康輔③ (77, 75)
松岡 勇作① (80, 80)
- ② 千葉日大一(千葉) 458(230, 228)
岡田 卓麻③ (73, 73)
狩野 拓也② (78, 76)
服部 大輔① (79, 79)
萩原 大嗣③ (87, 79)
- ③ 小見川(千葉) 483(244, 239)
篠塚 直彦③ (75, 73)
伊藤 勇氣② (73, 74)
遠藤 英貴② (102, 92)
木村 優斗③ (96, 94)
- ④ 明德義塾(高知) 494(247, 247)
藤原 元③ (81, 82)
浅井 長人③ (83, 82)
石島 紅③ (83, 83)
笹岡 宣裕② (83, 88)
- ⑤ 立正(東京) 500(249, 251)
森澤 成光② (79, 77)
吉沢慎太郎② (84, 81)
笠川 彰③ (86, 93)
桜井 大介③ (94, 96)
- ⑥ 日 大 一 (東京) 513(256, 257)
- ⑦ 四天王寺羽曳丘 (大阪) 513(252, 261)
- ⑧ 東海大四 (北海道) 529(255, 274)
- ⑨ 聖 学 院 (東京) 531(267, 264)
- ⑩ 東 海 (愛知) 532(270, 262)
- ⑪ 近 大 付 (大阪) 537(276, 261)
- ⑫ 平 安 (京都) 550(285, 265)
- ⑬ 甲 南 (兵庫) 563(285, 278)
- ⑭ 名 古 屋 (愛知) 579(301, 278)
- ⑮ 京 北 (東京) 594(292, 302)

※上位3人の合計(ストローク)で順位決定



2連覇を達成した冲学園(福岡) [第9回大会]

注: ○印は学年

第10回大会

日時・平成14年8月7日、8日
 コース・東那須カントリークラブ
 (6,390Y・パー72)

- ① 冲学園(福岡) 434(215、219)
 松岡 源基③ (72、72)
 松岡 勇作② (72、75)
 江口 幸輝③ (71、77)
 辻丸 侑樹② (81、72)
- ② 立正(東京) 456(235、221)
 森澤 成光③ (78、67)
 吉沢慎太郎③ (74、78)
 野田 早人① (85、76)
 伊澤 亮治③ (83、84)
- ③ 四天王寺羽曳丘(大阪) 461(237、224)
 木村 裕太③ (73、71)
 島野 隆史③ (82、75)
 田中 一輝② (82、78)
- ④ 千葉日大一(千葉) 467(238、229)
 服部 大輔② (76、70)
 狩野 拓也③ (78、72)
 神谷 幸宏③ (84、87)
 川島 正嵩③ (90、94)
- ⑤ 東京学館浦安(千葉) 474(238、236)
 浅山 哲哉③ (75、75)
 肥田 佳大③ (77、83)
 水上 龍樹② (86、78)
 木戸口 隆③ (98、93)
- ⑥ 埼玉栄 (埼玉) 479(239、240)
- ⑦ 平安 (京都) 489(243、246)
- ⑧ 明大中野 (東京) 494(243、251)
- ⑨ 近大付 (大阪) 502(259、243)
- ⑩ 東海 (愛知) 509(253、256)
- ⑪ 日大中 (神奈川) 530(266、264)
- ⑫ 京都学園 (京都) 531(268、263)
- ⑬ 名古屋 (愛知) 532(261、271)
- 失格 愛知工大付(愛知) — (288、—)

※上位3人の合計(ストローク)で順位決定



史上2校目の3連覇を成し遂げた冲学園(福岡) [第10回大会]

第11回大会

日時・平成15年8月11日、12日
 コース・那須野ヶ原カントリークラブ
 (6,507Y・パー72)

- ① 冲学園(福岡) 445(223、222)
 松岡 勇作③ (66、74)
 辻丸 侑樹③ (76、70)
 辻丸 翔一① (81、80)
 小林 丈大② (84、78)
- ② 埼玉平成(埼玉) 487(243、244)
 前田 勇③ (75、74)
 三上 諒③ (83、78)
 谷口祥太郎① (85、92)
 西岡登志明② (99、94)
- ③ 四天王寺羽曳丘(大阪) 497(248、249)
 田中 一輝③ (74、79)
 小藤 貴文③ (84、86)
 新谷 直生③ (90、84)
 諸泉 芳③ (100、93)
- ④ 立正(東京) 499(243、256)
 野田 早人② (75、78)
 富松 和彦③ (82、84)
 府川 航② (86、94)
 桜井 崇弘① (90、94)
- ⑤ 千葉日大一(千葉) 505(248、257)
 服部 大輔③ (69、74)
 稲毛康二郎② (87、87)
 犬嶋 慧③ (92、100)
 石井 秀昌② (100、96)
- ⑥ 京都学園 (京都) 507(255、252)
- ⑦ 明德義塾 (高知) 508(250、258)
- ⑧ 多古 (千葉) 509(255、254)
- ⑨ 高知 (高知) 515(253、262)
- ⑩ 近大付 (大阪) 515(253、262)
- ⑪ 修徳 (東京) 515(259、256)
- ⑫ 平安 (京都) 549(285、264)
- ⑬ 名古屋 (愛知) 563(278、285)
- ⑭ 東海 (愛知) 568(289、279)
- ⑮ 星城 (愛知) 658(328、330)
- 失格 埼玉栄 (埼玉) — (283、—)

※上位3人の合計(ストローク)で順位決定



史上初の4連覇を達成した冲学園(福岡) [第11回大会]

第12回大会

日時・平成16年8月3日、4日
 コース・かごしま空港カントリークラブ
 (6,775Y・パー72)

- ① 冲学園(福岡) 449(227、222)
 佐藤 和紀③ (76、72)
 小林 丈大③ (74、75)
 辻丸 翔一② (77、75)
 松岡 聖道① (82、82)
- ② 立正(東京) 466(231、235)
 野田 早人③ (69、74)
 桜井 崇弘② (81、77)
 府川 航③ (81、84)
 大野 昌彦③ (85、91)
- ③ 埼玉平成(埼玉) 485(248、237)
 佐藤 宇紘① (76、75)
 谷口祥太郎② (84、81)
 西岡登志明③ (90、81)
 三木 龍馬② (85、94)
- ④ 明德義塾(高知) 490(247、243)
 真利 康一③ (80、82)
 石島 財③ (82、80)
 谷川 裕亮② (86、81)
 峯森 完太② (85、94)
- ⑤ 東海(愛知) 498(254、244)
 高島 幹展③ (81、81)
 奥村 真之③ (84、82)
 丹羽 雄大③ (89、81)
 平手 友章③ (90、90)
- ⑥ 千葉日大一 (千葉) 506(256、250)
- ⑦ 日大山形 (山形) 506(266、240)
- ⑧ 京都学園 (京都) 521(266、255)
- ⑨ 名古屋 (愛知) 522(274、248)
- ⑩ 多古 (千葉) 525(263、262)
- ⑪ 日大一 (東京) 530(267、263)
- ⑫ 甲南 (兵庫) 543(277、266)
- ⑬ 小見川 (千葉) 544(280、264)

※上位3人の合計(ストローク)で順位決定。
 同数の場合は最終日の4人の合計(ストローク)による。



大会新記録となる5連覇をなしとげ喜ぶ冲学園選手たち [第12回大会]

第13回大会

日時・平成17年8月12日、13日
 コース・那須野ヶ原カントリークラブ浮間・那珂川コース
 (6,417Y・パー72)

- ① 冲学園(福岡) 447(221、226)
 松岡 聖道② (76、76)
 植田真太郎① (79、82)
 辻丸 翔一③ (77、76)
 佐藤 和紀③ (68、74)
- ② 明德義塾(高知) 448(233、215)
 松山 英樹② (75、71)
 川原 龍浩② (74、68)
 峯森 完太③ (84、77)
 片野 佑紀② (86、76)
- ③ 甲南(兵庫) 471(238、233)
 三崎 勝弘③ (83、80)
 安藤 啓介③ (78、84)
 末陰 道久③ (82、77)
 増本 有作③ (78、76)
- ④ 千葉日大一(千葉) 480(238、242)
 富沢 拓馬③ (76、85)
 服部 昇平② (78、87)
 大井 勇輝② (84、80)
 佐藤 洋一③ (90、77)
- ⑤ 佐野日大(栃木) 484(248、236)
 山野井賢祐② (76、71)
 森本 恩星② (83、76)
 新井 大輝② (96、94)
 柴崎 拓馬③ (89、89)
- ⑥ 日大一 (東京) 484(243、241)
- ⑦ 立正 (東京) 503(249、254)
- ⑧ 多古 (千葉) 510(255、255)
- ⑨ 愛知 (愛知) 511(254、257)
- ⑩ 修徳 (東京) 511(258、253)
- ⑪ 埼玉平成 (埼玉) 511(248、263)
- ⑫ 福井工大付福井(福井) 519(259、260)
- ⑬ 名古屋 (愛知) 521(260、261)
- ⑭ 京都学園 (京都) 543(276、267)
- ⑮ 近大付 (大阪) 564(282、282)
- ⑯ 高知 (高知) 688(365、323)

※上位3人の合計ストロークで順位決定。
 同数の場合は最終日の4人の合計(ストローク)による。



2005年8月 団体の部6連覇を果たした冲学園メンバー [第13回大会]

第14回大会

日時・平成18年8月7日, 8日
コース・ローズベイクントリークラブ
(6,477Y・パー72)

- ① 沖学園(福岡) 424(211, 213)
森杉 大地① (68, 66)
植田真太郎② (72, 72)
長谷川祥平① (74, 75)
松岡 聖道③ (71, 76)
- ② 杉並学院(東京) 438(217, 221)
浅地 洋佑① (74, 71)
須賀 京介① (75, 77)
中里光之介② (73, 73)
佐藤 有生② (70, 77)
- ③ 佐野日大(栃木) 441(225, 216)
森本 恩星③ (72, 73)
元木 雄基② (79, 73)
佐藤 礼政① (81, 76)
山野井賢祐③ (74, 70)
- ④ 明德義塾(高知) 442(221, 221)
川原 龍浩③ (68, 75)
松山 英樹③ (73, 70)
片野 佑紀③ (84, 79)
大野 由真② (80, 76)
- ⑤ 京都学園(京都) 448(229, 219)
池見 卓哉③ (79, 76)
田村 康太② (77, 75)
伊藤 太智② (86, 86)
青野憲太郎① (73, 68)
- ⑥ 千葉日大一 (千葉) 470(237, 233)
- ⑦ 多 古 (千葉) 476(238, 238)
- ⑧ 日 大 一 (東京) 484(239, 245)
- ⑨ 甲 南 (兵庫) 487(247, 240)
- ⑩ 名古屋 (愛知) 489(249, 240)
- ⑪ 埼玉栄 (埼玉) 491(250, 241)
- ⑫ 高 知 (高知) 520(259, 261)
- ⑬ 報徳学園 (兵庫) 534(266, 268)
- ⑭ 星 城 (愛知) 550(264, 286)
- ⑮ 東 海 (愛知) 571(285, 286)
- ⑯ 滝 川 二 (兵庫) 579(291, 288)

※上位3人の合計ストロークで順位決定。
同数の場合は最終日の4人の合計(ストローク)による。



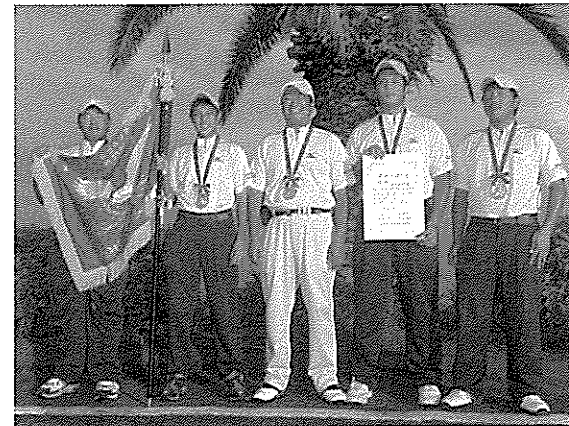
団体の部7連覇を果たした沖学園メンバー
[第14回大会]

第15回大会

日時・平成19年8月6日, 7日
コース・土佐カントリークラブ
(6,509Y・パー72)

- ① 沖学園(福岡) 439(220, 219)
渡辺 剛志② (78, 75)
尾崎 秀平① (83, 76)
植田真太郎③ (69, 71)
長谷川祥平② (73, 73)
- ② 杉並学院(東京) 448(228, 220)
浅地 洋佑② (74, 75)
須賀 京介② (78, 78)
中里光之介③ (76, 74)
佐藤 有生③ (79, 71)
- ③ 明德義塾(高知) 476(238, 238)
大野 由真③ (77, 76)
松崎 聖也③ (81, 81)
早藤 翔太② (80, 81)
天野 展孝② (93, 95)
- ④ コ ザ(沖縄) 478(231, 247)
狩俣 昇平③ (70, 76)
大宜見賢人③ (77, 80)
仲村春之介① (84, 91)
外間 陸常① (107, 97)
- ⑤ 多 古(千葉) 479(235, 244)
菅沢 亮太③ (85, 90)
土井 亮佑③ (78, 84)
伊藤 翼③ (87, 82)
伊藤 達哉③ (72, 78)
- ⑥ 甲 南 (兵庫) 481(241, 240)
- ⑦ 麗 沢 (千葉) 482(245, 237)
- ⑧ 埼玉栄 (埼玉) 482(247, 235)
- ⑨ 法 政 (東京) 499(253, 246)
- ⑩ 佐野日大 (栃木) 509(245, 264)
- ⑪ 東 海 (愛知) 536(273, 263)
- ⑫ 星 城 (愛知) 542(271, 271)
- ⑬ 高 知 (高知) 549(279, 270)
- ⑭ 奈良育英 (奈良) 552(277, 275)
- ⑮ 近代付 (大阪) 558(282, 276)

※上位3人の合計ストロークで順位決定。
同数の場合は最終日の4人の合計(ストローク)による。



V8を達成した沖学園 [第15回大会]

第16回大会

日時・平成20年8月5日, 6日
コース・琵琶池ゴルフ倶楽部
(6,566Y・パー72)

- ① 沖学園(福岡) 422(208, 214)
渡辺 剛志③ (78, 71)
三重野里斗② (70, 71)
坂牧 一静② (70, 73)
長谷川祥平③ (68, 72)
- ② 杉並学院(東京) 429(210, 219)
加治屋舜介① (78, 77)
正野 有道③ (70, 85)
須賀 京介③ (74, 76)
浅地 洋佑③ (66, 66)
- ③ 日章学園(宮崎) 447(223, 224)
北川 和雅① (79, 85)
金子 純也② (80, 78)
中山 龍馬② (74, 76)
香妻陣一朗② (70, 70)
- ④ 京都学園(京都) 471(241, 230)
池見 和輝② (85, 76)
朝日 優磨② (84, 86)
中野 雄斗① (85, 82)
青野憲太郎③ (72, 72)
- ⑤ 麗沢(千葉) 472(242, 230)
榎山 卓哉③ (81, 74)
斉藤 明寛③ (82, 88)
石毛 巧② (79, 77)
斉藤 翼③ (83, 79)
- ⑥ 奈良育英 (奈良) 474(234, 240)
- ⑦ 立教池袋 (東京) 480(246, 234)
- ⑧ 埼玉栄 (埼玉) 480(243, 237)
- ⑨ 日 大 中 (神奈川) 482(247, 235)
- ⑩ 甲 南 (兵庫) 492(244, 248)
- ⑪ 日 大 一 (東京) 493(251, 242)
- ⑫ 東 海 (愛知) 502(254, 248)
- ⑬ 福井工大付 (福井) 521(257, 264)

※上位3人の合計ストロークで順位決定。
同数の場合は最終日の4人の合計(ストローク)による。



V9を達成した沖学園 [第16回大会]

第1回大会

日時・平成20年8月5日, 6日
コース・琵琶池ゴルフ倶楽部
(6,321Y・パー72)

- ① 沖学園(福岡) 453(223, 230)
佐伯 朱音① (73, 74)
徳永 琴③ (75, 80)
吉村 由莉② (78, 87)
城間 絵梨③ (75, 76)
- ② 京都学園(京都) 471(227, 244)
有本ひかり② (75, 82)
佐野 愛① (75, 76)
田村つかさ③ (83, 86)
辻 美咲③ (77, 88)
- ③ 杉並学院(東京) 478(235, 243)
鈴木ありさ② (80, 86)
村田 理沙① (77, 80)
岡田 悠里② (78, 77)
安部ゆいか① (85, 90)
- ④ 明德義塾(高知) 490(243, 247)
田所菜里香③ (88, 85)
森田 実希③ (89, 93)
小山 萌子③ (79, 88)
和田 芽織③ (76, 74)
- ⑤ 札幌薫舞(北海道) 493(249, 244)
沢口 愛里③ (81, 80)
本間 美慧② (86, 79)
福井なるみ③ (82, 85)
- ⑥ 友部 二 (茨城) 494(243, 251)
- ⑦ 埼玉栄 (埼玉) 569(292, 277)

※上位3人の合計ストロークで順位決定。



沖学園 [第1回大会]



大会入賞者一覧

全国高等学校ゴルフ選手権春季大会・中学生大会
の歴代の入賞者の栄誉をたたえ、未永く記念する
ために、ここにその名前を記します。

第1回大会 とき 1981年4月3日 ところ ダンロップゴルフコース (5787メートル/パー72)

〔高校男子の部〕

①金田 秀龍 (P L 学園③)	37	34	71
②高橋 正博 (防 府③)	36	35	71
③米山 剛 (相 洋②)	38	36	74
④下井 昌史 (平 安③)	39	37	76
⑤依田 祐輔 (高 知 工①)	40	37	77
⑤新井 真一 (千葉日大③)	40	37	77
⑤楠本 研 (平 安①)	37	40	77
⑧瀬畑 宏治 (明 野①)	39	39	78
⑧名取 秀生 (修 徳③)	39	39	78
⑧植松 辰男 (石 神 井③)	41	37	78
⑧河野 竜也 (P L 学園②)	40	38	78

〔中学男子の部〕

①川岸 良兼 (小 松 中 海③)	39	37	76
②手嶋 多一 (香 春①)	37	40	77
③高貝 良樹 (川 西 緑 台②)	39	42	81
④飯塚信太郎 (国 府 津②)	39	43	82
⑤伴 樹一 (柳 沢③)	40	42	82

〔女子の部〕

①中田 朱美 (愛国学園高③)	41	39	80
②文平 京恵 (家政学園高①)	39	43	82
③伊藤 朝代 (外 苑 中②)	44	42	86
④喜多 麻子 (日 野 中③)	43	45	88
⑤辻 典江 (光 華 高 園②)	47	44	91

※プレーオフの結果、金田 (P L) が優勝

第2回大会 とき 1982年4月2日 ところ ダンロップゴルフコース (5787メートル/パー72)

〔高校男子の部〕

①青山 祐之 (結 城 一③)	37	37	74
②古木 真二 (向 上②)	39	38	77
③松尾 栄士 (平 安③)	42	36	78
③玉井 弘之 (P L 学園③)	37	41	78
⑤高岡 克彦 (P L 学園②)	38	41	79
⑤愛宕嘉寿夫 (近 大 付③)	40	39	79
⑤梅本 佳則 (西 浦③)	37	42	79
⑤川連 秀彦 (城 北③)	40	39	79
⑤森田 直樹 (明 星 学 園③)	38	41	79
⑩倉本 泰信 (瀬 戸 内②)	37	43	80
⑩本多 義隆 (瀬 戸 内①)	41	39	80
⑩芹沢 大介 (日 大③)	36	44	80

〔中学男子の部〕

①佐藤 英明 (伊 藤②)	37	40	77
②手嶋 多一 (香 春②)	42	37	79
③高貝 良樹 (川 西 緑 台③)	42	41	83
③南川 拓也 (貝 塚 三③)	44	39	83
③野上 浩一 (木 崎③)	38	45	83

〔女子の部〕

①谷 弘恵 (日大桜丘高②)	41	42	83
②文平 京恵 (家政学園高②)	42	45	87
③浜田 由佳 (P L 学園高②)	43	47	90
④戸川 香 (京 都 女 高③)	46	45	91
⑤伊藤 朝代 (外 苑 中③)	45	47	92

第3回大会 とき 1983年4月1日 ところ ダンロップゴルフコース (5787メートル/パー72)

〔高校男子の部〕

①川岸 良兼 (小 松 明 峰②)	39	35	74
②伊沢 利光 (日 体 荏 原①)	37	39	76
③依田 祐輔 (高 知 工③)	38	39	77
④渡辺弘太郎 (安 田 学 園③)	38	40	78
⑤本多 義隆 (瀬 戸 内②)	42	37	79
⑥楠本 研 (平 安③)	36	44	80
⑥荒井 準人 (P L 学園③)	42	38	80
⑥高岡 克彦 (P L 学園③)	36	44	80
⑥竹安 浩二 (瀬 戸 内①)	36	44	80
⑩塙 秀幸 (堀 越 学 園③)	38	43	81

〔中学男子の部〕

①手嶋 多一 (香 春③)	43	35	78
②紺谷 三大 (城 乾③)	42	39	81
②丸山 茂樹 (下 貝 塚②)	38	43	81
②佐藤 英明 (品 川 伊 藤③)	43	38	81
⑤菅生 英男 (加 美 南③)	43	42	85
⑤西垣 嘉人 (蜂 ケ 岡③)	46	39	85

〔女子の部〕

①文平 友恵 (修 学 院 中③)	40	43	83
②橋本 愛子 (鳴 門 高①)	41	46	87
②久松由里子 (上 板 一 中③)	42	45	87
④谷 弘恵 (日大桜丘高③)	44	44	88
⑤文平 京恵 (家政学園高③)	40	50	90

第4回大会 とき 1984年3月30日 ところ 宇治田原カントリー倶楽部 (5896メートル/パー72)

〔高校男子の部〕

①佐藤 英明 (日 体 荏 原①)	33	37	70
②高貝 良樹 (川 西 緑 台②)	34	37	71
③杉山 直也 (成 蹊②)	38	34	72
④川岸 良兼 (小 松 明 峰②)	36	37	73
④鈴木 享 (名 古 屋 電 気②)	36	37	73
⑥北川 裕規 (平 安②)	36	38	74
⑥古賀 盛道 (佐 賀 学 園②)	37	37	74
⑧西川 哲 (日 体 荏 原①)	40	35	75
⑨南川 拓也 (佐 野②)	38	38	76
⑨小西 政臣 (埼 玉 栄②)	38	38	76
⑨山内 健司 (早 稲 田②)	41	35	76

〔中学男子の部〕

①丸山 茂樹 (下 貝 塚③)	34	37	71
②中川 利一 (明 大 中 野③)	42	35	77
③原口 秀樹 (春 日 西③)	40	40	80
④加藤 雅成 (曾 我②)	40	42	82
⑤阿部 益大 (荒 尾 四③)	43	40	83
⑤桑原 克典 (訓 原③)	39	44	83
⑤松垣 繁正 (箕 面 四①)	40	43	83
⑤小林 幸夫 (嵯 峨①)	41	42	83

〔女子の部〕

①橋本 愛子 (鳴 門 高②)	38	37	75
②原田 香里 (平 安 女 高③)	37	39	76
③文平 友恵 (鴨 沂 高①)	39	38	77
④久松由里子 (埼 玉 栄 高①)	40	39	79
⑤石川 恵 (名 商 大 付 高③)	40	41	81
⑤角屋真実子 (磯 島 高①)	41	40	81
⑤木原 智絵 (三 田 尻 女 高②)	43	38	81

第5回大会 とき 1985年4月2日 ところ 信楽カントリー倶楽部 田代コース (5899メートル/パー72)

〔高校男子の部〕

①北嶋 泰介 (P L 学園③)	35	37	72
②西川 哲 (日 体 荏 原②)	37	36	73
②高貝 良樹 (川 西 緑 台③)	37	36	73
④小達 敏昭 (関 東 学 院③)	37	37	74
⑤伊沢 利光 (日 体 荏 原③)	38	37	75
⑤野上 浩一 (埼 玉 栄③)	37	38	75
⑦竹安 浩二 (瀬 戸 内③)	37	39	76
⑦杉山 直也 (成 蹊③)	35	41	76
⑦佐々間健一 (松 戸 秋 山③)	38	38	76
⑦堀川 昌利 (本 郷 工③)	40	36	76

〔高校女子の部〕

①木村 敏美 (堀 越②)	39	36	75
②橋本 愛子 (鳴 門③)	39	37	76
②服部 道子 (淑 徳②)	38	38	76
④文平 友恵 (鴨 沂②)	37	40	77
⑤木原 智絵 (三 田 尻 女③)	41	42	83

〔中学男子の部〕

①石川 淳一 (末 吉③)	36	38	74
②米倉 和良 (折 尾①)	37	39	76
③松垣 繁正 (箕 面 四②)	38	40	78
③三橋 隆明 (久 井②)	37	41	78
⑤津田 龍司 (栗 陵③)	37	42	79

〔中学女子の部〕

①平瀬真由美 (北 部③)	41	37	78
②福島沙和佳 (練 馬③)	46	45	91
③石黒裕季子 (金 城 学 園②)	43	49	92

第6回大会 と き 1986年4月1日
 ところ 信楽カントリー倶楽部 田代コース (5899メートル/パー72)

〔高校男子の部〕				〔高校女子の部〕			
①丸山 茂樹 (日体荏原①)	36	32	68	①文平 友恵 (鴨 沂②)	37	38	75
②菅生 英男 (平安②)	35	36	71	②平瀬真由美 (熊 本①)	38	37	75
③桑原 克典 (愛 知①)	36	36	72	③服部 道子 (愛 知 淑 徳②)	41	36	77
④深堀圭一郎 (明大 中野②)	37	36	73	④角屋真実子 (磯 島②)	39	41	80
⑤西川 哲 (日体荏原②)	38	37	75	④木村 敏美 (堀 越②)	38	42	80
⑤紺谷 三大 (東洋大姫路②)	36	39	75	〔中学男子の部〕			
⑤亀江 忠 (日大 桜丘②)	37	38	75	①岡崎 真平 (規 田②)	37	34	71
⑧追中 幹生 (瀬 戸 内②)	38	38	76	②三橋 隆明 (久 井③)	36	37	73
⑧内海 幸廣 (神 戸 工②)	37	39	76	②三橋 達也 (久 井①)	35	38	73
⑧武田 信之 (明大 中野①)	37	39	76	④山口 治 (八 大③)	39	35	74
⑧中川 利一 (明大 中野①)	39	37	76	④米倉 和良 (折 尾②)	39	35	74
				〔中学女子の部〕			
				①板垣真由美 (西 合 志 南②)	40	39	79
				②平田 貴美 (水 野②)	40	41	81
				③小久保由美 (玉 井②)	40	43	83
				③四本 章恵 (城 星 学 園③)	42	41	83

第9回大会 と き 1989年4月4日、5日
 ところ 信楽カントリー倶楽部 杉山コース (高校男子 北・東 6994ヤード/パー72
 中学男子・女子 東・西 6217ヤード/パー72)

〔高校男子の部〕				〔高校女子の部〕			
①横田 真一 (茨・水城②)	75	77=	152	①高村 亜紀 (熊・熊本中央女①)	81	77=	158
②浅野 慶一 (大阪・PL学園②)	78	74=	152	②芳賀ゆきよ (愛知・藤ノ花①)	79	80=	159
③関 慧 植 (韓・ソウル①)	75	78=	153	②板垣真由美 (熊・鎮西②)	83	76=	159
④林 大作 (大阪・大阪桐蔭②)	81	73=	154	④永石 美香 (大阪・香里丘②)	87	74=	161
④山田 佳彦 (愛知・名電②)	76	78=	154	⑤大島 幸子 (福岡・古賀②)	81	84=	165
⑥野上 貴夫 (福・福工大②)	79	76=	155	〔中学男子の部〕			
⑥三橋 達也 (京・平安①)	78	77=	155	①山本 元成 (京・春日丘③)	77	74=	151
⑧幸村 貴夫 (愛知・愛知②)	79	77=	156	②久田 謙 (東・啓明②)	77	76=	153
⑨小川 琢也 (宮城・東北②)	81	76=	157	③杉本 周作 (大阪・住道③)	79	77=	156
⑨井出口正一 (熊・水俣①)	80	77=	157	④森 貴之輔 (群・太田西③)	81	77=	158
⑨牧坂 考作 (福岡・大牟田南②)	76	81=	157	④近藤 規生 (愛知・南部③)	80	78=	158
⑨片山 晋吾 (茨・水城①)	78	79=	157	〔中学女子の部〕			
				①大久保由嘉 (岩・山ノ目③)	84	82=	166
				②戸田 陽子 (高・明德義塾②)	84	83=	167
				③平川 恵美 (大分・城南②)	93	86=	179

第7回大会 と き 1987年3月31日
 ところ 信楽カントリー倶楽部 田代コース (6541メートル/パー72)

〔高校男子の部〕				〔高校女子の部〕			
①丸山 茂樹 (日体荏原②)	33	36	69	①平瀬真由美 (熊 本市 立②)	40	42	82
②石川 淳一 (目 黒②)	36	40	76	②四本 章恵 (城 星 学 園①)	42	41	83
③鉾納 春紀 (平安②)	40	37	77	③石黒裕季子 (金 城 学 園①)	38	46	84
③桑原 克典 (愛 知②)	37	40	77	④土屋 陽子 (日 体 桜 葉②)	45	41	86
⑤伊藤 浩二 (瀬 戸 内②)	40	38	78	⑤北島 順子 (小 林 商②)	48	42	90
⑤西内 公一 (山 田②)	41	37	78	〔中学男子の部〕			
⑤小倉 雅人 (日 大 一②)	41	37	78	①松垣 繁正 (箕 面 四③)	38	36	74
⑤三橋 隆明 (久 井①)	39	39	78	②林 大作 (石 切③)	38	37	75
⑤中川 利一 (明大 中野②)	38	40	78	③野村 保文 (双 ケ 丘③)	38	38	76
⑤喜多 正一 (P L 学 園②)	36	42	78	④田中 勝也 (松 阪 久 保③)	37	40	77
				④今野 康晴 (恵 那 西①)	40	37	77
				〔中学女子の部〕			
				①板垣真由美 (西 合 志 南③)	43	43	86
				②藤野 織絵 (山 口 ・ 灘①)	44	44	88
				③高村 亜紀 (京 陵②)	45	44	89

第10回大会 と き 1990年4月3日、4日
 ところ 信楽カントリー倶楽部 杉山コース (高校男子 北・東 6994ヤード/パー72
 中学男子・女子 東・西 6217ヤード/パー72)

〔高校男子の部〕				〔高校女子の部〕			
①片山 晋吾 (茨・水城②)	72	75=	147	①高村 亜紀 (熊・熊本中央女②)	72	77=	149
②関 慧 植 (韓・ソウル①)	77	75=	152	②福嶋 晃子 (神・白鷺女①)	79	83=	162
③長曾 由実 (広・広陵②)	77	76=	153	③久保 樹乃 (千・天羽①)	81	83=	164
③神山 隆志 (東・日体荏原②)	77	76=	153	④今井ゆかり (愛知・津島女①)	82	83=	165
③石川 康徳 (栃・日光②)	75	78=	153	⑤柴田 陵子 (和・県和商②)	79	87=	166
③池田 誠 (香・香川西②)	75	78=	153	⑤大久保由嘉 (岩・一関商工①)	76	90=	166
⑦三橋 達也 (京・平安②)	78	76=	154	〔中学男子の部〕			
⑦小島 礼志 (広・瀬戸内②)	75	79=	154	①原口 鉄也 (和・那智③)	69	72=	141
⑦田辺 元 (広・香里丘②)	75	79=	154	②津田 猛 (奈・生駒上③)	71	73=	144
⑩森 忍 (広・広陵②)	79	76=	155	③久田 謙 (東・啓明③)	71	74=	145
⑩宮本 勝昌 (茨・水城②)	79	76=	155	④国吉 博一 (沖・石垣②)	72	75=	147
⑩横尾 要 (千・学館浦安②)	78	77=	155	⑤朴 兌 原 (韓・ソウル③)	74	77=	151
⑩斉藤 優希 (茨・水城②)	77	78=	155	⑤原田 周治 (広・江波③)	76	75=	151
				〔中学女子の部〕			
				①戸田 陽子 (奈・平群③)	78	83=	161
				②菊地あつ子 (東・若林②)	84	84=	168
				③中島 真弓 (山梨・山梨英和①)	86	86=	172

第8回大会 と き 1988年3月31日、4月1日
 ところ 信楽カントリー倶楽部 杉山コース (高校男子 10283ヤード/パー108
 中学男子・女子 6289ヤード/パー72)

〔高校男子の部〕				〔高校女子の部〕			
①佐藤 貴士 (水 城②)	35	35	38 108	①川波 由利 (三 井②)	38	36	74
②松垣 繁正 (箕 面 自 由①)	34	36	40 110	②四本 章恵 (城 星 学 園②)	36	39	75
③横田 真一 (水 城①)	36	39	36 111	③板垣真由美 (鎮 西①)	39	37	76
③原口 秀樹 (博 多 工②)	39	35	37 111	④石黒裕季子 (金 城 城②)	39	42	81
③野村 保文 (平 安①)	39	32	40 111	⑤小久保由美 (埼 玉 栄①)	41	41	82
⑥田中 秀道 (瀬 戸 内②)	38	38	36 112	〔中学男子の部〕			
⑥熊谷 則宏 (平 安②)	39	36	37 112	①白浜 浩高 (啓 明 学 園③)	39	33	72
⑥高田 光章 (明大 中野②)	37	39	36 112	②小島 礼志 (古 田③)	34	38	72
⑨牧坂 考作 (大 牟 田 南①)	39	37	37 113	③林 栄作 (石 切②)	37	36	73
⑨米倉 和良 (八 幡 西①)	40	37	36 113	③森 忍 (大 柿③)	36	37	73
⑨山崎 克彦 (水 城②)	39	36	38 113	③佐藤 浩二 (荒 尾 三③)	38	35	73
⑨島田 正士 (P L 学 園①)	37	39	37 113	〔中学女子の部〕			
				①芳賀ゆきよ (豊 橋 南 陽③)	39	38	77
				②高村 亜紀 (京 陵③)	44	38	82
				③大久保由嘉 (山 ノ 目②)	42	42	84
				③藤野 織絵 (山 口 ・ 灘②)	41	43	84

第11回大会 と き 1991年4月2日、3日
 ところ 信楽カントリー倶楽部 杉山コース (高校男子 北・東 7006ヤード/パー72
 中学男子・女子 東・西 6217ヤード/パー72)

〔高校男子の部〕				〔高校女子の部〕			
①高橋 竜彦 (福・沖学園①)	73	79=	152	①福嶋 晃子 (神・白鷺女②)	76	79=	155
②重原 啓利 (茨・水城②)	75	79=	154	②井上真由美 (愛知・津島女①)	77	83=	160
②斉藤 優希 (茨・水城②)	74	80=	154	③山本 智美 (栃・作新学院②)	82	79=	161
④朴 兌 原 (韓・ソウル①)	78	77=	155	④大久保由嘉 (岩・一関商工②)	81	82=	163
④山口 知之 (鹿・川内①)	79	76=	155	⑤坂上 晴美 (愛知・名大付②)	82	83=	165
④近藤 規生 (愛知・愛知②)	77	78=	155	〔中学男子の部〕			
⑦今野 康晴 (千・学館浦安②)	76	81=	157	①国吉 博一 (沖・石垣③)	73	71=	144
⑦植村 一 (鹿・れいめい①)	77	80=	157	②今田 竜二 (広・宮浦②)	76	70=	146
⑨原田 武秀 (神・日大①)	80	78=	158	③中川 勝弥 (大阪・新池③)	72	75=	147
⑨林 栄作 (大阪・大阪桐蔭②)	76	82=	158	④古谷 富広 (神・秦野東②)	74	77=	151
				④山下 晴彦 (福岡・小竹③)	76	75=	151
				〔中学女子の部〕			
				①川崎充津子 (宮崎・宮崎西②)	88	84=	172
				②上本志津佳 (山口・玖珂③)	85	92=	177
				②浜田 亜紀 (兵・桃山台③)	92	85=	177

第12回大会 と き 1992年4月2日、3日
 ところ 信楽カントリー倶楽部 杉山コース (高校男子北・東 7006ヤード/パー-72
 中学男子・女子 東・西 6217ヤード/パー-72)

〔高校男子の部〕

①原口 鉄也 (千・学館浦安②)	78	70=148
②上田 成人 (福岡・行橋②)	75	76=151
③原田 周治 (広・瀬戸内②)	78	74=152
④中村 貴志 (埼・埼玉栄②)	78	77=155
④岩本 高志 (千・学館浦安②)	78	77=155
④高橋 竜彦 (福岡・沖学園②)	75	80=155
④色部 久昭 (千・拓大紅陵②)	77	78=155
④比留間俊光 (神・日大②)	71	84=155
⑨津田 猛 (大阪・大阪桐蔭②)	76	80=156
⑩国吉 博一 (東・日体荏原①)	74	83=157

〔高校女子の部〕

①徐 知 賢 (韓・鳴亭②)	77	76=153
②高村 茶恵 (熊・熊本中央女①)	73	83=156
③菊地あつ子 (東・堀越①)	78	80=158
④坂東 貴代 (愛知・津島女②)	78	82=160
⑤林 佳世子 (大阪・四條畷学①)	84	78=162

〔中学男子の部〕

①米倉憲太郎 (福岡・洩川③)	71	75=146
②近藤 智弘 (愛知・富木島②)	74	74=148
③村上 征司 (大阪・関大一③)	71	78=149
④松垣 豪 (大阪・箕面四③)	74	76=150
⑤田島 創志 (群・片岡③)	77	75=152

〔中学女子の部〕

①韓 熙 圓 (韓・大清①)	75	76=151
②中島 真弓 (山梨・山梨英和③)	75	80=155
③川崎充津子 (宮崎・宮崎西③)	84	82=166

第15回大会 と き 1995年3月30日、31日
 ところ 信楽カントリー倶楽部 杉山コース (高校男子北・東 6806ヤード/パー-72
 中学男子 東・西 6202ヤード/パー-72
 高校・中学女子 北・西 6204ヤード/パー-72)

〔高校男子の部〕

①谷原 秀人 (広・瀬戸内①)	35	37=72
②吉永 智一 (福岡・柳川②)	35	37=72
③今村大志郎 (福岡・沖学園①)	34	38=72
④波当根弓彦 (千・学館浦安②)	39	34=73
④佐藤 崇全 (豪・ヒルズ学園②)	37	36=73
⑥星野 英正 (宮城・仙台育英②)	38	36=74
⑥桜井 秀剛 (千・学館浦安①)	37	37=74
⑧上田 修平 (北・札幌光星②)	34	41=75
⑧西村 至央 (神・横浜②)	38	37=75
⑧室井 憲男 (神・都岡②)	37	38=75
⑧市原 建彦 (茨・水城①)	37	38=75

〔高校女子の部〕

①吉田希美代 (愛知・滝①)	75	76=151
②朴 セリ (韓・公州金星女②)	73	80=153
③韓 熙 圓 (韓・瑞文女子①)	81	74=155
④井戸田圭子 (岐・中京商②)	81	76=157
⑤福嶋 浩子 (神・白鷺女子②)	81	77=158

〔中学男子の部〕

①清田太一郎 (熊・五霊②)	74	75=149
②河瀬 賢史 (静・富塚③)	80	74=154
③中島 雅生 (千・中台③)	80	77=157

〔中学女子の部〕

①竹中 優子 (宮崎・宮崎北③)	88	78=166
②趙 美 賢 (韓・山谷女子②)	86	84=170
②山田 操 (愛知・美川③)	88	82=170

※高校男子の部は悪天候の為、1日競技 (18ホール・ストロークプレー)

第13回大会 と き 1993年4月6日、7日
 ところ 信楽カントリー倶楽部 杉山コース (高校男子北・東 7006ヤード/パー-72
 中学男子・女子 東・西 6217ヤード/パー-72)

〔高校男子の部〕

①松垣 豪 (大阪・箕面自由①)	71	76=147
②小俣裕次郎 (東・日体荏原②)	74	77=151
②辻村 明志 (千・学館浦安②)	78	73=151
④細川 和也 (東・日体荏原②)	81	72=153
⑤松崎 俊一 (茨・水城②)	75	79=154
⑥中川 勝弥 (大阪・興国②)	76	79=155
⑥米倉憲太郎 (長崎・長崎日大①)	76	79=155
⑧三輪 芳久 (岐・中京商①)	76	80=156
⑧小池 正一 (佐・佐賀東②)	76	80=156
⑧木村 友栄 (宮城・東北②)	79	77=156
⑧山下 泰弘 (香・香川西①)	79	77=156
⑧国吉 博一 (東・日体荏原②)	80	76=156
⑧長野 正弥 (鹿・れいめい①)	77	79=156
⑧前原 光弘 (広・瀬戸内②)	77	79=156

〔高校女子の部〕

①東尾 理子 (東・帝京②)	74	76=150
②高村 茶恵 (熊・熊本中央女②)	77	77=154
③萩尾 美穂 (福岡・柳川②)	78	77=155
④中野 陽子 (東・堀越②)	81	76=157
⑤菊地あつ子 (東・堀越②)	81	77=158

〔中学男子の部〕

①星野 英正 (宮城・利府③)	71	76=147
②杉原 亘 (京・高野③)	75	76=151
②波当根弓彦 (鳥・中ノ郷③)	73	78=151
②浅野 祥規 (岡・旭東③)	78	73=151

〔中学女子の部〕

①韓 熙 圓 (韓・大清②)	75	74=149
②福嶋 浩子 (神・丸山台③)	82	78=160
③高橋美友紀 (埼・砂 ③)	87	82=169

第16回大会 と き 1996年4月2日、3日
 ところ ジャパンクラシックカントリー倶楽部
 (高校・中学男子 キングコース 6851ヤード/パー-72
 高校・中学女子 クイーンコース 6194ヤード/パー-72)

〔高校男子の部〕

①黄 在 珉 (韓・世和①)	81	69=150
②今井 秀和 (茨・水城②)	79	74=153
②吉田 敬三 (高・明德義塾②)	79	74=153
②市原 建彦 (茨・水城②)	78	75=153
⑤山田 章平 (福岡・柳川②)	78	76=154
⑥谷原 秀人 (広・瀬戸内②)	77	78=155
⑥金子 朋弘 (栃・佐野日大②)	78	77=155
⑥砂入 雅之 (広・広陵②)	77	78=155
⑨李 庸 範 (韓・沖岩②)	79	78=157
⑨野田 賢蔵 (福岡・柳川②)	81	76=157
⑨佐久間章生 (千・学館浦安②)	77	80=157

〔高校女子の部〕

①韓 熙 圓 (韓・瑞文女子②)	76	76=152
②吉田希美代 (愛知・滝②)	81	78=159
③藤田 綾 (大阪・大体大浪商②)	84	78=162
③中島 佳乃 (東・堀越②)	80	82=162
⑤朴 由 眞 (韓・世和女子②)	82	82=164

〔中学男子の部〕

①清田太一郎 (熊・五霊③)	79	72=151
②木下健太郎 (奈・田原本③)	77	77=154
③渡辺 征伸 (宮城・多賀城②)	79	77=156

〔中学女子の部〕

①高松 聖 (岡・東山②)	83	78=161
②佐藤 丹美 (愛知・岩崎①)	84	83=167
③丸尾 由紀 (熊・帯山③)	89	80=169

第14回大会 と き 1994年3月30日、31日
 ところ 信楽カントリー倶楽部 杉山コース (高校男子北・東 7006ヤード/パー-72
 中学男子・女子 東・西 6217ヤード/パー-72)

〔高校男子の部〕

①波当根弓彦 (千・学館浦安①)	75	69=144
②米倉憲太郎 (長崎・長崎日大②)	76	70=146
②星野 英正 (宮城・仙台育英①)	76	70=146
④南川 史雄 (大阪・大体大浪商②)	74	73=147
⑤楊 志 勲 (韓・ソウル①)	75	73=148
⑤田村 圭 (京・京都学園②)	72	76=148
⑦宮里 聖志 (大阪・大阪桐蔭②)	74	75=149
⑧吉永 智一 (福岡・柳川①)	79	71=150
⑨平川 信太 (大分・大分①)	75	76=151
⑨古谷 富広 (茨・水城②)	75	76=151

〔高校女子の部〕

①李 定 垠 (韓・世和女子①)	78	72=150
②不動 裕理 (熊・九州女学院②)	76	75=151
③中島 真弓 (千・学館浦安②)	77	76=153
③中田 美枝 (北・北海道工②)	78	75=153
⑤米山みどり (愛知・豊橋西②)	78	79=157
⑤朴 那 美 (韓・瑞文女子①)	77	80=157

〔中学男子の部〕

①野田 賢蔵 (熊・武蔵③)	72	74=146
②砂入 雅之 (広・戸坂③)	73	74=147
②山田 章平 (佐・啓成③)	77	70=147

〔中学女子の部〕

①韓 熙 圓 (韓・大清③)	71	75=146
②片野 志保 (東・調布四③)	77	79=156
③梁 泳 阿 (韓・大明女子③)	78	79=157

第17回大会 と き 1997年4月1日、2日
 ところ ジャパンクラシックカントリー倶楽部
 (高校男子 キングコース 6873ヤード/パー-72
 中学男子 クイーンコース 6443ヤード/パー-72
 高校・中学女子 クイーンコース 6185ヤード/パー-72)

〔高校男子の部〕

①江原 清浩 (埼・埼玉栄②)	74	70=144
②太田 直己 (茨・水城②)	73	73=146
③中島 雅生 (東・堀越②)	74	73=147
④清田太一郎 (福岡・沖学園①)	76	74=150
⑤川村 亨 (岩・盛岡中央②)	73	78=151
⑥河瀬 賢史 (静・星陵②)	76	77=153
⑥谷口 拓也 (香・香川西②)	78	75=153
⑥立見 洋介 (東・日体荏原①)	79	74=153
⑨高山 友賀 (京・平安①)	77	77=154
⑨大前 和之 (兵・滝川二②)	77	77=154
⑨田中 大介 (栃・佐野日大②)	78	76=154
⑨笠井 敬介 (香・香川西②)	79	75=154

〔高校女子の部〕

①金 英 (韓・江原體②)	79	72=151
②竹中 優子 (宮崎・宮崎日大②)	72	82=154
③辛 炫 周 (韓・瑞文女子①)	78	80=158
③山田 操 (愛知・三河②)	78	80=158
③田中 瑞代 (大阪・大体大浪商②)	81	77=158
③今井 晴香 (岐・中京商①)	84	74=158

〔中学男子の部〕

①金 聖 潤 (韓・西原②)	76	73=149
②高山 之賀 (京・近衛②)	73	77=150
②市原 弘大 (東・向原②)	77	73=150
④津田 誠司 (奈・大正③)	72	81=153
④岡田 亘広 (福岡・沼③)	76	77=153

〔中学女子の部〕

①金 柱 演 (韓・瑞文女子③)	74	79=153
②清田 恭代 (熊・五霊①)	79	77=156
③高松 聖 (岡・東山③)	77	84=161

第18回大会 とき 1998年3月31日、4月1日
ところ ジャパンクラシックカントリー倶楽部

(高校男子 キングコース 6901ヤード/パー-72)
(中学男子 クイーンコース 6528ヤード/パー-72)
(高校・中学女子 クイーンコース 6286ヤード/パー-72)

〔高校男子の部〕

①弘井 太郎 (高知・明徳義塾②)	74	75=149
②宮里 優作 (大阪・大阪桐蔭②)	75	76=151
③権 鐘 太 (韓・徐羅伐②)	75	77=152
④小黒 貴志 (茨城・水城②)	75	78=153
⑤坂本 聡 (埼玉・埼玉栄①)	76	80=156
⑥渡辺 将人 (兵庫・滝川二②)	80	77=157
⑦長谷 輝男 (高知・明徳義塾①)	75	83=158
⑧勇 賢悟 (福岡・沖学園①)	77	82=159
⑧伊藤 元気 (愛知・愛知②)	79	80=159
⑧市原 大輔 (茨城・水城②)	86	73=159

〔高校女子の部〕

①金 柱 演 (韓・上堂①)	79	74=153
②高 ア ラ (韓・世和女子②)	78	78=156
③米村 洋子 (福岡・沖学園②)	82	76=158
④新原 知紗 (熊本・熊本中央女①)	82	79=161
⑤東妻 茜 (大阪・大体大浪商②)	83	79=162

〔中学男子の部〕

①市原 弘大 (東京・向原③)	78	78=156
②高山 之賀 (京都・近衛③)	80	76=156
②米澤 友一 (岩手・上田③)	82	74=156

〔中学女子の部〕

①下村真由美 (茨城・牛久一③)	81	74=155
②横峯 留衣 (鹿児・田崎③)	76	80=156
③大川 久乃 (北海・豊③)	81	76=157

第21回大会 とき 2001年3月28日、29日
ところ 信楽カントリー倶楽部杉山コース (高校男子 7045ヤード/パー-72)
田代コース (中学男子 6694ヤード/パー-72)
(高校・中学女子 6120ヤード/パー-72)

〔高校男子の部〕

①藤島 晴雄 (長崎・長崎日大②)	68	71=139
②森本 雄也 (大阪・大阪桐蔭②)	74	68=142
③中西 雅樹 (兵庫・クラーク①)	71	72=143
④谷口 郁弥 (兵庫・クラーク①)	73	71=144
⑤山本 隆允 (高知・明徳義塾②)	70	75=145
⑥坂本 庄司 (大阪・大阪桐蔭②)	74	73=147
⑥大谷 俊介 (大阪・PL学園②)	76	71=147
⑧大西 裕士 (香川・香川西②)	71	77=148
⑧渡嘉敷幸太 (福岡・柳川②)	75	73=148
⑧小原 淳 (東京・成城学園②)	76	72=148
⑧石川 裕貴 (広島・瀬戸内②)	77	71=148

〔高校女子の部〕

①佐伯 三貴 (広島・武田①)	73	71=144
②姜 如 珍 (韓・瑞文女子①)	73	73=146
③三塚 優子 (埼玉・埼玉栄①)	72	78=150
④大久保夢未 (大分・大分②)	73	80=153
⑤上原 彩子 (岡山・岡山山陽②)	77	77=154
⑤今田 夢美 (熊本・東海大②)	77	77=154
⑤三津 桃子 (石川・金沢市立②)	78	76=154

〔中学男子の部〕

①池田 勇太 (千葉・葛城③)	68	68=136
②草瀬 大志 (鳥取・湊山③)	75	72=147
③森 正尚 (福岡・沖学園②)	76	72=148

〔中学女子の部〕

①青山 加織 (熊本・託麻③)	74	73=147
②横峯さくら (鹿児・田崎③)	72	76=148
③朴 元 美 (韓・世化女子③)	78	74=152

第19回大会 とき 1999年3月30日、31日
ところ 信楽カントリー倶楽部杉山コース (高校男子 7035ヤード/パー-72)
田代コース (中学男子 6694ヤード/パー-72)
(高校・中学女子 6134ヤード/パー-72)

〔高校男子の部〕

①金 昊 涉 (韓・サラボル②)	72	76=148
②金 聖 潤 (韓・信聖①)	79	71=150
②市原 弘大 (埼玉・埼玉①)	74	76=150
②渡邊 征伸 (宮城・仙台育英②)	76	74=150
⑤伊波 芳准 (沖縄・西原②)	76	75=151
⑥佐久間雅規 (茨城・水城②)	77	75=152
⑥池田 浩二 (香川・香川西①)	77	75=152
⑥坂本 聡 (埼玉・埼玉栄②)	77	75=152
⑨遠藤 武義 (福島・福島②)	80	73=153
⑨藤島 豊和 (長崎・長崎日大②)	78	75=153

〔高校女子の部〕

①古屋 京子 (福岡・沖学園②)	75	72=147
②金 柱 演 (韓・上堂②)	77	74=151
③桶田 綾子 (愛知・春日丘②)	77	74=151
④松村 瞳 (熊本・東海大②)	76	76=152
⑤金 昭 希 (韓・益唐中央①)	77	76=153

〔中学男子の部〕

①杉原 拓 (京都・高野③)	76	72=148
②石川 裕貴 (鳥取・境港二③)	75	74=149
②高山 準平 (愛知・志段味③)	77	72=149

〔中学女子の部〕

①諸 ダナ (韓・瑞文女子②)	78	73=151
②佐伯 三貴 (広島・武田②)	80	75=155
③清田 恭代 (熊本・五霊③)	78	81=159

第22回大会 とき 2002年3月28日、29日
ところ 信楽カントリー倶楽部杉山コース (高校男子 6887ヤード/パー-72)
田代コース (中学男子 6694ヤード/パー-72)
(高校・中学女子 6120ヤード/パー-72)

〔高校男子の部〕

①谷口 郁弥 (兵庫・クラーク②)	75	74=149
②中西 雅樹 (兵庫・クラーク②)	75	74=149
③見崎 和也 (愛知・東海①)	73	77=150
④三品 貴泰 (岐阜・美濃加茂②)	78	73=151
④香山 隼人 (兵庫・クラーク②)	73	78=151
⑥平井 隼 (富山・富山国際付②)	78	74=152
⑥石田 吾朗 (広島・広陵②)	79	73=152
⑧土屋 陽平 (宮城・東北②)	79	74=153
⑧佐藤 達也 (千葉・千葉学芸②)	80	73=153
⑧齊藤 麗 (山梨・駿台甲府①)	82	71=153
⑧藤島 征次 (福岡・柳川②)	83	70=153
⑧諸藤 将次 (福岡・沖学園①)	77	76=153

〔高校女子の部〕

①佐伯 三貴 (広島・武田②)	74	73=147
②宮里 藍 (宮城・東北①)	78	72=150
③和田委世子 (宮城・東北①)	73	78=151
③田中美弥子 (熊本・東海大②)	76	75=151
⑤井芹美保子 (熊本・東海大②)	76	76=152

〔中学男子の部〕

①木下 裕太 (千葉・千城台南③)	74	73=147
②森 正尚 (福岡・沖学園③)	77	73=150
③松本 文夫 (岐阜・長森南③)	72	80=152
③岡部 大輔 (福岡・平野②)	77	75=152

〔中学女子の部〕

①竹村 千里 (大阪・深野②)	77	75=152
②上田 桃子 (熊本・西原③)	80	75=155
③服部 真夕 (愛知・千種台②)	77	80=157

※プレーオフの結果、谷口(クラーク)が優勝

第20回大会 とき 2000年3月28日、29日
ところ 信楽カントリー倶楽部杉山コース (高校男子 7035ヤード/パー-72)
田代コース (中学男子 6694ヤード/パー-72)
(高校・中学女子 6129ヤード/パー-72)

〔高校男子の部〕

①趙 珉 峻 (韓・京畿②)	72	70=142
②川崎 政志 (高知・明徳義塾②)	74	76=150
③平井 皇太 (東京・日体荏原②)	77	75=152
③糸井 中 (茨城・水城①)	76	76=152
③福永 光伸 (宮崎・宮崎一②)	75	77=152
⑥米澤 友一 (宮城・仙台育英②)	79	74=153
⑦武山皓太郎 (岐阜・中京商①)	79	75=154
⑦戸貝 尚希 (大阪・興国②)	77	77=154
⑦土佐 達哉 (京都・平安①)	75	79=154
⑩額賀 辰徳 (埼玉・埼玉栄①)	77	78=155
⑩市原 弘大 (埼玉・埼玉②)	72	83=155

〔高校女子の部〕

①古閑 美保 (熊本・東海大②)	74	73=147
②佐藤 丹美 (愛知・春日丘②)	73	74=147
③馬場ゆかり (福岡・久留米商②)	73	76=149
④恒川 智会 (愛知・栄徳②)	76	75=151
⑤吉田 藍子 (香川・香川西②)	74	78=152

〔中学男子の部〕

①草瀬 大志 (鳥取・湊山②)	77	69=146
②大下 勇 (広島・警固屋②)	75	71=146
③権 明 鎬 (韓・新星③)	73	75=148

〔中学女子の部〕

①佐伯 三貴 (広島・武田③)	75	80=155
②諸 ダナ (韓・瑞文女子③)	74	85=159
③土肥功留美 (熊本・日吉②)	83	78=161

第23回大会 とき 2003年3月27日、28日
ところ 瀬田ゴルフコース 東コース (高校男子 6750ヤード/パー-72)
西コース (中学男子 6621ヤード/パー-72)
(高校・中学女子 6256ヤード/パー-72)

〔高校男子の部〕

①真田 雅彦 (埼玉・埼玉栄①)	69	74=143
②小山貢志郎 (福岡・柳川②)	72	73=145
②津曲 泰弦 (福岡・柳川①)	74	71=145
④浦 大輔 (高知・明徳義塾②)	69	77=146
⑤森 正尚 (福岡・沖学園①)	73	74=147
⑤東家 賢政 (茨城・水城②)	73	74=147
⑤笠原 広規 (岡山・おやま山陽②)	74	73=147
⑤福田 健人 (高知・明徳義塾①)	75	72=147
⑤澤田 健一 (北海道・尚志学園②)	76	71=147

〔高校女子の部〕

①横峯さくら (高知・明徳義塾②)	68	75=143
②諸見里しのぶ (岡山・おやま山陽①)	75	75=150
③宅島 美香 (岐阜・美濃加茂①)	72	80=152
④二宮歌奈子 (高知・明徳義塾②)	77	76=153
⑤宮里 藍 (宮城・東北②)	75	79=154

〔中学男子の部〕

①宇佐美祐樹 (神奈川・大船②)	71	77=148
②宮里 政志 (沖縄・上山③)	75	74=149
③伊藤 勇気 (千葉・八日市場③)	77	73=150
③松岡 勇作 (福岡・沖学園②)	79	71=150

〔中学女子の部〕

①有村 智恵 (熊本・九州学院③)	74	75=149
②服部 真夕 (愛知・千種台③)	78	72=150
③金田久美子 (愛知・名古屋大①)	79	73=152

第24回大会 とき 2004年3月30日、31日
 ところ 瀬田ゴルフコース 東コース (高校男子 6750ヤード/パー-72)
 西コース (中学男子 6621ヤード/パー-72)
 (高校・中学女子 6256ヤード/パー-72)

【高校男子の部】

①森岡 賢 (高知・高知①)	69	73=142
②安本 大祐 (北海道・尚志学園②)	74	69=143
③斉藤 潤 (岐阜・岐阜三田②)	71	75=146
④亀井 美博 (茨城・鹿島学園①)	73	74=147
④渡邊 優登 (千葉・千葉学芸②)	75	72=147
⑥篠塚 直彦 (茨城・鹿島学園②)	72	76=148
⑥津曲 泰弦 (福岡・柳川②)	74	74=148
⑥松下 秀斗 (鹿児島・尚志館①)	68	80=148
⑥藤本 俊 (福岡・沖学園①)	72	76=148
⑥垣花 俊亮 (沖縄・沖縄尚学①)	73	75=148
⑥桐谷 龍平 (広島・瀬戸内①)	73	75=148
⑥杵鞭 謙二 (茨城・鹿島学園①)	74	74=148

【高校女子の部】

①諸見里しのぶ (岡山・おかやま山陽②)	74	74=148
②有村 智恵 (宮城・東北①)	74	74=148
③服部 真夕 (岐阜・美濃加茂①)	74	78=152
③原 江里菜 (宮城・東北①)	75	77=152
③中村 香織 (京都・平安女学院②)	76	76=152
【中学男子の部】		
①辻丸 侑樹 (福岡・沖学園③)	71	73=144
②宇佐美祐樹 (神奈川・大船③)	73	72=145
③仲西 盛弘 (熊本・白川③)	69	77=146
③永野竜太郎 (熊本・木山③)	70	76=146
【中学女子の部】		
①森 桜子 (茨城・緑岡②)	80	72=152
②櫻井 有希 (京都・京都学園③)	76	79=155
③金田久美子 (愛知・名古屋女子②)	78	80=158
③若林舞衣子 (新潟・加茂③)	79	79=158

第25回大会 とき 2005年3月29日、30日
 ところ 瀬田ゴルフコース 東コース (高校男子 6750ヤード/パー-72)
 西コース (中学男子 6621ヤード/パー-72)
 (高校・中学女子 6256ヤード/パー-72)

【高校男子の部】

①岡部 大輔 (茨城・鹿島学園②)	71	72=143
②亀井 美博 (茨城・鹿島学園②)	71	76=147
②青木 龍一 (神奈川・関東学院大①)	78	69=147
④藤本 俊 (福岡・沖学園②)	69	80=149
④河野 祐輝 (香川・香川西①)	79	70=149
④仲西 盛弘 (宮城・東北①)	74	75=149
⑦玉城 隆斗 (茨城・水城②)	73	77=150
⑦重永亜斗夢 (福岡・沖学園①)	79	71=150
⑨永野竜太郎 (茨城・水城①)	73	78=151
⑨中西 直人 (兵庫・クラーク①)	73	78=151
⑨前田 和宏 (高知・明德義塾①)	74	77=151
⑨松岡 勇作 (福岡・沖学園①)	76	75=151

【高校女子の部】

①服部 真夕 (岐阜・美濃加茂②)	74	74=148
②一ノ瀬優希 (熊本・御船①)	76	74=150
②佐藤のぞみ (宮城・東北②)	74	77=151
④秋山紗恵子 (岡山・おかやま山②)	77	75=152
④川原 仁美 (高知・明德義塾①)	79	73=152
【中学男子の部】		
①藪田 峻輔 (豪州・クメラ③)	73	71=144
②森本 雄 (愛知・竜南②)	74	71=145
③石川 遼 (埼玉・松伏二②)	76	73=149
③伊沢 秀憲 (神奈川・大船①)	72	77=149
【中学女子の部】		
①宮里 美香 (沖縄・松島③)	75	75=150
②森 桜子 (茨城・緑岡③)	77	76=153
③金田久美子 (愛知・名古屋女子③)	74	80=154

第26回大会 とき 2006年3月28日、29日
 ところ 瀬田ゴルフコース 東コース (高校男子 6750ヤード/パー-72)
 西コース (中学男子 6621ヤード/パー-72)
 (高校・中学女子 6256ヤード/パー-72)

【高校男子の部】

①重永亜斗夢 (福岡・沖学園②)	69	72=141
②片岡 大育 (香川・香川西②)	71	72=143
③小鯛 竜也 (兵庫・クラーク①)	73	72=145
④森井 晶紀 (奈良・奈良育英①)	75	71=146
⑤中西 直人 (兵庫・クラーク②)	77	72=149
⑤永野竜太郎 (茨城・水城②)	74	75=149
⑤権藤 紘太 (愛知・栄徳②)	73	76=149
⑧羽方 雄基 (茨城・水城②)	76	74=150
⑧山ノ口章大 (鹿児島・樟南①)	75	75=150
⑧西田 弘樹 (京都・京都学園②)	72	78=150

【高校女子の部】

①森 桜子 (宮城・東北①)	74	78=152
②木戸 愛 (宮城・東北①)	78	75=153
③新井 麻衣 (福井・福井②)	77	77=154
【中学男子の部】		
①黒宮 幹仁 (愛知・南陽②)	74	76=150
②徳永 智也 (兵庫・龍野東③)	78	73=151
③石川 遼 (埼玉・松伏二②)	76	77=153
③古田 幸希 (青森・三沢一①)	75	78=153
③大堀裕次郎 (兵庫・学文②)	73	80=153
【中学女子の部】		
①藤本 麻子 (岡山・津山東③)	82	76=158
②豊永 志帆 (熊本・松橋③)	81	79=160
②宮澤 亜衣 (京都・京都学園①)	77	83=160

第27回大会 とき 2007年3月27日、28日
 ところ 瀬田ゴルフコース 東コース (高校男子 6750ヤード/パー-72)
 西コース (中学男子 6621ヤード/パー-72)
 (高校・中学女子 6266ヤード/パー-72)

【高校男子の部】

①前栗蔵俊太 (茨城・鹿島学園①)	69	70=139
②近藤 孝宣 (茨城・水城②)	73	70=143
②藤本 佳則 (宮城・東北②)	71	72=143
④山口 量 (岐阜・美濃加茂②)	68	76=144
⑤尾方 友彦 (福岡・柳川②)	77	68=145
⑤藪田 峻輔 (東京・杉並学院②)	76	69=145
⑦新田 瑠威 (香川・藤井学園東川②)	76	70=146
⑧金子 徳馬 (大阪・大阪桐蔭②)	72	75=147
⑨上田 浩介 (奈良・高取国際②)	77	71=148
⑨根本 伊織 (福島・尚志②)	76	72=148
⑨加門 大典 (兵庫・滝川二②)	73	75=148
⑨久我悠太郎 (栃木・作新学院②)	73	75=148

【高校女子の部】

①森 桜子 (宮城・東北②)	75	72=147
②森田理香子 (京都・京都学園②)	74	74=148
③藤本 麻子 (岡山・作陽①)	79	76=155
④柳沢 美芽 (宮城・東北①)	82	74=156
⑤坂下莉慧子 (兵庫・滝川二①)	78	79=157
⑤木戸 愛 (宮城・東北②)	75	82=157
【中学男子の部】		
①石川 遼 (埼玉・松伏二③)	69	73=142
②上田 翔太 (大阪・小阪③)	74	70=144
③田村 光正 (兵庫・苦楽園③)	74	72=146
③保田 和貴 (茨城・土浦三③)	72	74=146
【中学女子の部】		
①酒井 美紀 (福島・東日大昌平③)	77	73=150
②森 美穂 (三重・木曾岬②)	75	78=153
③宮澤 亜衣 (京都・京都学園②)	75	79=154

第28回大会 とき 2008年3月28日、29日
 ところ 瀬田ゴルフコース 東コース (高校男子 6750ヤード/パー-72)
 西コース (中学男子 6621ヤード/パー-72)
 (高校・中学女子 6266ヤード/パー-72)

【高校男子の部】

①鈴木 優大 (兵庫・滝川二②)	76	67=143
②森 博貴 (福井・福井工大福井①)	71	73=144
③原 敏之 (香川・藤井学園東川①)	75	70=145
④大塚 智之 (埼玉・埼玉栄②)	72	74=146
⑤齊藤 翔太 (香川・香川西①)	74	73=147
⑥弓削 淳詩 (香川・香川西①)	76	72=148
⑥皆本 祐介 (香川・藤井学園東川①)	75	73=148
⑥森 雄貴 (福井・福井工大福井②)	70	78=148
⑥塩見 好輝 (埼玉・埼玉栄②)	67	81=148
⑩羽根 孝成 (愛知・クラーク名古屋②)	78	71=149
⑩黒宮 幹仁 (茨城・水城①)	77	72=149
⑩保田 和貴 (茨城・つくば開成①)	71	78=149

【高校女子の部】

①藤本 麻子 (岡山・作陽②)	76	75=151
②竹村 春風 (熊本・東海大二②)	81	72=153
②小楠 梨紗 (福井・福井工大福井①)	73	80=153
④宮田 綾音 (福井・福井工大福井①)	79	76=155
⑤酒井 美紀 (福島・東日大昌平①)	83	73=156
⑤中山 三奈 (兵庫・滝川二②)	78	78=156
【中学男子の部】		
①森杉 大地 (奈良・郡山南②)	73	72=145
②川村 昌弘 (三重・港②)	71	75=146
③今平 周吾 (埼玉・西武③)	76	72=148
③太田 一広 (三重・北勢③)	73	75=148
【中学女子の部】		
①森 美穂 (福井・福井工大福井③)	76	73=149
②東 浩子 (岡山・勝央③)	78	77=155
③大野さやか (愛知・南部②)	80	78=158
③宮澤 亜衣 (京都・京都学園③)	78	80=158

第29回大会 とき 2009年3月26日、27日
 ところ 瀬田ゴルフコース 東コース (高校男子 6750ヤード/パー-72)
 西コース (中学男子 6621ヤード/パー-72)
 (高校・中学女子 6266ヤード/パー-72)

【高校男子の部】

①森 博貴 (福井・福井工大福井②)	73	76=149
②梅山 知宏 (栃木・作新学院②)	76	74=150
②橋本 龍位 (香川・藤井学園東川②)	76	74=150
②原 敏之 (香川・藤井学園東川②)	72	78=150
⑤出水田大二郎 (鹿児島・樟南①)	75	76=151
⑥樋口健太郎 (千葉・千葉学芸②)	76	76=152
⑦小袋 秀人 (茨城・鹿島学園②)	76	77=153
⑦古田 幸希 (青森・青森山田①)	76	77=153
⑦内藤 慶 (茨城・鹿島学園②)	75	78=153

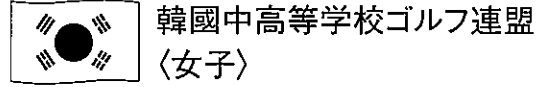
【高校女子の部】

①森 美穂 (福井・福井工大福井①)	77	75=152
②西原 千草 (長崎・長崎日大①)	75	78=153
③堀 奈津佳 (香川・藤井学園東川①)	81	73=154
④澤田沙都子 (沖縄・興南①)	79	76=155
④石川 陽子 (神奈川・日大高①)	79	76=155
④酒井 美紀 (福島・東日大昌平②)	74	81=155
【中学男子の部】		
①坂牧 一静 (福岡・沖学園②)	72	73=145
②森杉 大地 (奈良・郡山南③)	74	71=145
③加藤龍太郎 (岡山・旭東③)	74	72=146
【中学女子の部】		
①比嘉真美子 (沖縄・本部③)	78	73=151
②村田 理沙 (東京・杉並学院①)	78	75=153
③鬼頭 桜 (愛知・守山北②)	78	76=154

第5回 大会結果

開催日：2006.4.3~5 会場：那須野ヶ原カントリークラブ

団体戦成績



韓国中高等学校ゴルフ連盟 (女子)

優勝

Table with 5 columns: Total, 1st, 2nd, Final. Values: 21, 5, 9, 7



韓国中高等学校ゴルフ連盟 (男子)

優勝

Table with 5 columns: Total, 1st, 2nd, Final. Values: 21, 5, 10, 6



全国高等学校ゴルフ連盟 (女子)

Table with 5 columns: Total, 1st, 2nd, Final. Values: 9, 1, 3, 5



全国高等学校ゴルフ連盟 (男子)

Table with 5 columns: Total, 1st, 2nd, Final. Values: 9, 1, 2, 6

個人戦成績一覧

Table with 6 columns: 順位, 選手, Total, 1st, 2nd, Final. Female category.

Table with 6 columns: 順位, 選手, Total, 1st, 2nd, Final. Female category.

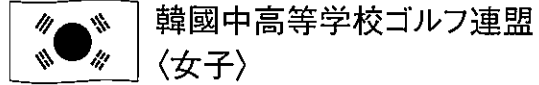
Table with 6 columns: 順位, 選手, Total, 1st, 2nd, Final. Male category.

Table with 6 columns: 順位, 選手, Total, 1st, 2nd, Final. Male category.

第6回 大会結果

開催日：2007.4.2~4 会場：那須野ヶ原カントリークラブ

団体戦成績



韓国中高等学校ゴルフ連盟 (女子)

優勝

Table with 5 columns: Total, 1st, 2nd, Final. Values: 19, 4, 8, 7



韓国中高等学校ゴルフ連盟 (男子)

優勝

Table with 5 columns: Total, 1st, 2nd, Final. Values: 9, 0, 3, 6



全国高等学校ゴルフ連盟 (女子)

Table with 5 columns: Total, 1st, 2nd, Final. Values: 11, 2, 4, 5



全国高等学校ゴルフ連盟 (男子)

優勝

Table with 5 columns: Total, 1st, 2nd, Final. Values: 21, 6, 9, 6

個人戦成績一覧

Table with 6 columns: 順位, 選手, Total, 1st, 2nd, Final. Female category.

Table with 6 columns: 順位, 選手, Total, 1st, 2nd, Final. Female category.

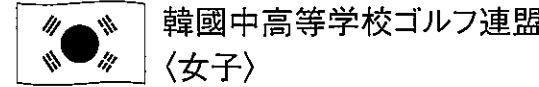
Table with 6 columns: 順位, 選手, Total, 1st, 2nd, Final. Male category.

Table with 6 columns: 順位, 選手, Total, 1st, 2nd, Final. Male category.

第7回 大会結果

開催日：2008.4.1~3 会場：那須野ヶ原カントリークラブ

団体戦成績



韓国中高等学校ゴルフ連盟 (女子)

優勝

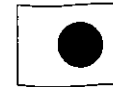
Table with 5 columns: Total, 1st, 2nd, Final. Values: 14, 3, 5, 6



韓国中高等学校ゴルフ連盟 (男子)

優勝

Table with 5 columns: Total, 1st, 2nd, Final. Values: 12, 2, 4, 6



全国高等学校ゴルフ連盟 (女子)

Table with 5 columns: Total, 1st, 2nd, Final. Values: 10, 3, 1, 6



全国高等学校ゴルフ連盟 (男子)

優勝

Table with 5 columns: Total, 1st, 2nd, Final. Values: 12, 4, 2, 6

個人戦成績一覧

Table with 6 columns: 順位, 選手, Total, 1st, 2nd, Final. Female category.

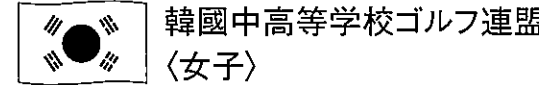
Table with 6 columns: 順位, 選手, Total, 1st, 2nd, Final. Female category.

Table with 6 columns: 順位, 選手, Total, 1st, 2nd, Final. Male category.

第8回 大会結果

開催日：2009.3.31~4.2 会場：那須野ヶ原カントリークラブ

団体戦成績



韓国中高等学校ゴルフ連盟 (女子)

優勝

Table with 5 columns: Total, 1st, 2nd, Final. Values: 16, 3, 4, 9



韓国中高等学校ゴルフ連盟 (男子)

優勝

Table with 5 columns: Total, 1st, 2nd, Final. Values: 13, 3, 4, 6



全国高等学校ゴルフ連盟 (女子)

Table with 5 columns: Total, 1st, 2nd, Final. Values: 8, 3, 2, 3



全国高等学校ゴルフ連盟 (男子)

Table with 5 columns: Total, 1st, 2nd, Final. Values: 11, 3, 2, 6

個人戦成績一覧

Table with 6 columns: 順位, 選手, Total, 1st, 2nd, Final. Female category.

Table with 6 columns: 順位, 選手, Total, 1st, 2nd, Final. Female category.

Table with 6 columns: 順位, 選手, Total, 1st, 2nd, Final. Male category.